

男女共同参画に関するアンケート報告書

令和 6 年 3 月
下郷町

目次

I	調査概要	2
1.	目的	2
2.	調査の実施	2
3.	報告書の見方	3
II	調査結果	4
1.	町民向けアンケート結果	4
2.	企業向けアンケート	65
III	考察	83
1.	町民向けアンケート	83
2.	企業向けアンケート	87
IV	調査票	88
1.	町民向けアンケート	88
2.	企業向けアンケート	109

I 調査概要

1. 目的

令和3年3月に策定した「下郷町第2次男女共同参画プラン」が、令和8年に改訂になることから、男女共同参画における施策のさらなる推進及び今後実施する本町における男女共同参画施策の効果的に進めるため実施した。

2. 調査の実施

今回は、町民向けアンケートと企業向けアンケートを実施した。

(1) 町民向けアンケート

- ・調査対象者：令和6年10月1日現在、下郷町内に住所がある18歳以上の男女500名を無作為に抽出
- ・調査期間：令和6年10月18日～12月13日
- ・調査方法：郵送による配布・郵送による回収及びWeb回答

配布数 (A)	有効配布数 (B)	有効回収数 (C)	有効回収率 (C/B)
500	500	182	36.40%

調査項目		
	1 回答属性	問1～4
	2 家庭生活	問5～7
	3 結婚	問8～10
	4 育児	問11～13
	5 介護	問14～17
	6 仕事と職場	問18・19
	7 女性の社会進出	問20～22
	8 ワーク・ライフ・バランス	問23・24
	9 地域活動	問25・26
	10 ハラスメント	問27・28
	11 ドメスティックバイオレンス・ストーカー	問29～32
	12 LGBTQIA等の性的マイノリティ	問33・34
	13 男女共同参画	問25～38

(2) 企業向けアンケート

- ・調査対象者：下郷町内に事業所がある町商工会、町観光協会、南会津建設業協会の会員
※個人事業主や家族経営問わず送付し、個人事業主や家族経営は回答不要とした。
- ・調査期間：令和6年10月18日～12月13日
- ・調査方法：郵送による配布・郵送による回収及びWeb回答

配布数 (A)	有効配布数 (B)	有効回収数 (C)	有効回収率 (C/B)
248	248	68	27.42%

調査項目		
	1 回答属性	問1～4
	2 ワーク・ライフ・バランスや 女性活躍の取組について	問5・6
	3 育児や介護に関する制度について	問7～11
	4 企業における女性活躍について	問12～19
	5 ハラスメント対策等について	問20～22
	6 男女共同参画全般について	問23
	7 男女共同参画に関する取組の導入について	問24～27

3. 報告書の見方

(1) 報告の基本構成

回答結果に対する分析として以下の3項目により分析結果をまとめた。

- ① 全体集計：回答に関する全体的な集計結果からみた傾向についてまとめている。
- ② 前回調査との比較：前回調査（平成28年度実施）と同様又は類似の質問では、前回調査の比較から見られる傾向についてまとめている。
- ③ クロス集計：設問に合わせ、「従業員数」や「業種」などのクロス分析の結果をまとめている。

(2) 報告書の記載内容に関する注意事項

- 回答結果は小数点第2桁目を四捨五入している。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけ選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合がある。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、有効標本数全体に対しての各々の割合を示すものであり、各選択肢の合計しても「100.0」とはならない。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」はそれぞれ以下の通り示している。

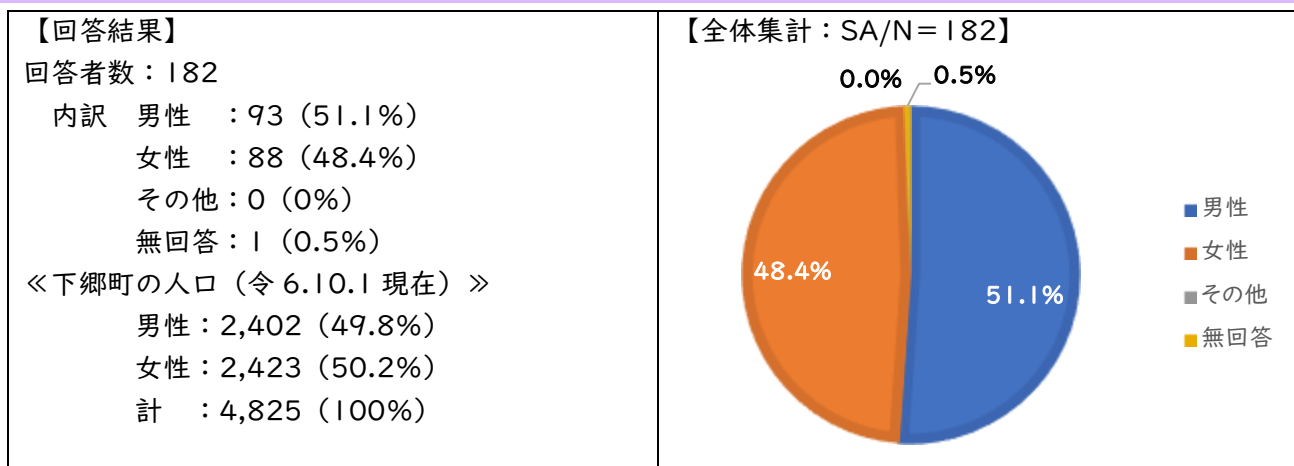
「N」＝サンプル数
「SA」＝単回答のこと Single Answer の略)
「MA」＝複数回答のこと Multiple Answer の略)
「数量」＝数字を入力する回答のこと

Ⅱ 調査結果

Ⅰ. 町民向けアンケート結果

(1) 回答者の属性

問1 あなたの性別はどれにあたりますか。(○は1つだけ)

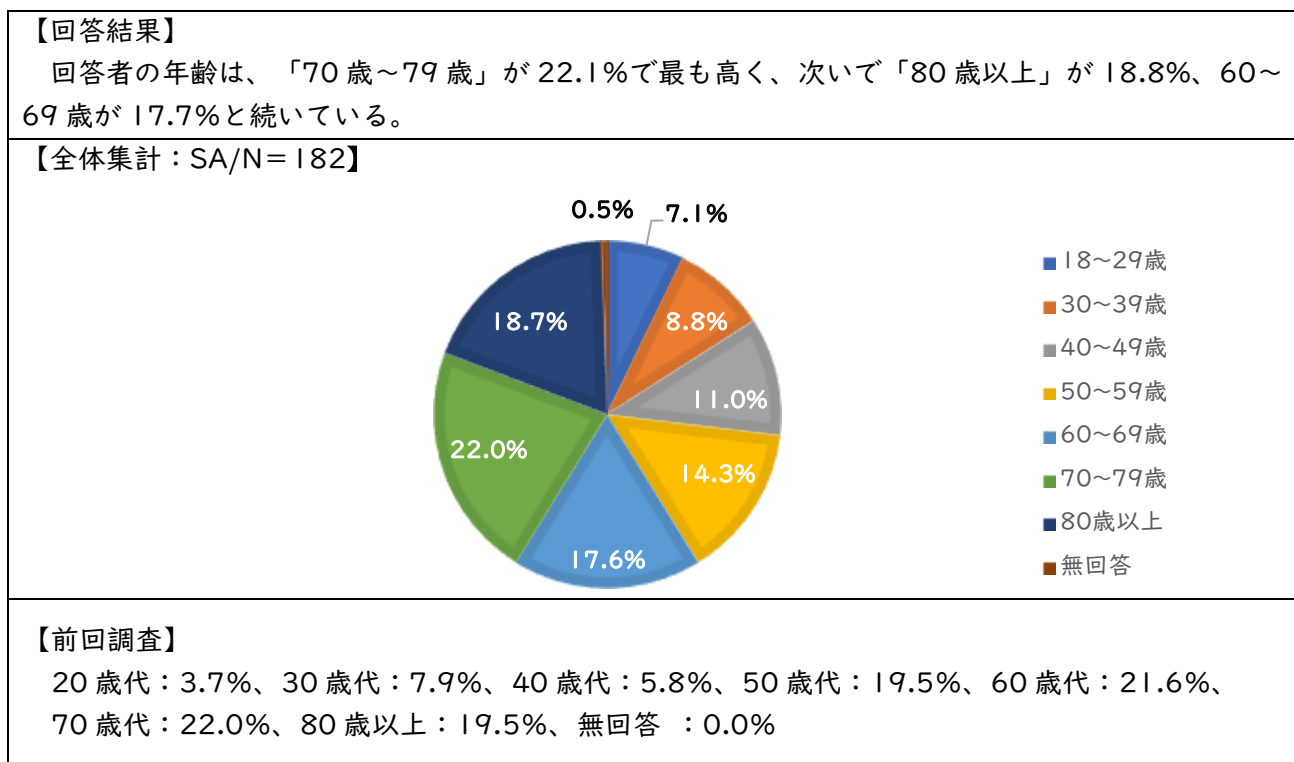


【前回調査】

回答者数：241
 内訳 男性：103 (42.7%)
 女性：138 (57.3%)
 無回答：0 (0%)

≪下郷町の人口(平28.7.1現在)≫
 男性：2,976 (42.6%)
 女性：3,093 (57.4%)
 計：6,069 (100%)

問2 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)



問3 あなたが現在お住まいの地区はどこですか。(〇は1つだけ)

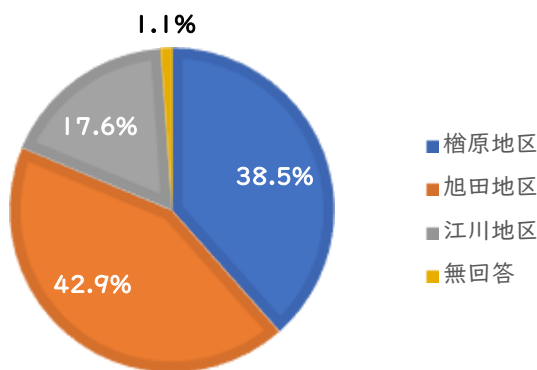
【回答結果】

回答者の地区別割合は、檜原地区 38.5%、旭田地区 42.9%、江川地区 17.6%となっている。

《下郷町の地区別人口(令6.10.1現在)》

檜原地区：1,650(34.2%)、旭田地区：2,149(44.5%)、江川地区：1,026(21.3%)

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

檜原地区：38.6%、旭田地区：36.5%、江川地区：23.7%、無回答：1.2%

《下郷町の地区別人口(平28.7.1現在)》

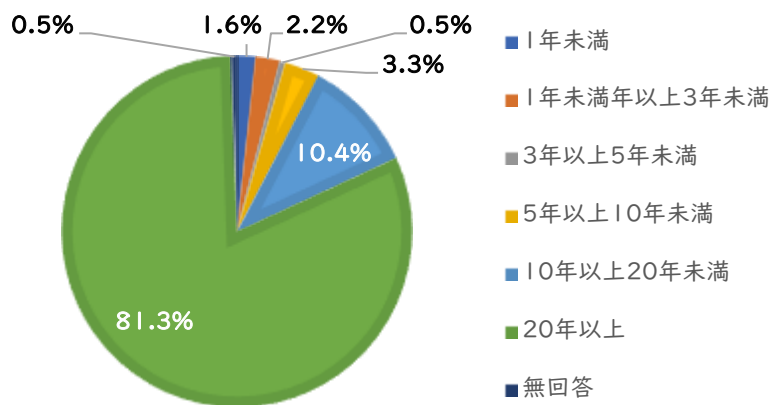
檜原地区：2,457(40.5%)、旭田地区：2,320(38.2%)、江川地区：1,292(21.3%)

問4 あなたは下郷町にお住まいになって何年(通算)になりますか。(〇は1つだけ)

【回答結果】

「20年以上」が81.3%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が10.4%と高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

1年未満：1.2%、1年以上～3年未満：2.1%、3年以上～5年未満：0.8%

5年以上～10年未満：2.5%、10年以上～20年未満：4.1%

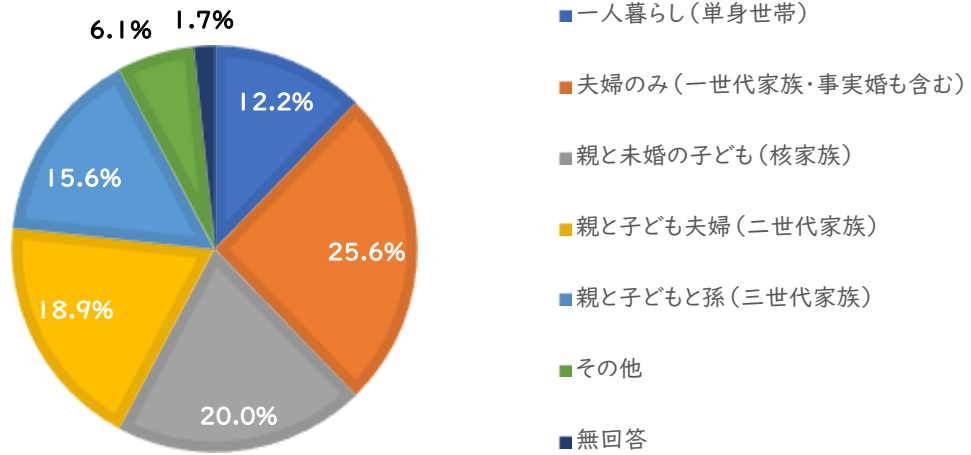
(2) 家庭生活

問5 あなたの世帯構成は、次のうちどれに当てはまりますか。(〇は1つだけ)

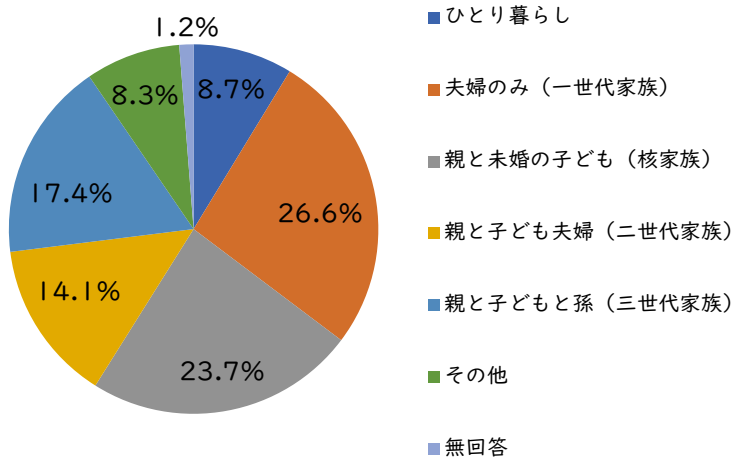
【回答結果】

「夫婦のみ」が25.6%と最も高くなっている。次いで、「親と未婚の子ども」が20.0%となっている。

【全体集計：SA/N=182】



前回調査



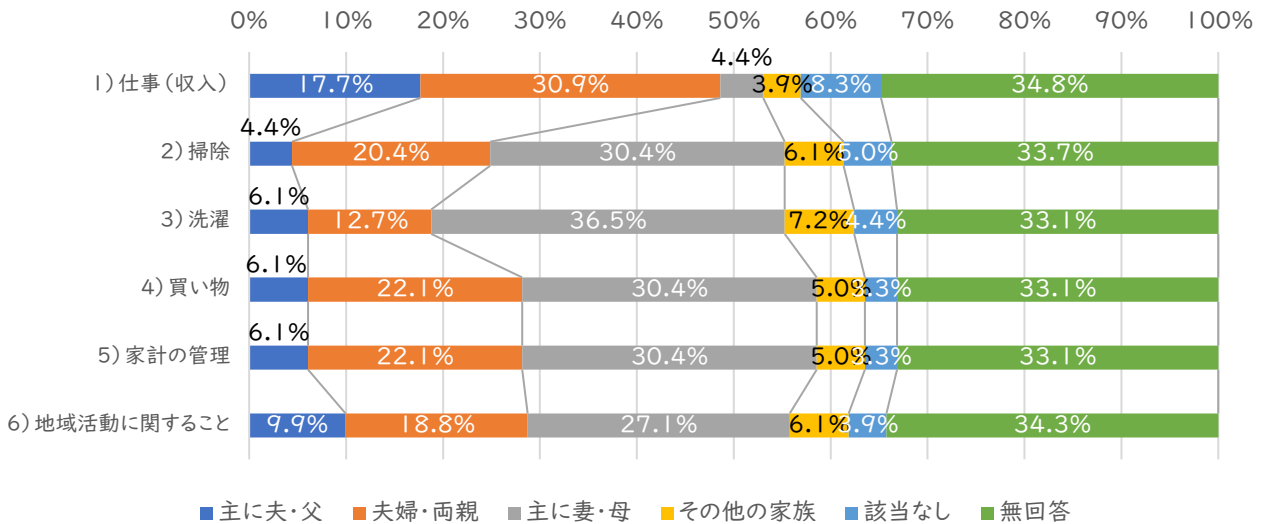
問6 問5で「1 一人暮らし（単身世帯）」以外と回答した方に伺います。
 あなたは、家庭内での役割について今の状況についてお答えください。（各項目1つに○）

【回答結果】

仕事（収入）は「両親・夫婦」が30.9%で最も高いが、その他の項目は、全て「主に妻・母」が最も高くなっている。

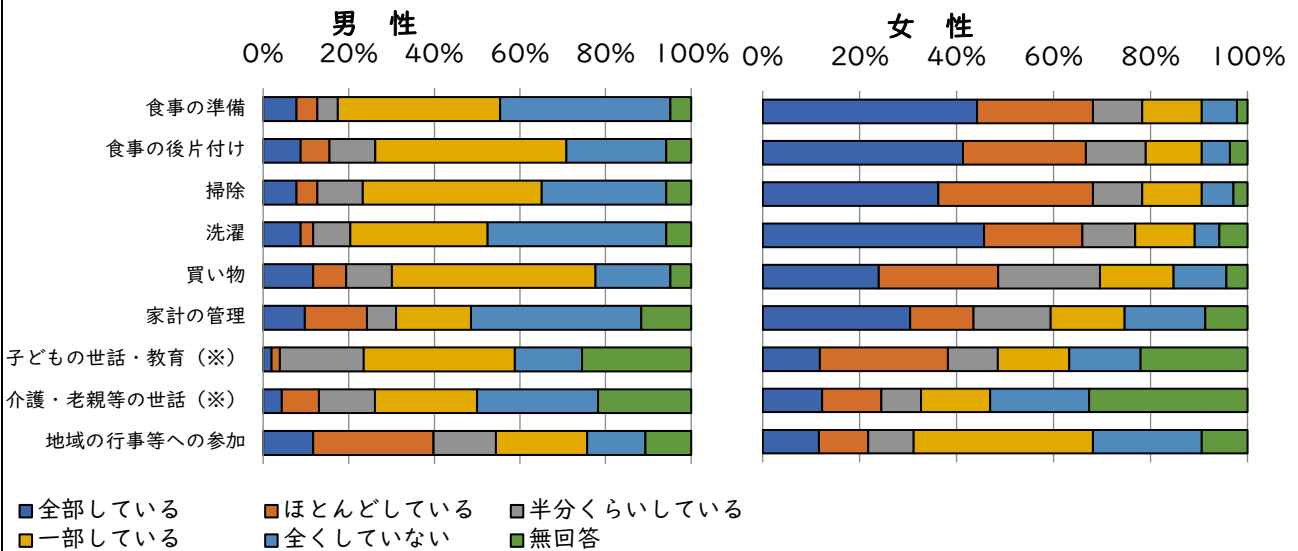
（掃除：30.4%、洗濯：36.5%、買い物：30.4%、家計の管理：30.4%、地域活動に関すること：27.1%）

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

問12 家庭における役割分担について、あなたの現状に一番近いものは何ですか。
 (○は項目ごとに1つ)



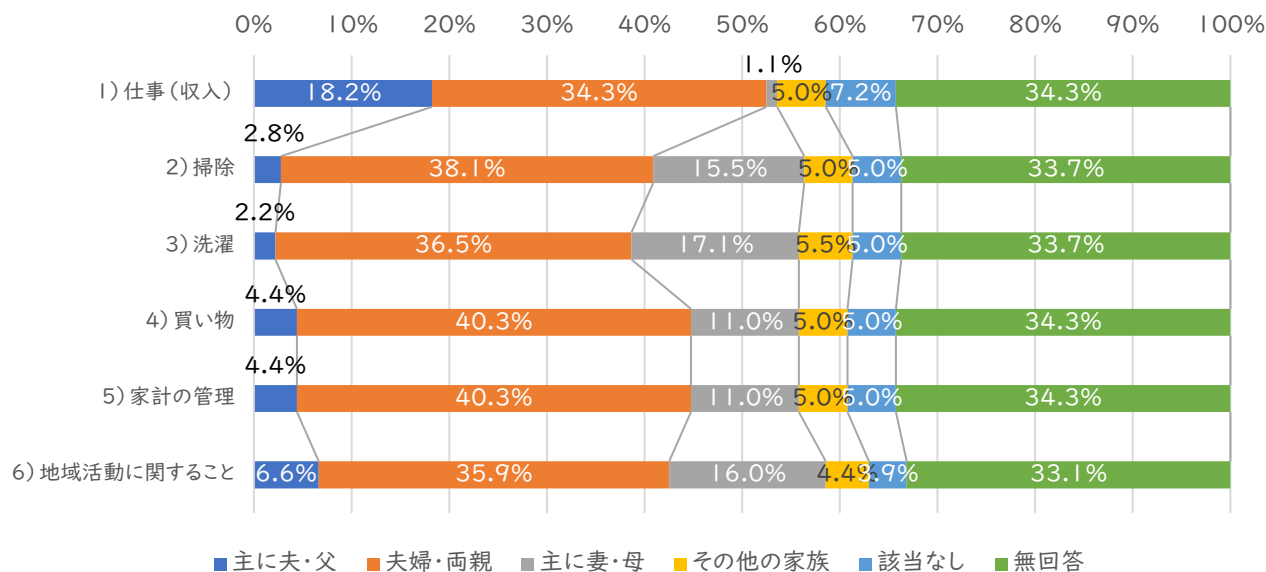
問7 問5で「1 一人暮らし（単身世帯）」以外と回答した方に伺います。
 あなたは、家庭内での役割について理想についてお答えください。（各項目1つに○）

【回答結果】

理想は、全ての項目で「夫婦・両親」が最も高くなっている。（仕事（収入）：34.3%、掃除：38.1%、洗濯：36.5%、買い物：40.3%、家計の管理：40.3%、地域活動に関すること：35.9%）

2番目は、仕事（収入）では「主に夫・父」（18.2%）が高く、その他の項目では「主に妻・母」（掃除：15.5%、洗濯：17.1%、買い物：11.0%、家計の管理：11.0%、地域活動に関すること：16.0%）が高い。

【全体集計：SA/N=182】



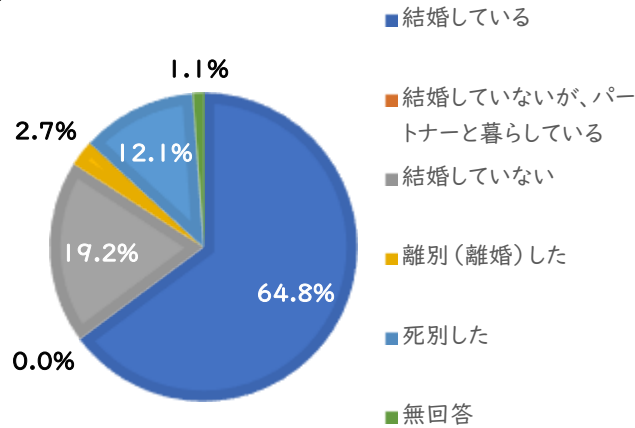
(3) 結婚

問8 あなたは、結婚していますか。(○は1つだけ)

【回答結果】

「結婚している(事実婚も含む)」が64.8%でも最も高くなっている次いで、「結婚していない」が19.2%で高い。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

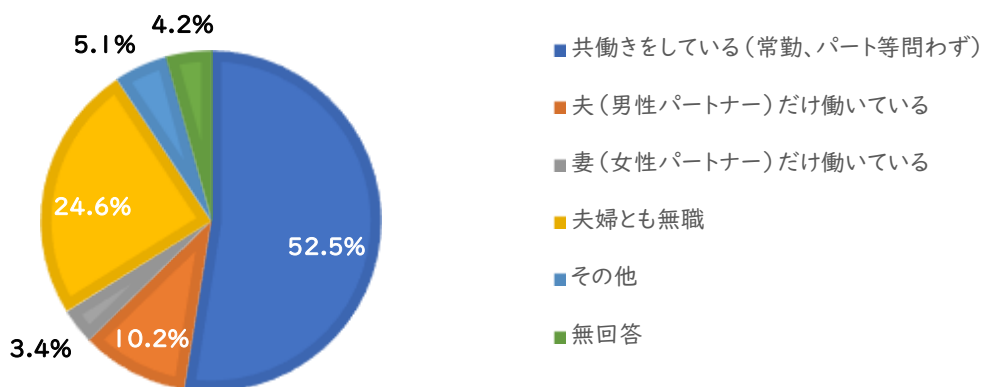
結婚している：67.6%、結婚していないがパートナーと暮らしている：0.4%、結婚していない：11.6%、離別した：4.1%、死別した：15.8%、無回答：4.5%

問9 問8で「1 結婚している(事実婚も含む)」・「2 結婚していないが、パートナーと暮らしている」と回答した方にお伺いします。
共働きですか。(○は1つだけ)

【回答結果】

「共働きをしている」が36.5%でも最も高く、次いで「夫(男性パートナー)だけ働いている」が7.1%、「妻(女性パートナー)だけ働いている」が2.4%である。

【全体集計：SA/N=118】



【前回調査】

共働きをしている：48.7%、共働きをしていない：25.3%、その他：21.4%、無回答：4.5%

問10 次にあげる結婚の考えについて、どのように思いますか。(各項目1つに○)

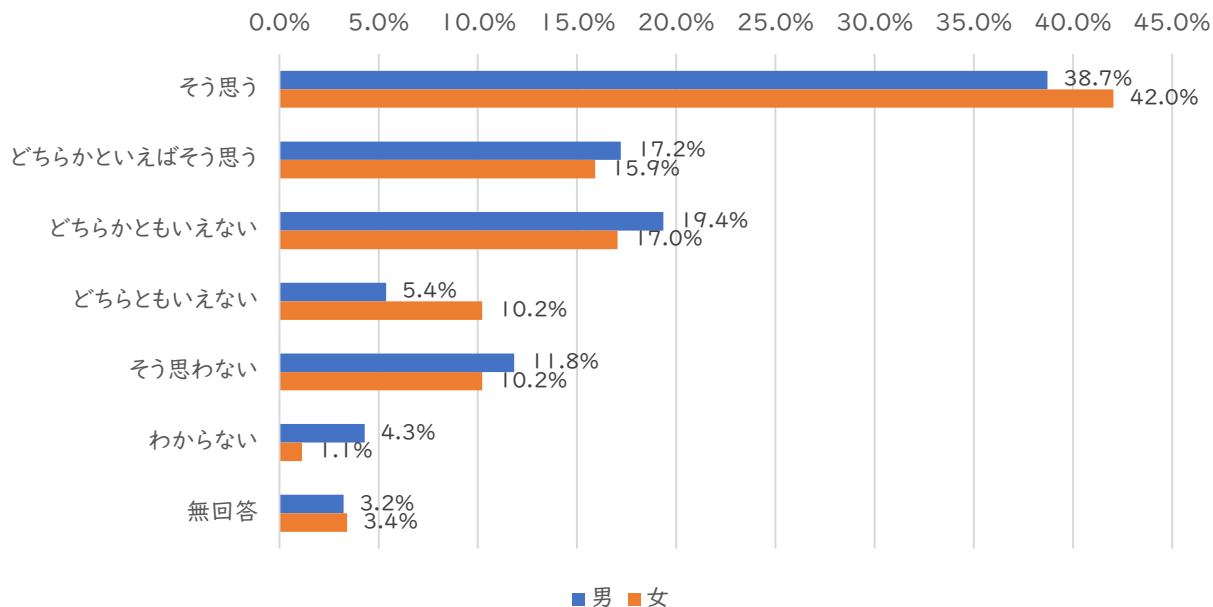
1) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでも良い。

【回答結果：性別】

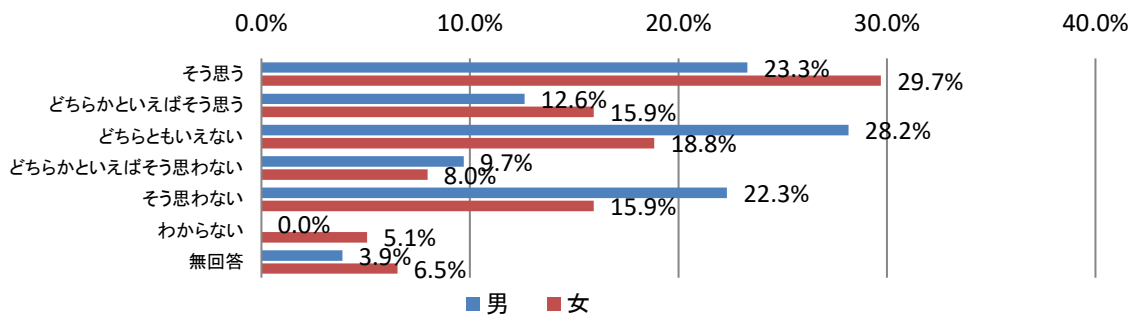
男女ともに「そう思う」が最も高くなっている。(男性：38.7、女性42.0%)

次いで、男性は「どちらともいえない」が19.4%、女性は「どちらかといえばそう思う」が15.9%で高くなっている。

【全体集計：SA/N=181】



【前回調査】



【回答結果：年代別】

年代別で見ると、どの年代も「そう思う」高くなっている。

【クロス集計：SA/N=181】

	18歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～69歳	70歳 ～79歳	80歳 以上
そう思う	61.5%	56.3%	60.0%	53.8%	40.6%	25.0%	20.6%
どちらかといえば そう思う	15.4%	37.5%	25.0%	19.2%	18.8%	10.0%	5.9%
どちらとも いえない	7.7%	6.3%	15.0%	3.8%	21.9%	30.0%	23.5%
どちらかといえば そう思わない	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	9.4%	10.0%	14.7%
そう思わない	7.7%	0.0%	0.0%	11.5%	6.3%	15.0%	23.5%
わからない	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%	3.1%	0.0%	5.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	5.9%

【前回調査】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
そう思う	44.4%	52.6%	64.3%	31.9%	25.0%	20.8%	6.4%
どちらかといえば そう思う	11.1%	26.3%	7.1%	29.8%	9.6%	5.7%	12.8%
どちらとも いえない	22.2%	15.8%	14.3%	14.9%	28.8%	32.1%	19.1%
どちらかといえば そう思わない	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%	13.5%	13.2%	6.4%
そう思わない	22.2%	5.3%	7.1%	12.8%	21.2%	20.8%	27.7%
わからない	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	1.9%	1.9%	8.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	5.7%	19.1%

2) 女性は、結婚したら、自分のことよりも、夫や子どもを中心に生活したほうがよい

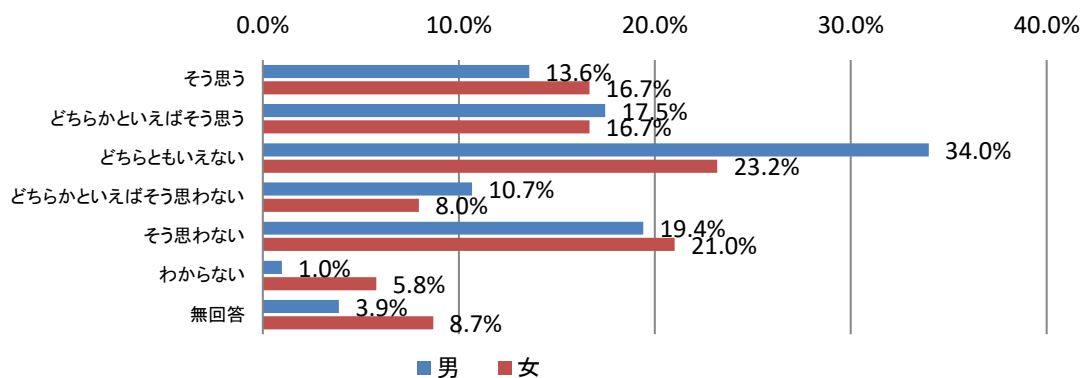
【回答結果：男女別】

男女ともに「そう思わない」が最も高くなっている。（男性：38.7%、女性 43.2%）

【全体集計：SA/N=181】



【前回調査】



【回答結果：年代別】

ほとんどの年代が、「そう思わない」が最も高くなっているが、30～39歳は「どちらともいえない」が最も高く、50歳～59歳が「どちらともいえない」が「そう思わない」と同じく最も高い。

【クロス集計：SA/N=181】

	18歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～69歳	70歳 ～79歳	80歳 以上
そう思う	0.0%	6.3%	0.0%	3.8%	0.0%	10.0%	11.8%
どちらかといえば そう思う	7.7%	6.3%	15.0%	7.7%	3.1%	7.5%	17.6%
どちらとも いえない	23.1%	50.0%	25.0%	34.6%	34.4%	22.5%	14.7%
どちらかといえば そう思わない	23.1%	6.3%	10.0%	15.4%	6.3%	7.5%	11.8%
そう思わない	38.5%	25.0%	50.0%	34.6%	53.1%	47.5%	29.4%
わからない	7.7%	6.3%	0.0%	3.8%	3.1%	0.0%	2.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	11.8%

【前回調査】

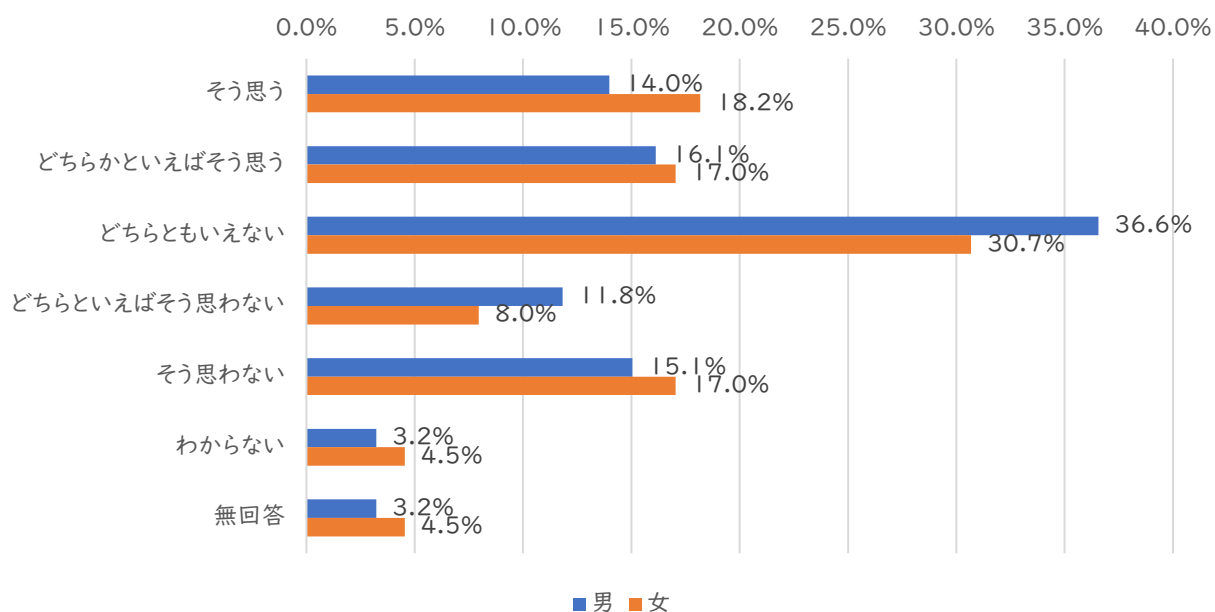
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
そう思う	11.1%	0.0%	7.1%	6.4%	15.4%	22.6%	25.5%
どちらかといえば そう思う	11.1%	21.1%	21.4%	17.0%	13.5%	17.0%	19.1%
どちらとも いえない	33.3%	36.8%	35.7%	34.0%	26.9%	28.3%	14.9%
どちらかといえば そう思わない	0.0%	21.1%	0.0%	21.3%	9.6%	3.8%	2.1%
そう思わない	44.4%	15.8%	28.6%	19.1%	26.9%	18.9%	10.6%
わからない	0.0%	5.3%	7.1%	0.0%	1.9%	1.9%	10.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	5.8%	7.5%	17.0%

3) 結婚して、相手に満足できないときは離婚すればよい

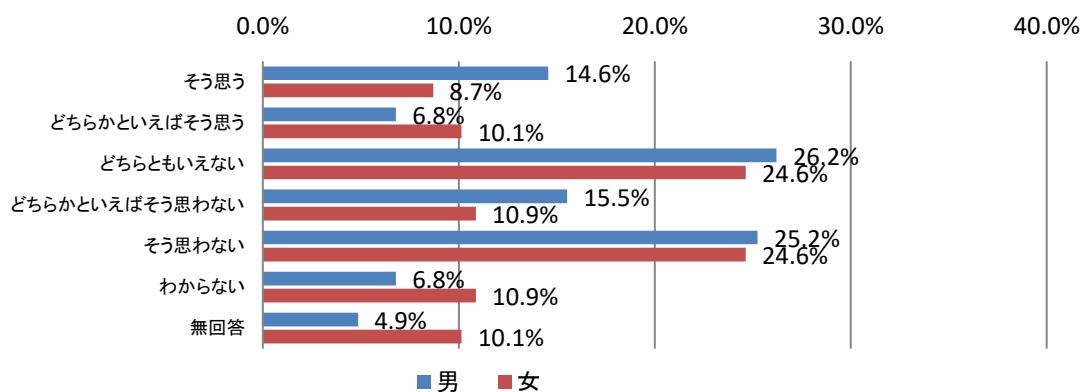
【回答結果：男女別】

男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。（男性：36.6%、女性：30.7%）

【全体集計：SA/N=181】



【前回調査】



【回答結果：年代別】

ほとんどの年代が、「どちらともいえない」が最も高くなっているが、30～39歳は「どちらかといえばそう思う」が最も高く、50歳～59歳が「そう思わない」が「どちらともいえない」と同じく最も高い。

【クロス集計：SA/N=181】

	18歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～69歳	70歳 ～79歳	80歳 以上
そう思う	15.4%	25.0%	35.0%	23.1%	12.5%	10.0%	5.9%
どちらかといえば そう思う	7.7%	37.5%	10.0%	11.5%	15.6%	15.0%	20.6%
どちらとも いえない	46.2%	12.5%	35.0%	42.3%	50.0%	27.5%	23.5%
どちらかといえば そう思わない	7.7%	18.8%	5.0%	7.7%	6.3%	12.5%	11.8%
そう思わない	15.4%	0.0%	15.0%	11.5%	12.5%	22.5%	23.5%
わからない	7.7%	6.3%	0.0%	3.8%	3.1%	5.0%	2.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	11.8%

【前回調査】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
そう思う	22.2%	21.1%	14.3%	12.8%	9.6%	9.4%	6.4%
どちらかといえば そう思う	22.2%	10.5%	0.0%	8.5%	15.4%	5.7%	4.3%
どちらとも いえない	11.1%	31.6%	14.3%	40.4%	21.2%	28.3%	14.9%
どちらかといえば そう思わない	0.0%	5.3%	14.3%	17.0%	21.2%	11.3%	6.4%
そう思わない	33.3%	21.1%	42.9%	19.1%	21.2%	26.4%	27.7%
わからない	11.1%	10.5%	7.1%	0.0%	5.8%	11.3%	19.1%
無回答	0.0%	0.0%	7.1%	2.1%	5.8%	7.5%	21.3%

Q12-3	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上
そう思う	22.2%	21.1%	14.3%	12.8%	9.6%	9.4%	6.4%
どちらかといえば そう思う	22.2%	10.5%	0.0%	8.5%	15.4%	5.7%	4.3%
どちらとも いえない	11.1%	31.6%	14.3%	40.4%	21.2%	28.3%	14.9%
どちらかといえば そう思わない	0.0%	5.3%	14.3%	17.0%	21.2%	11.3%	6.4%
そう思わない	33.3%	21.1%	42.9%	19.1%	21.2%	26.4%	27.7%

わからない	11.1%	10.5%	7.1%	0.0%	5.8%	11.3%	19.1%
無回答	0.0%	0.0%	7.1%	2.1%	5.8%	7.5%	21.3%

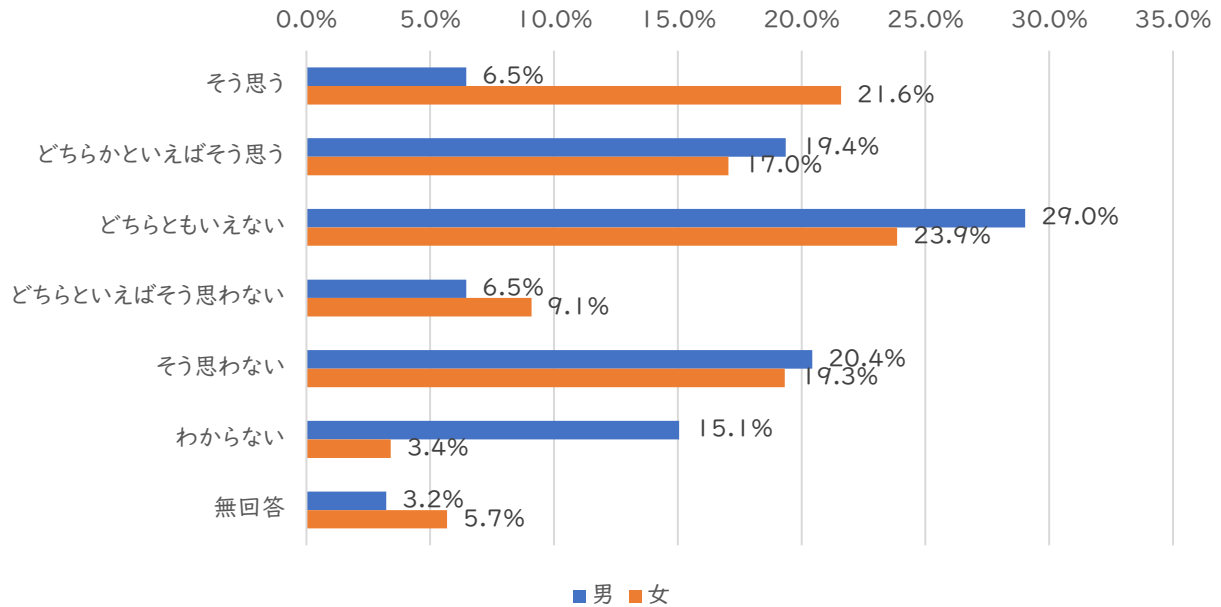
Q12-2	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
そう思う	11.1%	0.0%	7.1%	6.4%	15.4%	22.6%	25.5%
どちらかといえばそう思う	11.1%	21.1%	21.4%	17.0%	13.5%	17.0%	19.1%
どちらともいえない	33.3%	36.8%	35.7%	34.0%	26.9%	28.3%	14.9%
どちらかといえばそう思わない	0.0%	21.1%	0.0%	21.3%	9.6%	3.8%	2.1%
そう思わない	44.4%	15.8%	28.6%	19.1%	26.9%	18.9%	10.6%
わからない	0.0%	5.3%	7.1%	0.0%	1.9%	1.9%	10.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	5.8%	7.5%	17.0%

4) 今の社会では、離婚すると女性の方が不利である

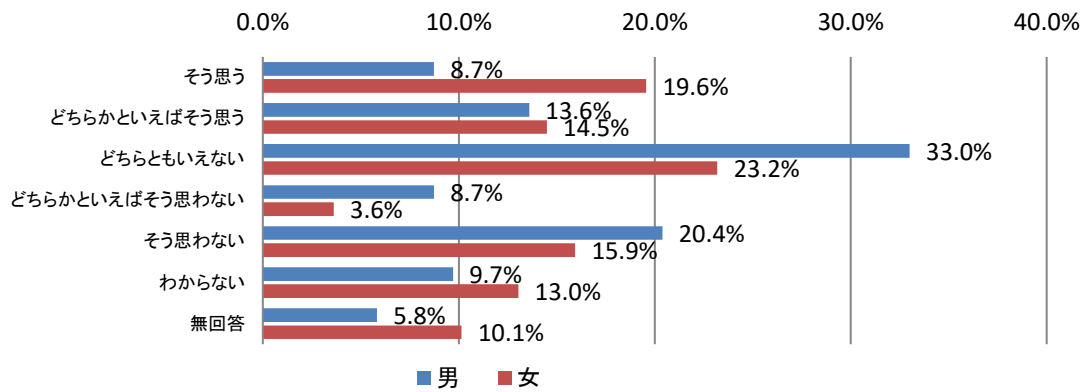
【回答結果：男女別】

男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。（男性 29.0%、女性 23.9%）
また、「そう思う」の男女差が 15.1 ポイントある。

【全体集計：SA/N=181】



【前回調査】



【回答結果：年代別】

40歳～49歳と70歳～79歳が「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。

18歳～29歳・30歳～39歳・50歳～59歳・60歳～69歳が「どちらともいえない」が最も高く、60歳～69歳は同率で「そう思わない」が最も多い。

80歳以上は「そう思わない」が最も高くなっている。

【クロス集計：SA/N=181】

	18歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～69歳	70歳 ～79歳	80歳 以上
そう思う	15.4%	18.8%	15.0%	19.2%	18.8%	7.5%	8.8%
どちらかといえば そう思う	7.7%	12.5%	25.0%	15.4%	18.8%	27.5%	11.8%
どちらとも いえない	23.1%	37.5%	20.0%	42.3%	21.9%	20.0%	26.5%
どちらかといえば そう思わない	7.7%	6.3%	15.0%	3.8%	12.5%	5.0%	5.9%
そう思わない	15.4%	18.8%	15.0%	11.5%	21.9%	25.0%	23.5%
わからない	30.8%	6.3%	10.0%	3.8%	6.3%	7.5%	11.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	7.5%	11.8%

【前回調査】

Q12-4	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
そう思う	11.1%	31.6%	7.1%	17.0%	13.5%	9.4%	17.0%
どちらかといえば そう思う	11.1%	26.3%	21.4%	21.3%	13.5%	9.4%	6.4%
どちらとも いえない	22.2%	36.8%	14.3%	38.3%	28.8%	18.9%	25.5%
どちらかといえば そう思わない	11.1%	0.0%	0.0%	4.3%	5.8%	15.1%	0.0%
そう思わない	33.3%	0.0%	35.7%	14.9%	26.9%	17.0%	10.6%
わからない	11.1%	5.3%	21.4%	2.1%	3.8%	20.8%	19.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	7.7%	9.4%	21.3%

Q12-4	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上
そう思う	11.1%	31.6%	7.1%	17.0%	13.5%	9.4%	17.0%
どちらかといえば そう思う	11.1%	26.3%	21.4%	21.3%	13.5%	9.4%	6.4%
どちらとも いえない	22.2%	36.8%	14.3%	38.3%	28.8%	18.9%	25.5%

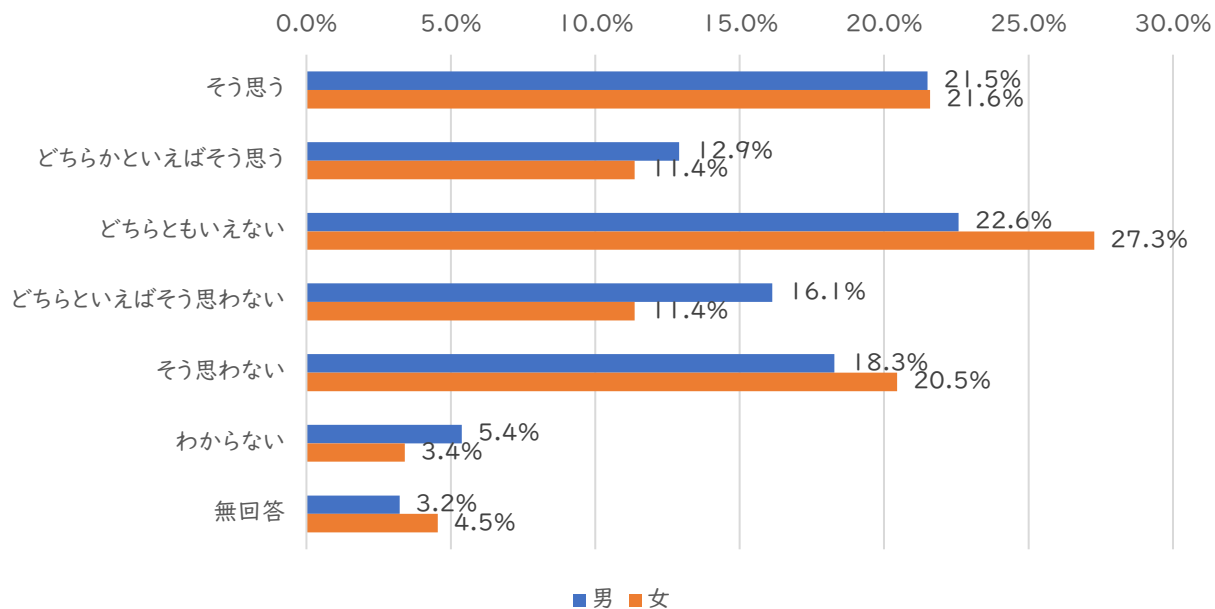
どちらかといえばそう思わない	11.1%	0.0%	0.0%	4.3%	5.8%	15.1%	0.0%
そう思わない	33.3%	0.0%	35.7%	14.9%	26.9%	17.0%	10.6%
わからない	11.1%	5.3%	21.4%	2.1%	3.8%	20.8%	19.1%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	7.7%	9.4%	21.3%

5) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

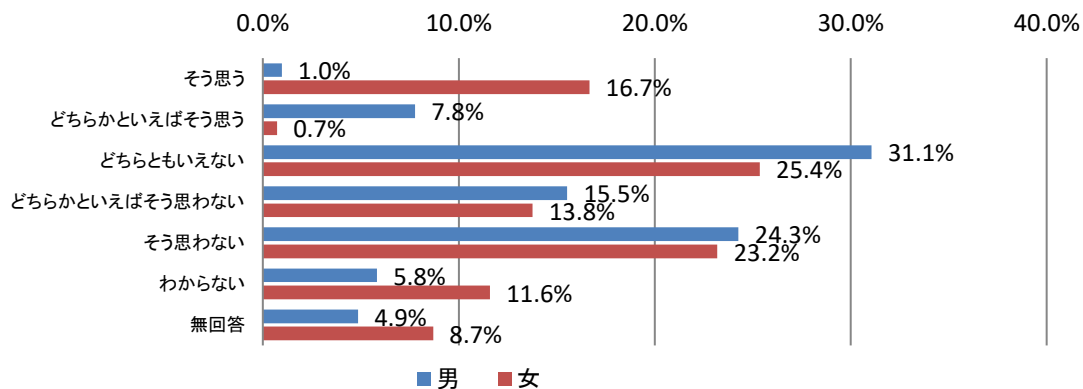
【回答結果：男女別】

男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。(男性：22.6%、女性 27.3%)

【全体集計：SA/N=181】



【前回調査】



【回答結果：年代別】

40歳～49歳と50歳～59歳が「そう思う」が最も高くなっている。

30歳～39歳は「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。

18歳～29歳・60歳～69歳・70歳～79歳・80歳以上が「どちらともいえない」が最も高く、18歳～29歳は「どちらかといえばそう思わない」、80歳以上は「そう思わない」も同率で最も高い。

80歳以上は「そう思わない」が最も高くなっている。

【クロス集計：SA/N=181】

	18歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～69歳	70歳 ～79歳	80歳 以上
そう思う	23.1%	25.0%	40.0%	38.5%	25.0%	12.5%	2.9%
どちらかといえば そう思う	15.4%	43.8%	10.0%	7.7%	9.4%	12.5%	2.9%
どちらとも いえない	23.1%	18.8%	20.0%	30.8%	34.4%	17.5%	26.5%
どちらかといえば そう思わない	23.1%	6.3%	20.0%	11.5%	12.5%	10.0%	17.6%
そう思わない	7.7%	6.3%	10.0%	7.7%	12.5%	40.0%	26.5%
わからない	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%	6.3%	0.0%	11.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	11.8%

【前回調査】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上
そう思う	33.3%	31.6%	14.3%	19.1%	9.6%	13.2%	4.3%
どちらかといえば そう思う	0.0%	0.0%	7.1%	8.5%	5.8%	0.0%	2.1%
どちらとも いえない	44.4%	52.6%	7.1%	40.4%	32.7%	15.1%	17.0%
どちらかといえば そう思わない	0.0%	10.5%	21.4%	14.9%	15.4%	17.0%	12.8%
そう思わない	11.1%	0.0%	28.6%	12.8%	25.0%	34.0%	31.9%
わからない	11.1%	5.3%	21.4%	2.1%	7.7%	11.3%	12.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	3.8%	9.4%	19.1%

Q12-5	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上
そう思う	33.3%	31.6%	14.3%	19.1%	9.6%	13.2%	4.3%
どちらかといえば そう思う	0.0%	0.0%	7.1%	8.5%	5.8%	0.0%	2.1%
どちらとも いえない	44.4%	52.6%	7.1%	40.4%	32.7%	15.1%	17.0%

どちらかといえばそう思わない	0.0%	10.5%	21.4%	14.9%	15.4%	17.0%	12.8%
そう思わない	11.1%	0.0%	28.6%	12.8%	25.0%	34.0%	31.9%
わからない	11.1%	5.3%	21.4%	2.1%	7.7%	11.3%	12.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	3.8%	9.4%	19.1%

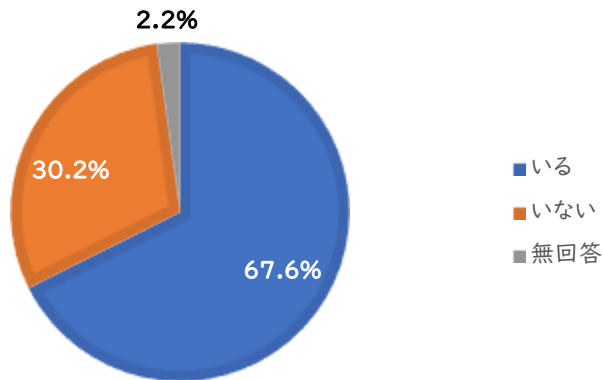
(4) 育児

問11 あなたは、お子さんがいますか。(〇は1つだけ)

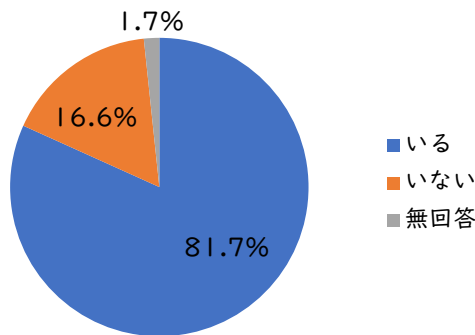
【回答結果】

「いる」が67.6%で高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】



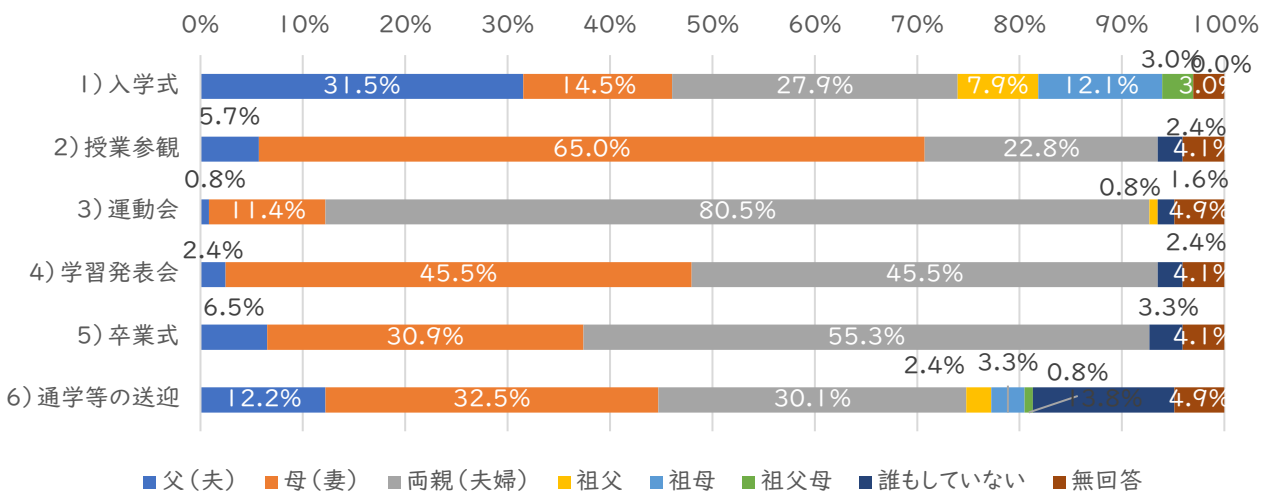
問12 問11で「いる」と回答した方に伺います。

子どもの学校や保育所に関すること主にしている(又はしていた)のは誰ですか

【回答結果】

入学式・運動会・学習発表会・卒業式は、「両親」が最も高く、学習発表会は同率で「母(妻)」も高い。授業参観と通学等の送迎は、「母(妻)」が最も高い。

【全体集計：SA/N=123】



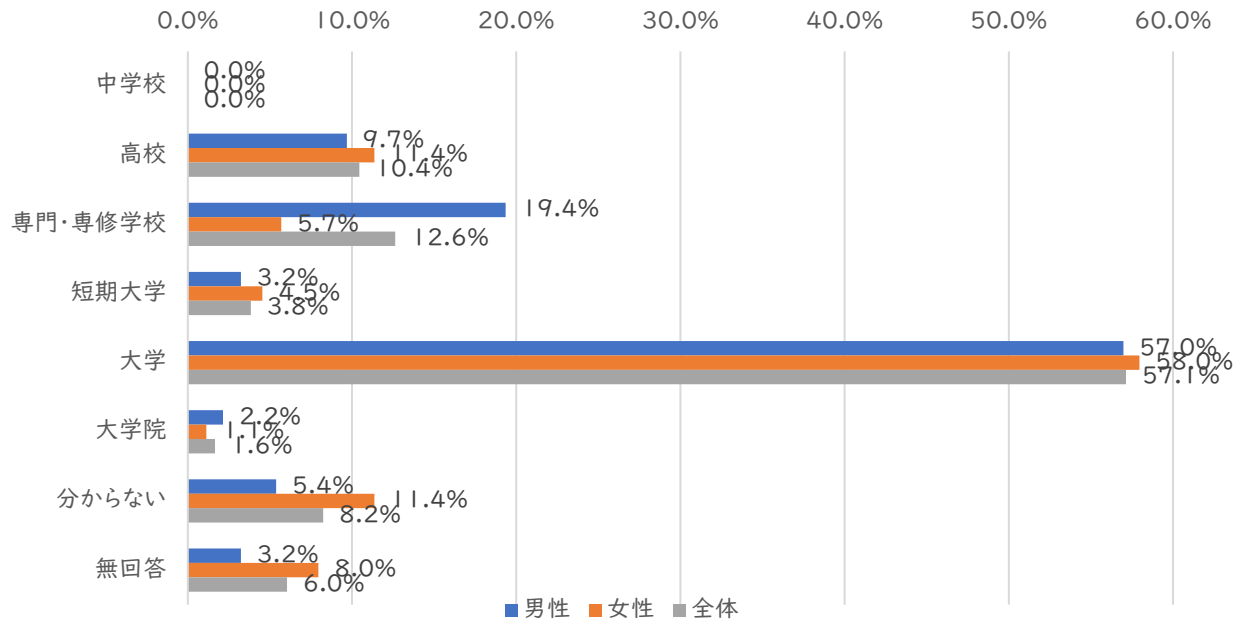
問13 あなたは、子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。子どもがいない場合やすでに卒業した場合もいると仮定して、現在の親としての考えや希望をお答えください。

1) 男子

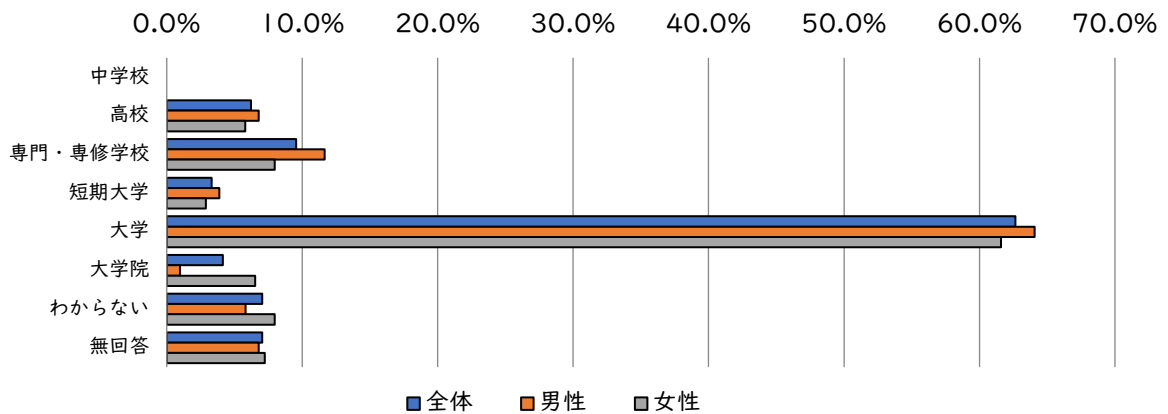
【回答結果】

男女ともに、「大学」が最も高くなっている。
「中学校」は0%である。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】



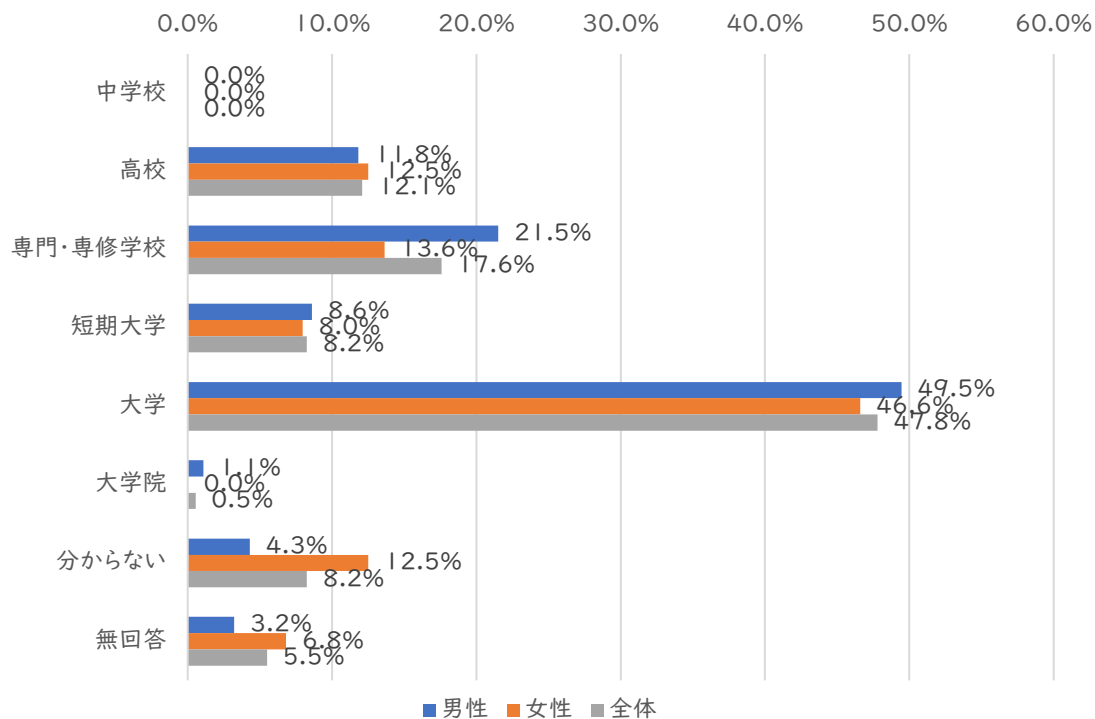
2) 女の子

【回答結果】

男女ともに、「大学」が最も高くなっている。

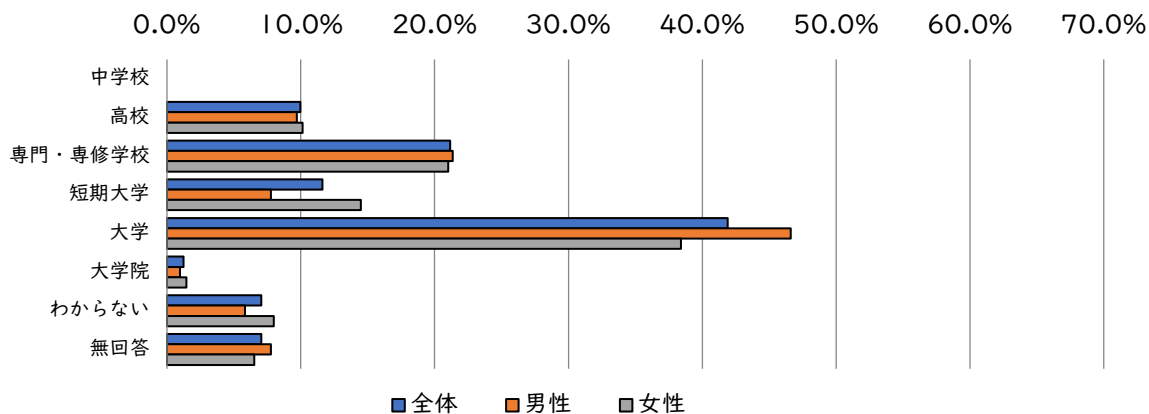
「中学校」は0%である。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

女の子に受けさせたい教育



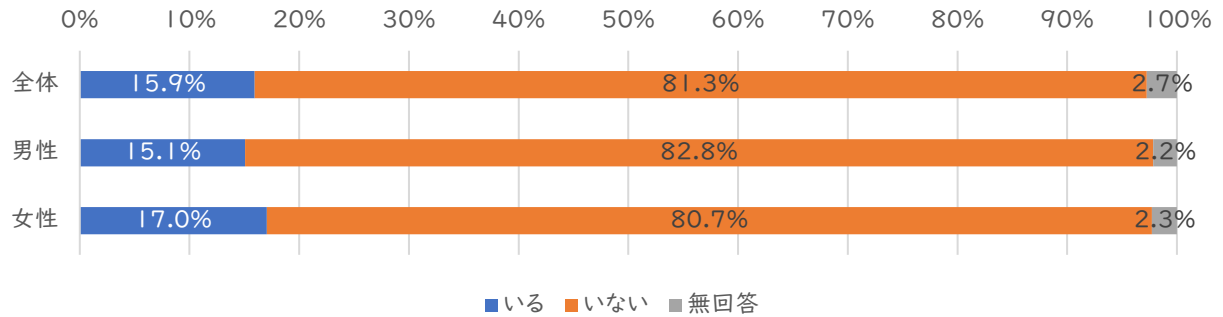
(5) 介護

問14 現在、家族の中に介護を要する人はいますか。(○は1つだけ)

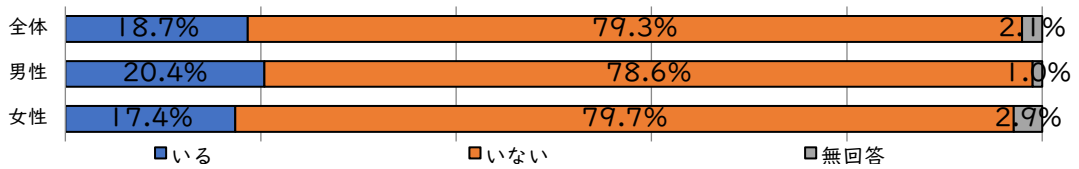
【回答結果】

男女ともに「いない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=181】



【前回調査】



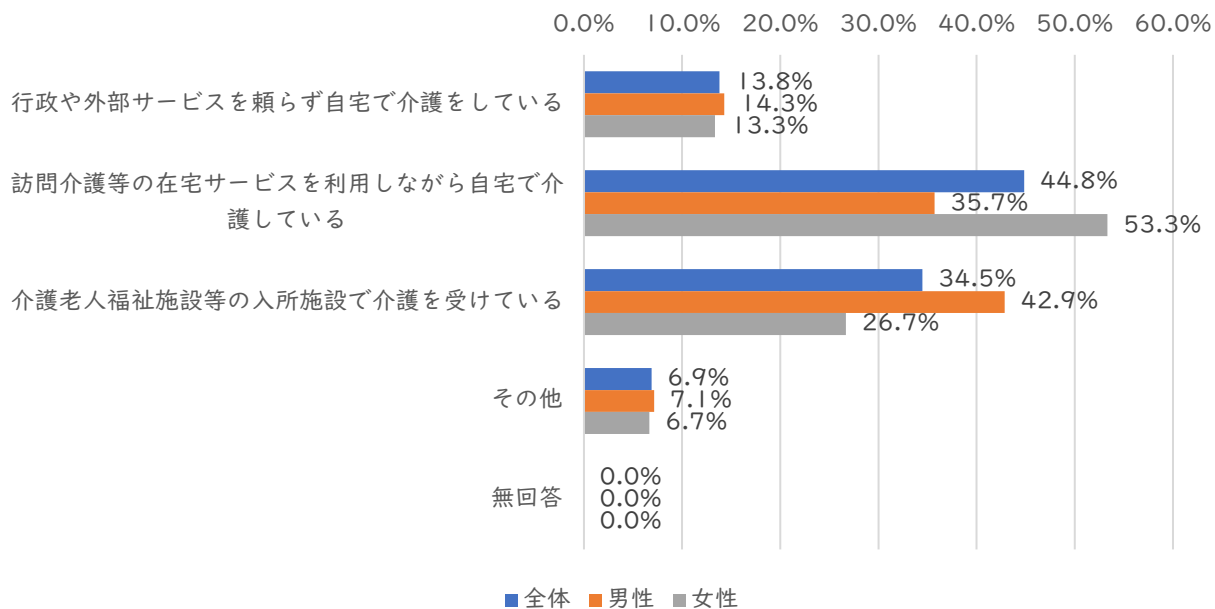
問15 問14で「いる」と回答した方にお伺いします。

1) どのように介護をしていますか。(〇は1つだけ)

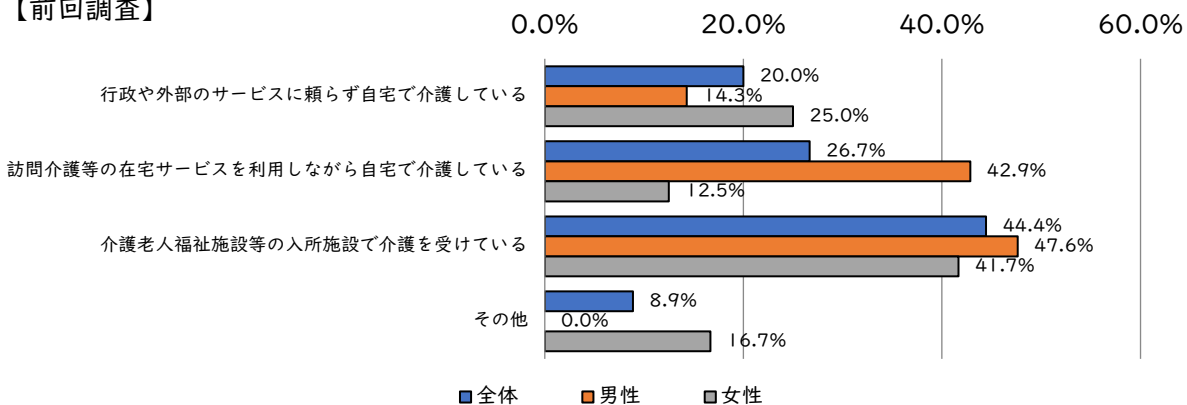
【回答結果】

男性は「介護老人福祉施設等の入所施設で介護をしている」が最も高く、女性は「訪問介護等の在宅サービスを利用しながら自宅で介護している」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=29】



【前回調査】

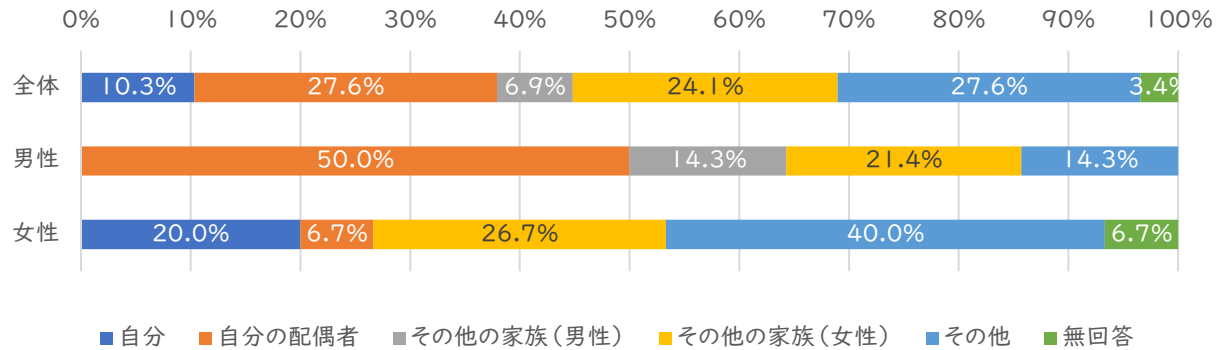


2) 主に誰が介護をしていますか。介護老人福祉施設等を利用している場合、施設とのやり取りや連絡があったときの対応は誰が行っていますか。(〇は1つだけ)

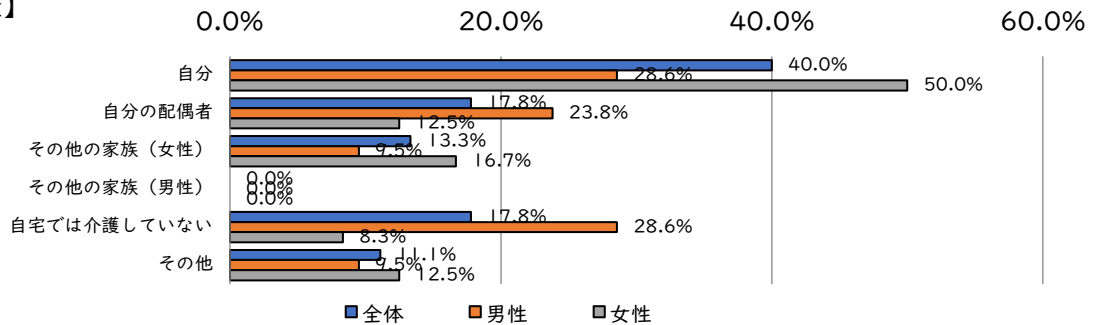
【回答結果】

男性は「自分の配偶者」、女性は「自分」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=29】



【前回調査】



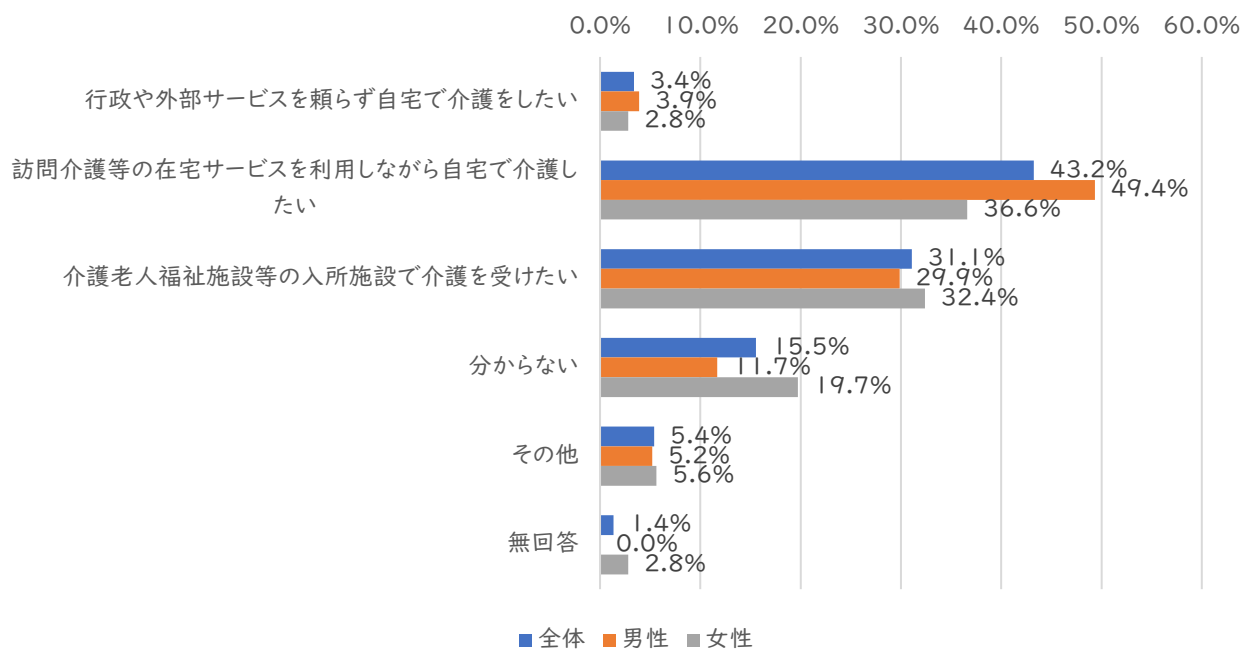
問16 問14で「1 いない」と回答した方にお伺いします。

1) 将来、家族が介護を要する状態となった場合についてどうなると思いますか。(〇は1つだけ)

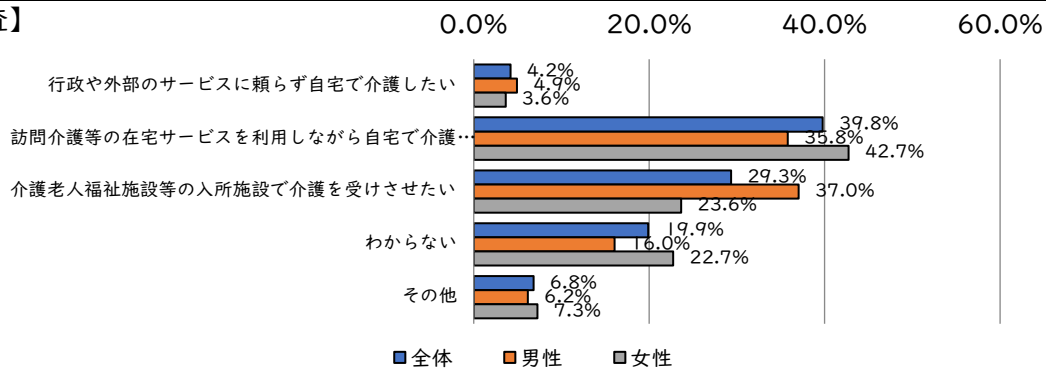
【回答結果】

男女ともに「訪問介護サービス等在宅サービスを利用しながら自宅で介護したい」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=148】



【前回調査】

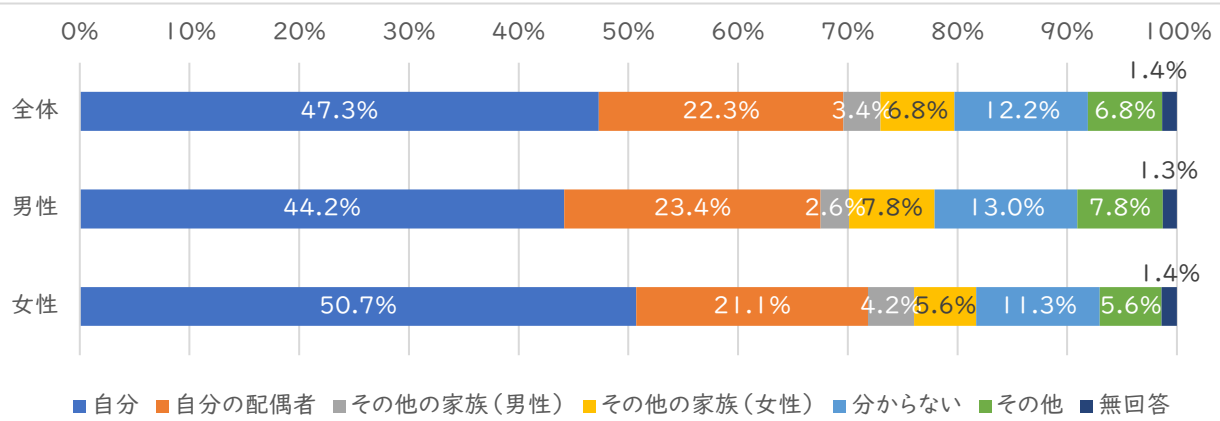


2) 主に誰が介護をしたいと思いますか。介護老人福祉施設等を利用したとした場合、施設とのやり取りや連絡があったときの対応は誰が行うと思いますか。(〇は1つだけ)

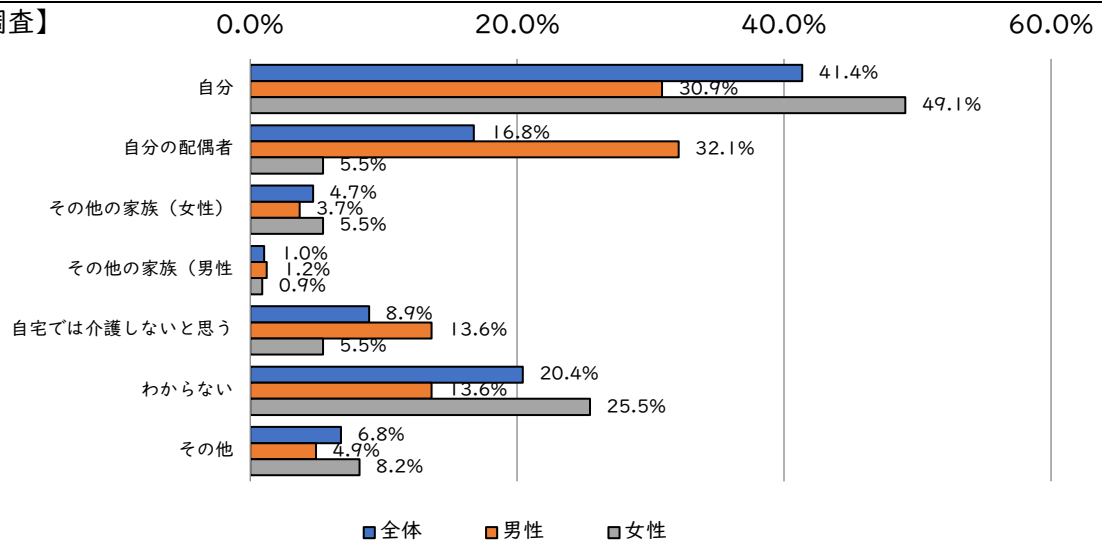
【回答結果】

男女ともに「自分」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=148】



【前回調査】



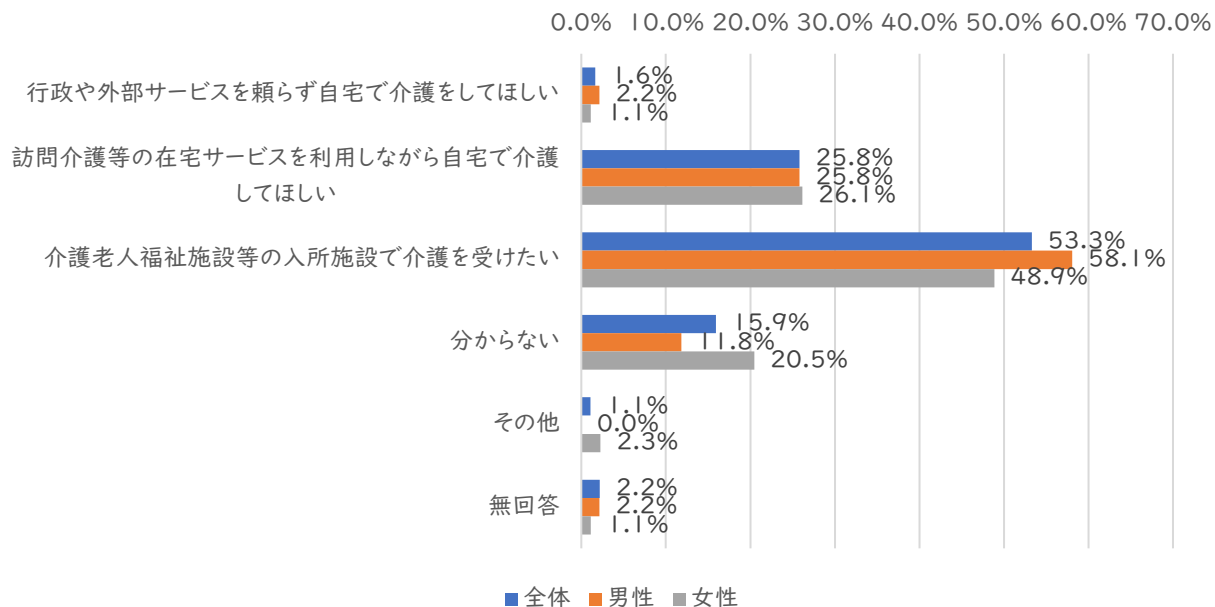
問17 あなた自身が介護を要する状態となった場合についてお伺いします。

1) どのように介護してほしいですか。(〇は1つだけ)

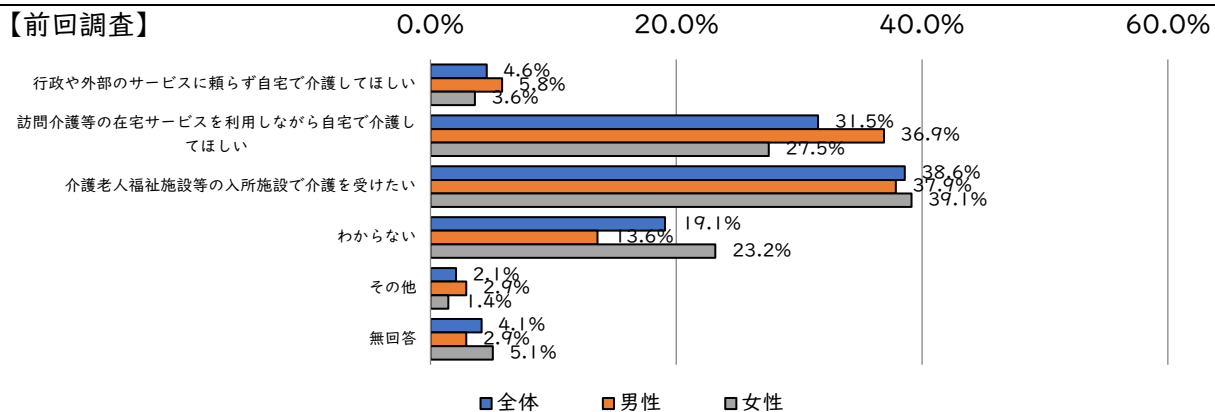
【回答結果】

男女ともに「介護老人福祉施設等の入所施設で介護を受けたい」が最も多くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

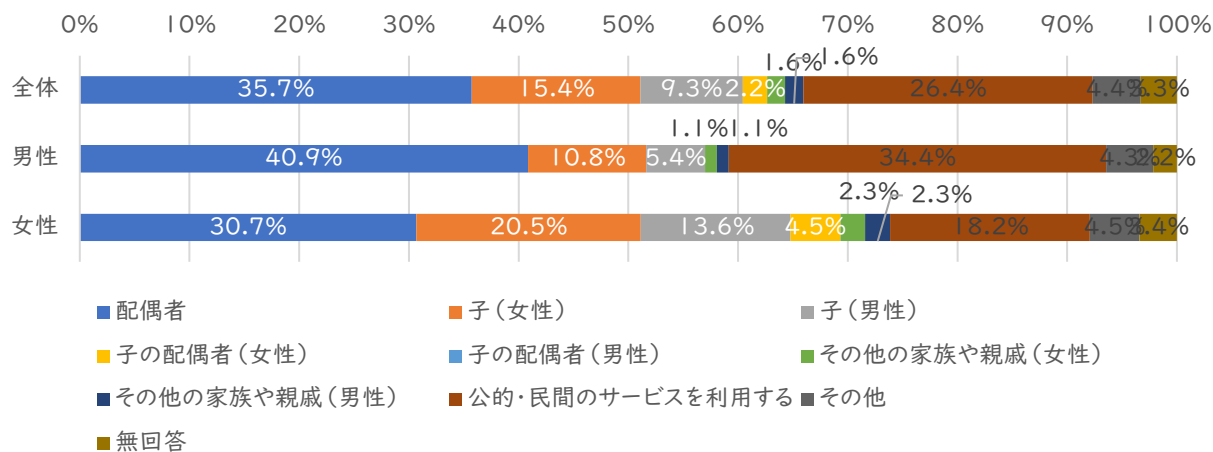


2) 主に誰に介護をしてほしいですか。介護老人福祉施設等を利用したとした場合、施設とのやり取りや連絡があったときの対応は誰にやってほしいですか。(〇は1つだけ)

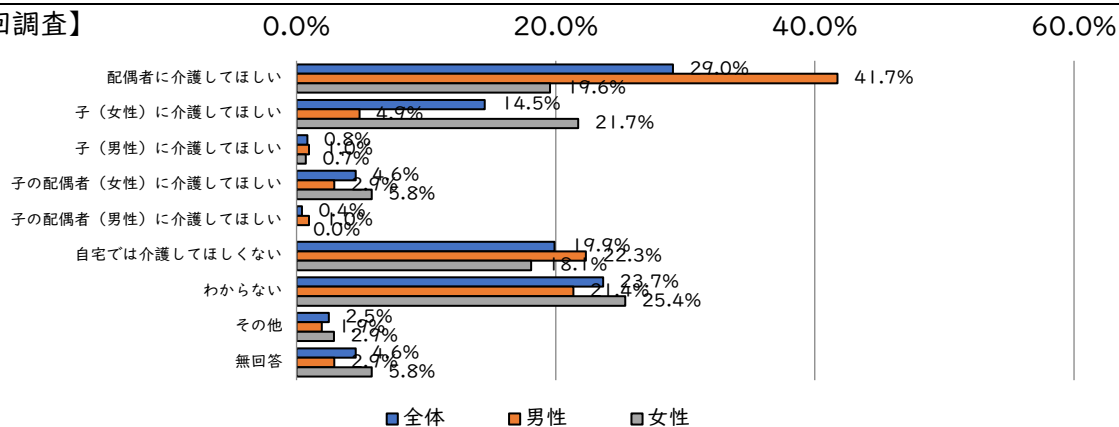
【回答結果】

男女ともに「配偶者」が最も多くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】



(6) 仕事と職場

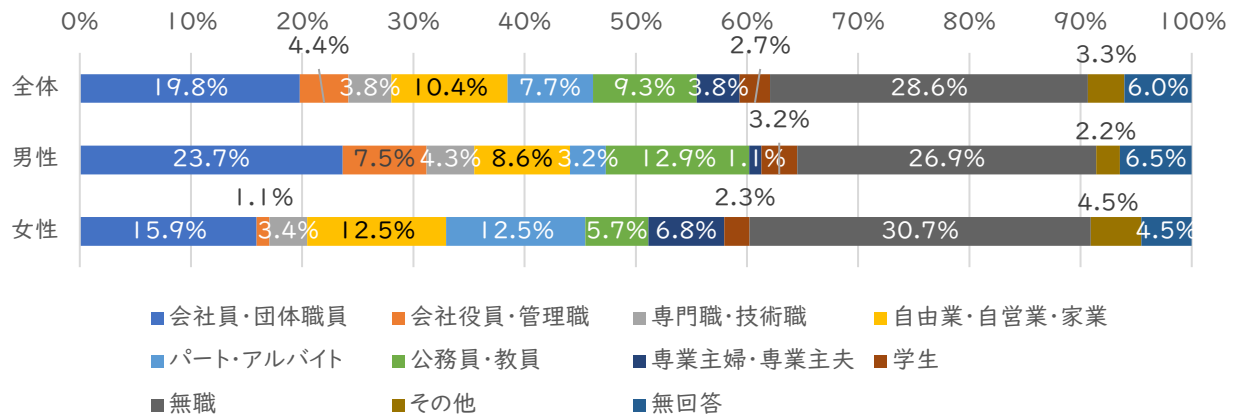
問18 あなたの職業を教えてください。(○は1つだけ)

【回答結果】

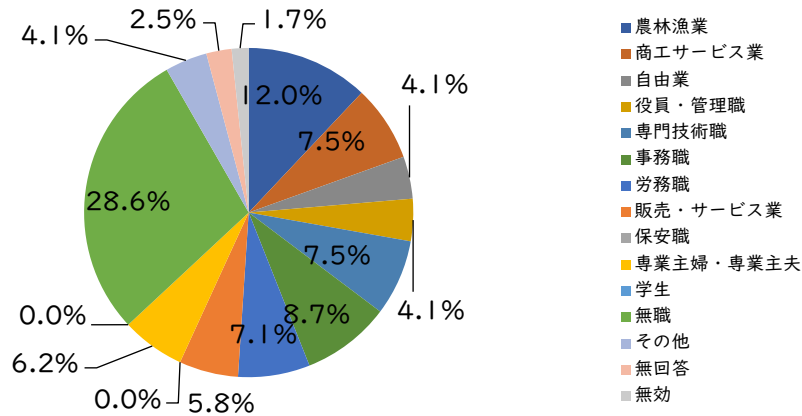
男女ともに無職が高くなっている。

職業の部門では「会社員・団体職員」が多くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】



問19 問18で1～6と答えた方に伺います。

1) 働いている理由は何ですか。(主なものを3つまで○)

【回答結果】

男女ともに「生計を維持するため」が最も高くなっている。

次いで、男性は「働くのが当たり前だと思うから」、女性は「将来に備えて貯蓄するため」となっている。

【全体集計：MA/N=254】

	全体	男性	女性
生計を維持するため	31.1%	32.4%	28.6%
将来に備えて貯蓄するため	15.4%	15.2%	15.2%
自分で自由になる収入が欲しいため	12.2%	10.3%	14.3%
自分の能力、技能、資格をいかすため	5.1%	4.1%	6.3%
働くことが好きだから	5.1%	4.8%	5.4%
社会的視野を広めるため	3.5%	3.4%	3.6%
社会や他人とのつながりをもつため	6.7%	4.1%	9.8%
働くのが当たり前だと思うから	15.0%	17.2%	11.6%
家業だから	3.9%	4.1%	3.6%
時間的に余裕があるから	0.4%	0.0%	0.9%
その他	0.8%	0.7%	0.9%
無回答	0.8%	3.4%	0.0%

2) あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で次のようなことがありますか。(主なもの3つまで○)

【回答結果】

男女ともに「特にない」が最も高くなっている。

次いで、男性は「昇進に男女差がある」と「育児休業が取得できない・取りにくい」、女性は「正社員と同じような仕事をしているのにパート等の待遇が劣っている」が高くなっている。

【クロス集計：MA/N=181】

	全体	男性	女性
賃金に男女差がある	2.4%	3.1%	1.7%
昇進に男女差がある	4.9%	7.7%	1.7%
募集、採用、人事配置、定年退職に男女差がある	3.3%	3.1%	3.4%
お茶くみや雑用は主に女性が行う	7.3%	4.6%	10.3%
女性は結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある	0.0%	0.0%	0.0%
育児休業が取得できない・取りにくい	6.5%	7.7%	5.2%
介護休業が取得できない・取りにくい	8.1%	3.1%	13.8%
中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある	1.6%	1.5%	1.7%
正社員と同じような仕事をしているのにパート等の待遇が劣っている	9.8%	4.6%	15.5%
特にない	51.2%	58.5%	43.1%
無回答	4.9%	6.2%	3.4%

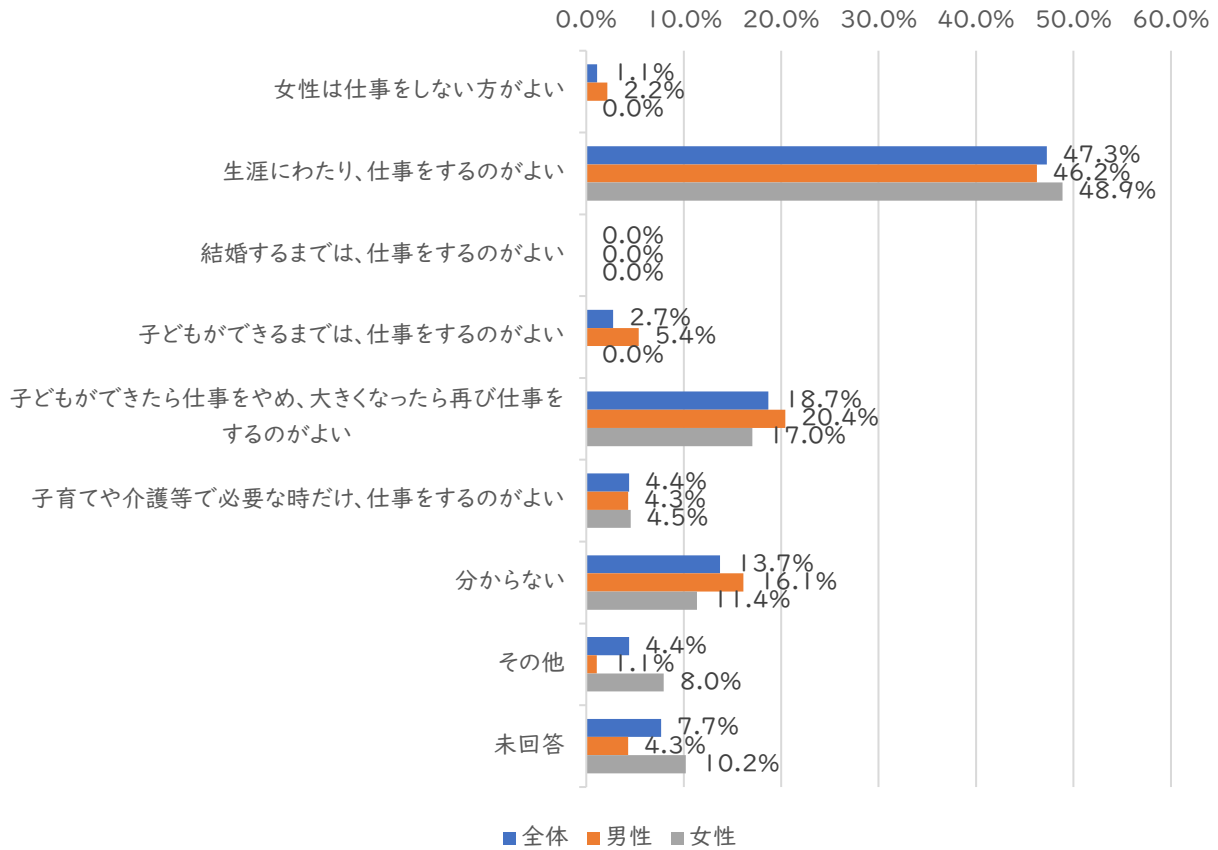
(7) 女性の社会進出

問20 女性が仕事をするについて、どのように思いますか。(1つだけ○)

【回答結果】

男女ともに「生涯にわたり、仕事をするのがよい」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

	全体	男性	女性
女性は仕事をしない方がよい	2.1%	1.9%	2.2%
生涯にわたり、仕事をするのがよい	38.2%	34.0%	41.3%
結婚するまでは、仕事をするのがよい	4.6%	5.8%	3.6%
子どもができるまでは、仕事をするのがよい	4.1%	4.9%	3.6%
子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするのがよい	24.9%	32.0%	19.6%
子育てや介護等必要でない時だけ、仕事をするのがよい	7.5%	6.8%	8.0%
わからない	10.0%	9.7%	10.1%
その他	4.1%	3.9%	4.3%
無回答	4.6%	1.0%	7.2%

問21 今後、女性と男性がともに働き続けるために必要なことは何だと思いますか。
(主なものを3つまで○)

【回答結果】

男女ともに「労働時間の短縮や就業時間等、柔軟な勤務形態の導入」が最も高くなっている。

【クロス集計：MA/N=239】

	全体	男性	女性
職場において昇進や賃金等、労働条件面での男女差をなくす	14.3%	15.5%	13.0%
労働時間の短縮や就業時間等、柔軟な勤務形態の導入	19.5%	20.9%	17.9%
育児・介護休業の取得等の職場環境の整備	13.9%	15.1%	12.6%
退職後の再雇用制度の充実	5.6%	5.9%	5.3%
保育施設や児童クラブ（学童保育）等、保育サービスの充実	11.0%	12.6%	9.2%
介護施設や訪問介護・通所介護等、介護サービスの充実	7.6%	7.5%	7.7%
女性自身の働き続けることに対する意識や意欲の向上	5.6%	4.6%	6.8%
技能研修や職業訓練の機会の充実	0.9%	0.8%	1.0%
家庭での役割分担・家族の理解	12.3%	9.6%	15.5%
従来 of 社会意識を改める	4.0%	3.8%	4.3%
特に必要なことはない	0.7%	1.3%	0.0%
分からない	2.0%	0.8%	3.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%
未回答	2.7%	1.7%	3.4%

【前回調査】

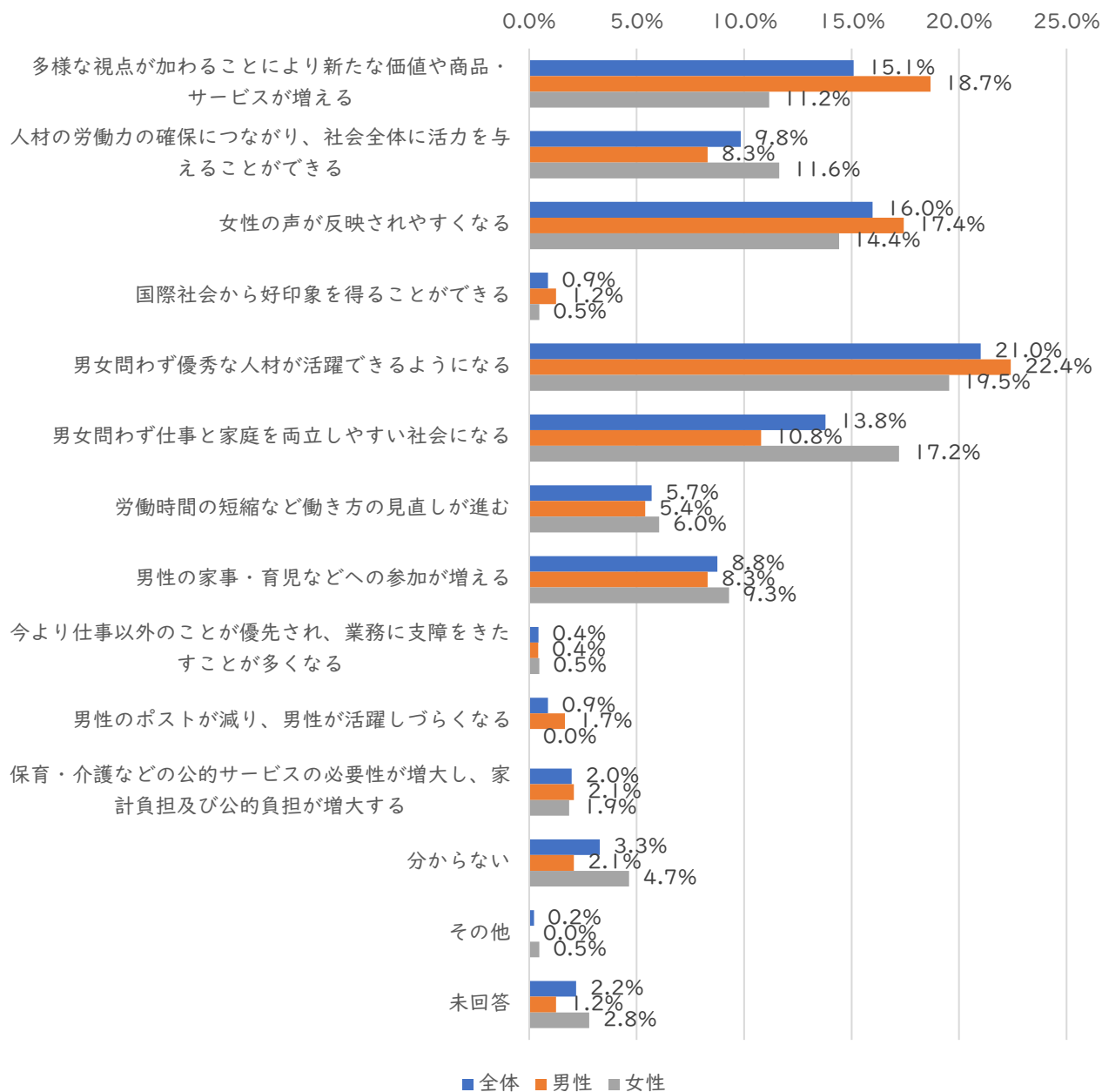
	全体	男性	女性
職場において昇進や賃金等、労働条件面での男女差をなくす	14.4%	14.7%	14.2%
労働時間の短縮や就業時間等、柔軟な勤務形態の導入	12.9%	13.9%	12.2%
育児・介護休業の取得等職場環境の整備	15.2%	17.3%	13.6%
退職後の再雇用制度の充実	8.0%	6.4%	9.2%
保育施設や児童クラブ（学童保育）等、保育サービスの充実	8.3%	10.9%	6.4%
介護施設や訪問介護・通所介護等、介護サービスの充実	8.0%	9.4%	6.9%
女性自身の働き続けることに対する意識や意欲の向上	7.8%	7.1%	8.3%
技能研修や職業訓練の機会の充実	1.4%	1.9%	1.1%
家庭での役割分担・家族の理解	14.7%	10.9%	17.5%
従来 of 社会意識を改める	4.0%	4.1%	3.9%
特に必要なことはない	0.8%	0.4%	1.1%
わからない	2.4%	1.5%	3.1%
その他	0.8%	0.8%	0.8%
無回答	1.3%	0.8%	1.7%

問22 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるるとどのような効果と影響があると思いますか。（主なもの3つまで○）

【回答結果】

男女ともに「男女問わず仕事と家庭を両立しやすい社会になる。」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=241】



(8) ワーク・ライフ・バランス

問23 ワーク・ライフ・バランスは、仕事、家庭生活、個人の生活など、様々な活動を自分が望ましいと考える割合で実現できている状態です。

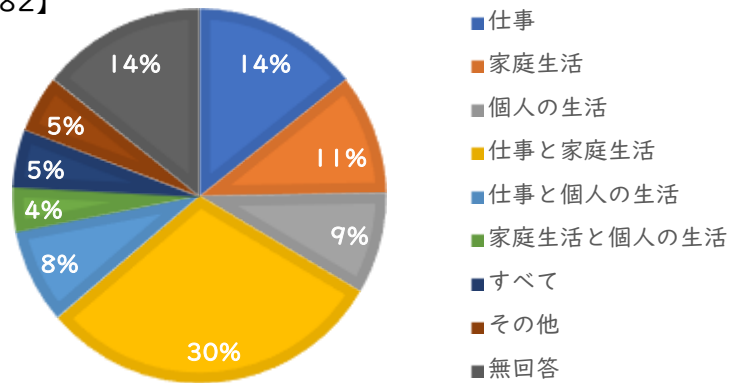
あなたの理想と現実について、それぞれ近いものをお答えください。(各項目1つに○)

1) 現実

【回答結果】

「仕事と家庭生活」が最も高く、次いで「仕事」が高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】

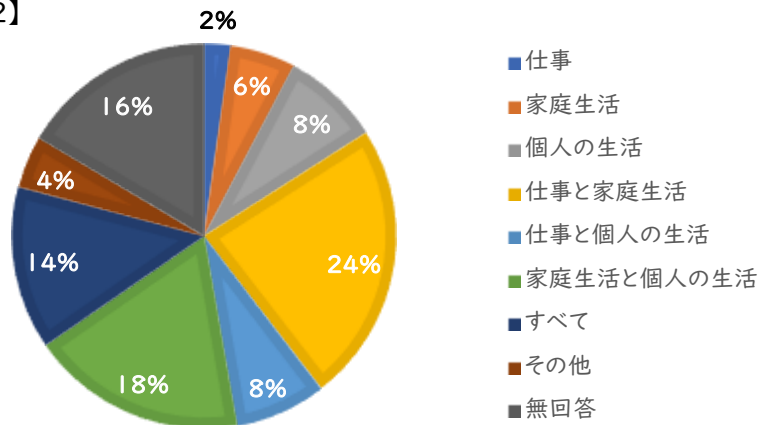


2) 理想

【回答結果】

理想も「仕事と家庭生活」が最も高いが、次いで「家庭生活と個人の生活」が高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】

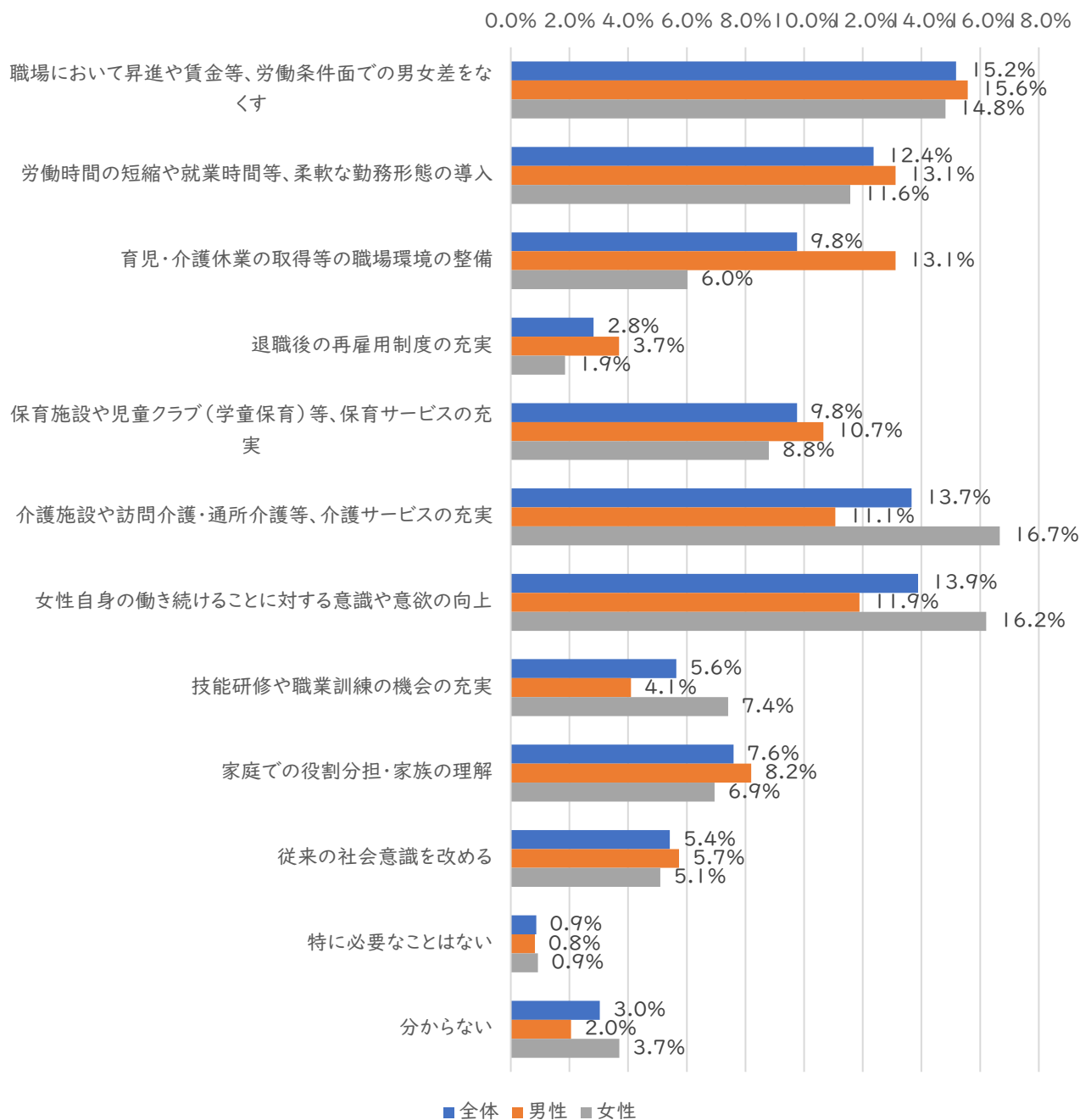


問24 ワーク・ライフ・バランスの推進のために必要なことは何だと思いますか。
(主なものを3つまで○)

【回答結果：男女別】

男性は「職場において昇進や賃金等、労働条件面での男女差をなくす」が最も高く、女性は「介護施設や訪問介護・通所介護等、介護サービスの充実」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=461】



(9) 地域活動

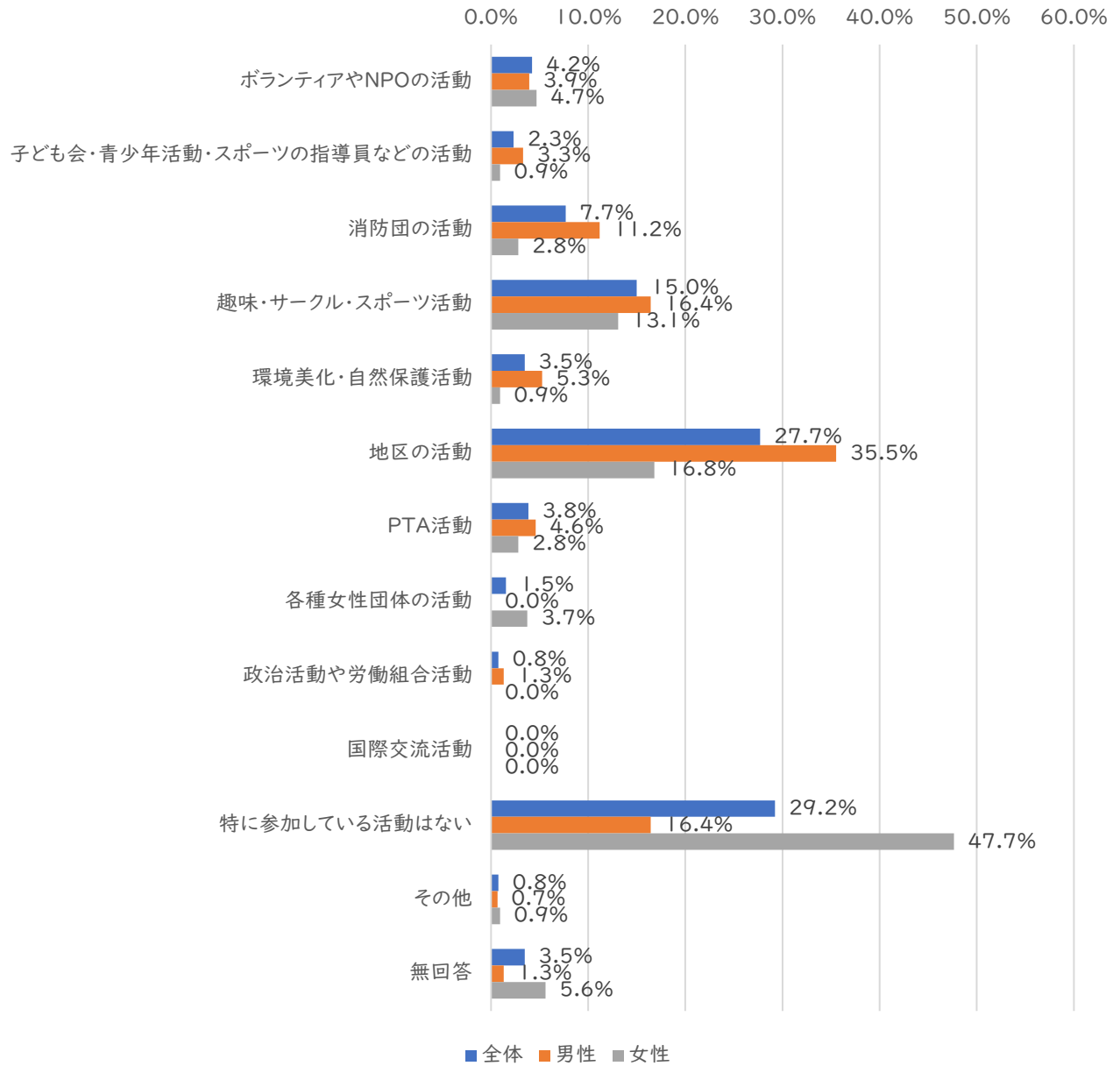
問25 現在、職業以外であなたが参加している活動はありますか。(該当するものすべてに○)

【回答結果】

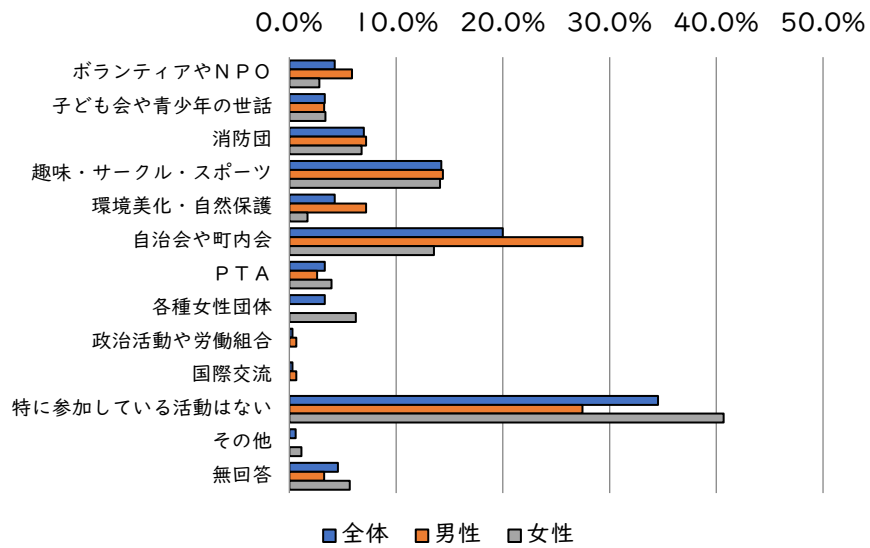
男性は「地区の活動」が最も高く、女性は「特に参加している活動はない」が最も高くなっている。

女性も活動しているものの中では「地区の活動」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=260】



【前回調査】

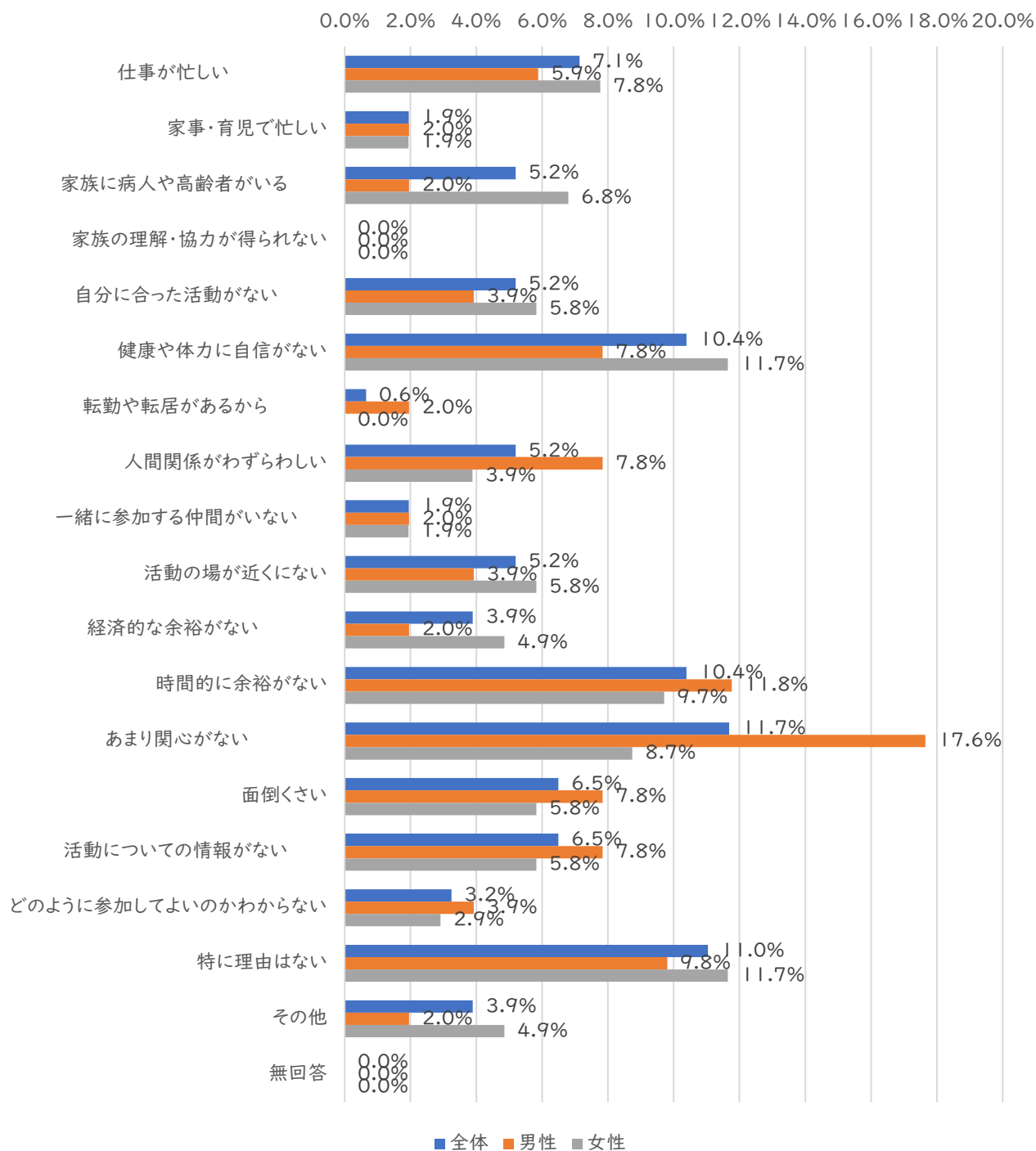


問26 「11 特に参加している活動はない」を回答した方にお伺いします。
活動に参加していない理由は何ですか。（主なもの3つまで○）

【回答結果】

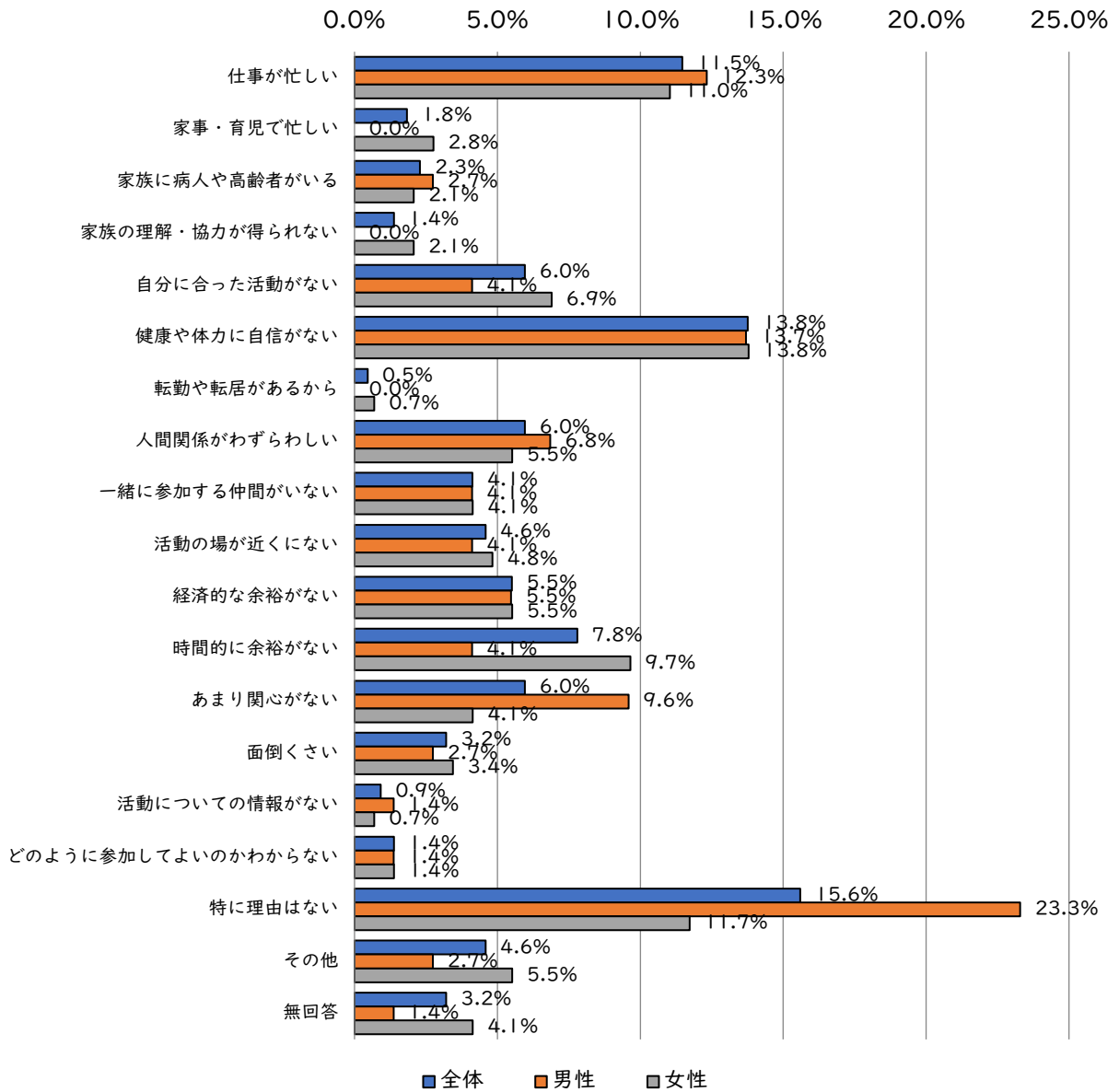
男性は「あまり関心がない」が最も高く、女性は「健康や体力に自信がない」と「特に理由はない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=154】



【前回調査】

活動に参加していない理由



(10) ハラスメント

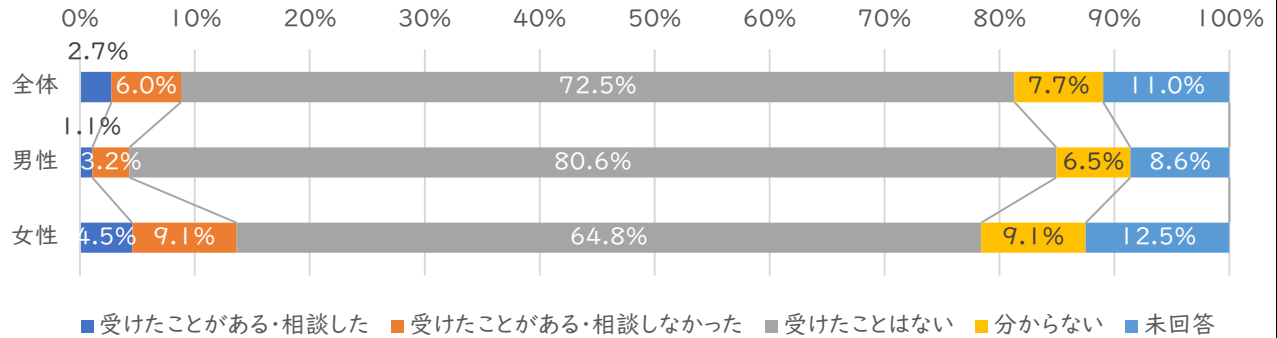
問27 あなたはこれまでに次のような被害を受けたことがありますか。(各項目1つに○)

1) セクシュアル・ハラスメント

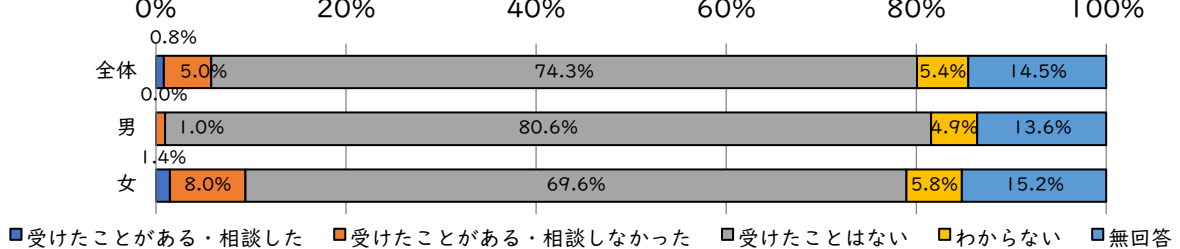
【回答結果】

男女ともに「受けたことがない」が最も高いが、女性の「受けたことがある・相談しなかった」が9.1%となっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

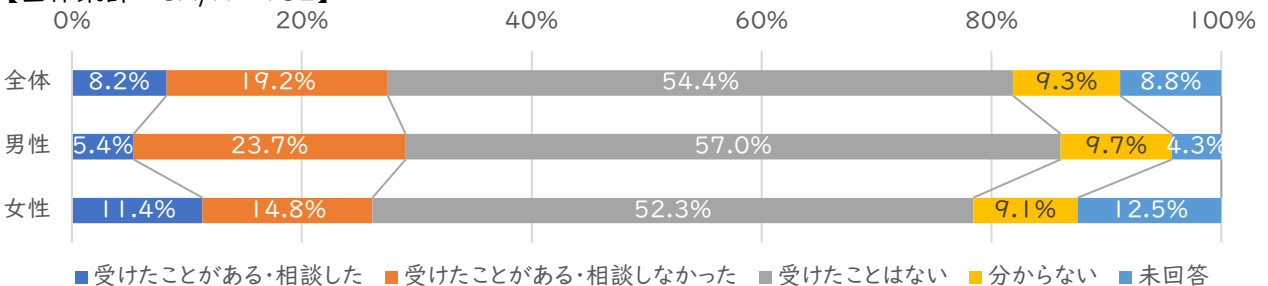


2) パワー・ハラスメント

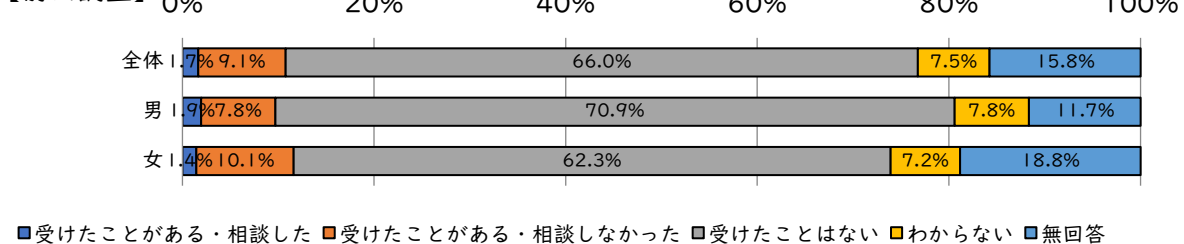
【回答結果】

男女ともに「受けたことはない」が最も高いが、男性の「受けたことがある・相談しなかった」が次いで高い。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】



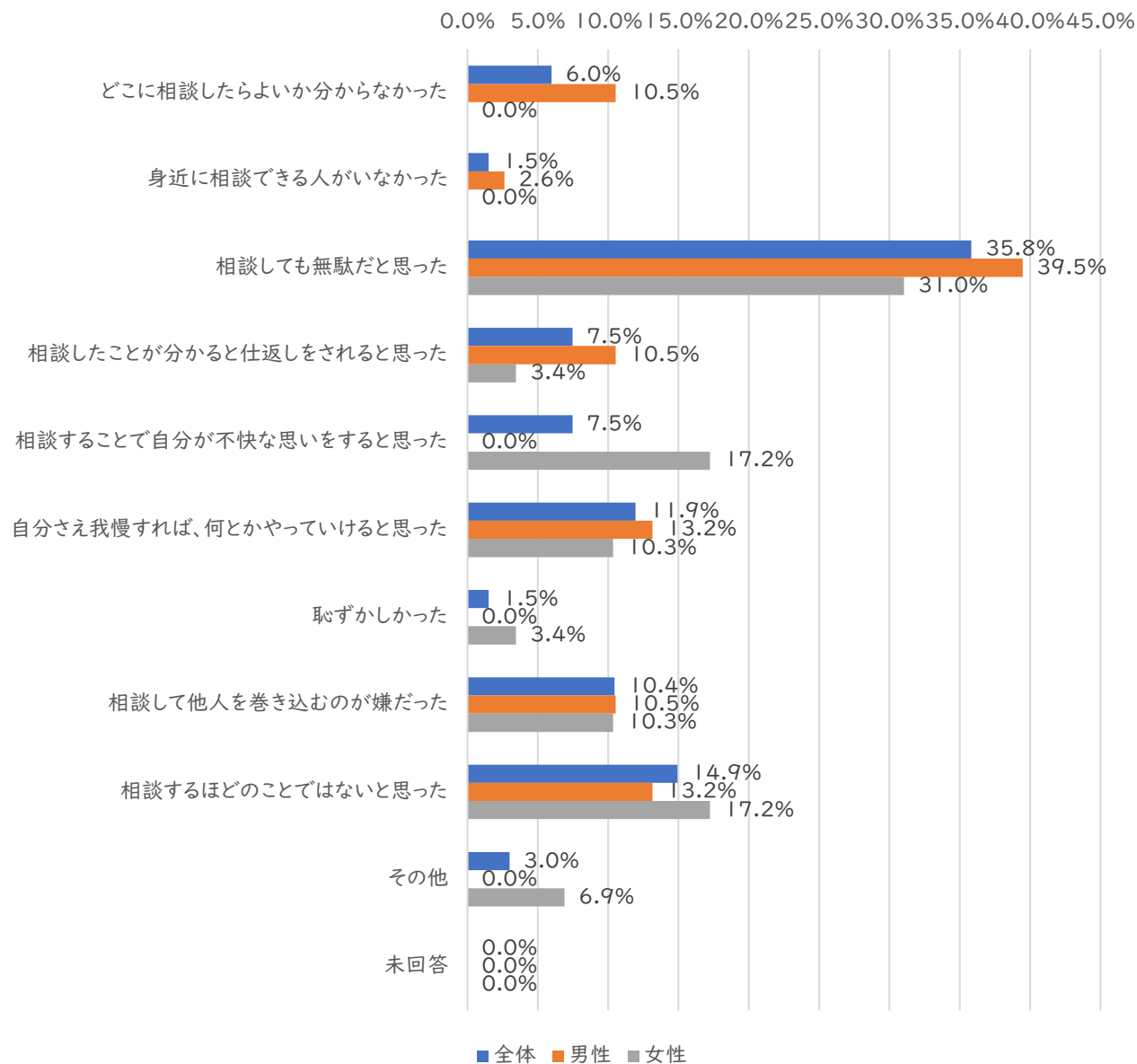
問28 問27のいずれかで「2 受けたことがある・相談しなかった」と回答した方に伺います。

相談しなかった理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

【回答結果】

男女ともに「相談しても無駄だと思った」が圧倒的に高くなっている。

【全体集計：MA/N=67】



(11) ドメスティックバイオレンス・ストーカー

問29 あなたはこれまで配偶者やパートナーから次のような被害を受けたことがありますか。
(各項目1つに○)

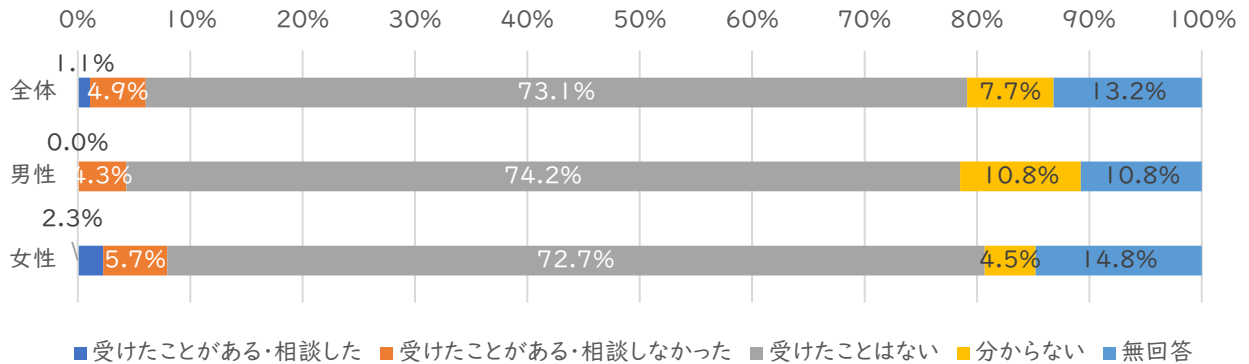
1) DV

【回答結果：男女別】

男女ともに「受けたことはない」が最も高くなっている。

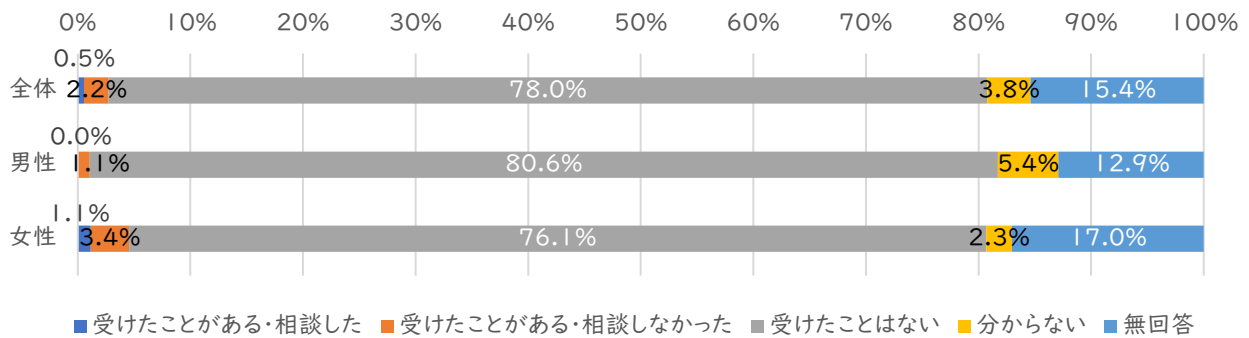
ア 暴力や叱責

【全体集計：SA/N=182】



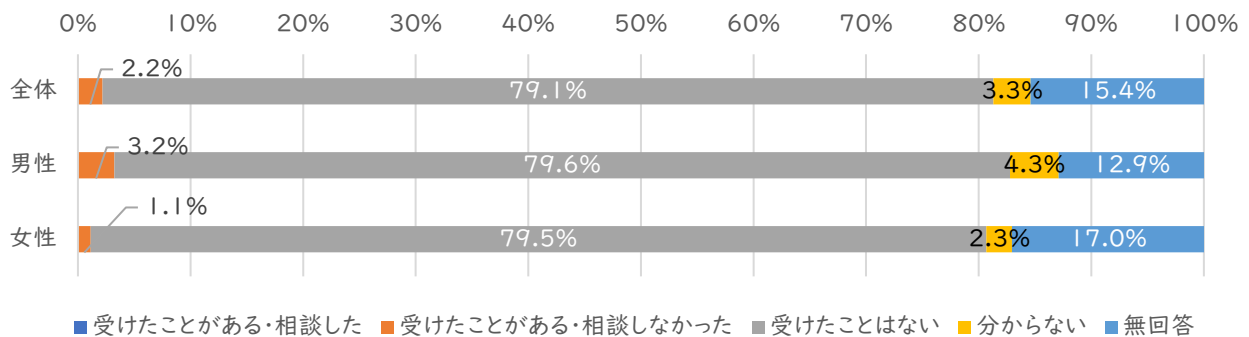
イ 外出などの制限

【全体集計：SA/N=182】

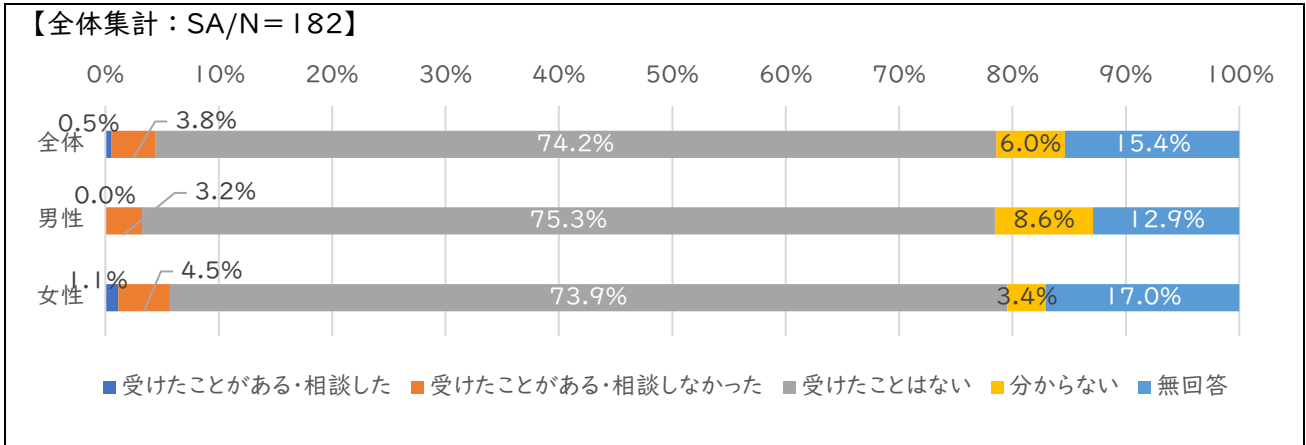


ウ 交友関係や電話・メール・LINE等を細かく監視する。

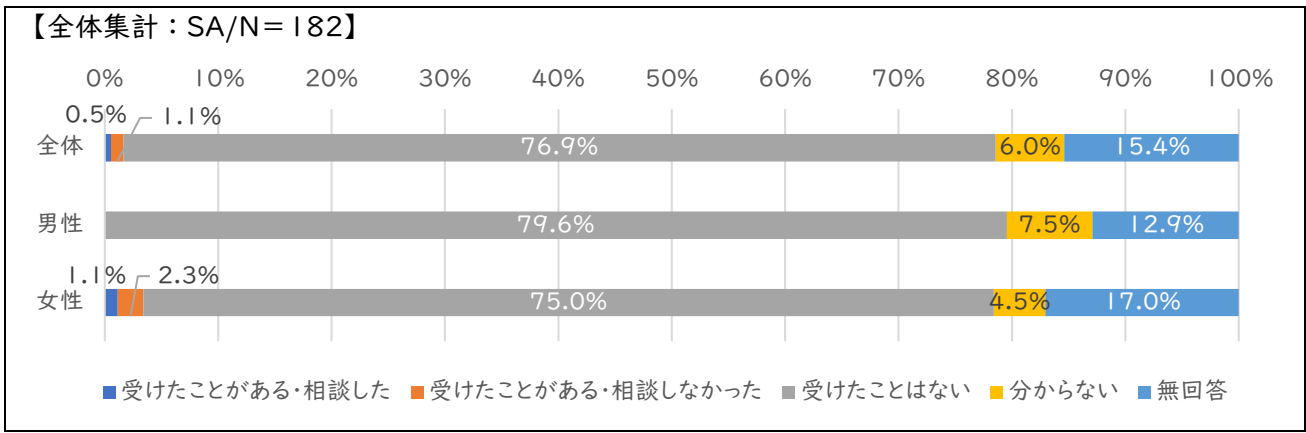
【全体集計：SA/N=182】



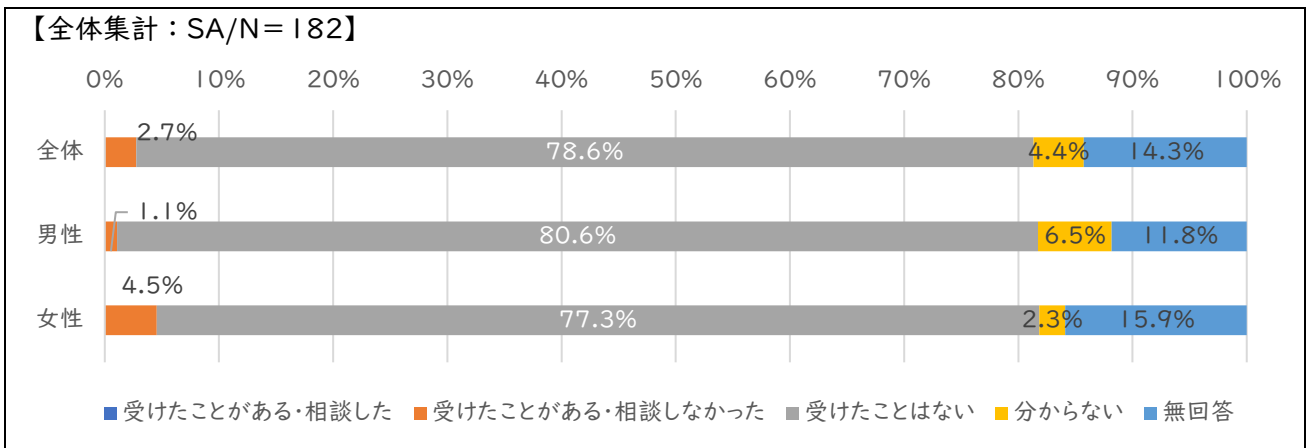
エ 何を言っても無視する



オ 生活費を十分に渡さない



カ 「誰のおかげで生活できているんだ」などと侮辱的なことを言われた

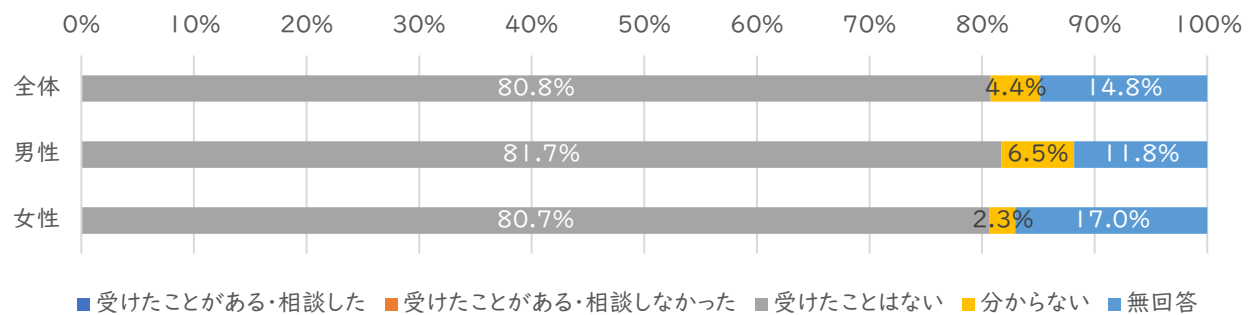


2) ストーカー

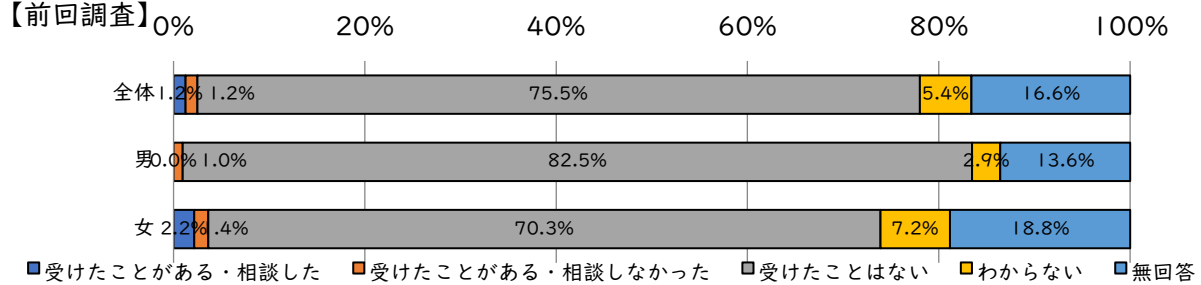
【回答結果：男女別】

男女ともに「受けたことはない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

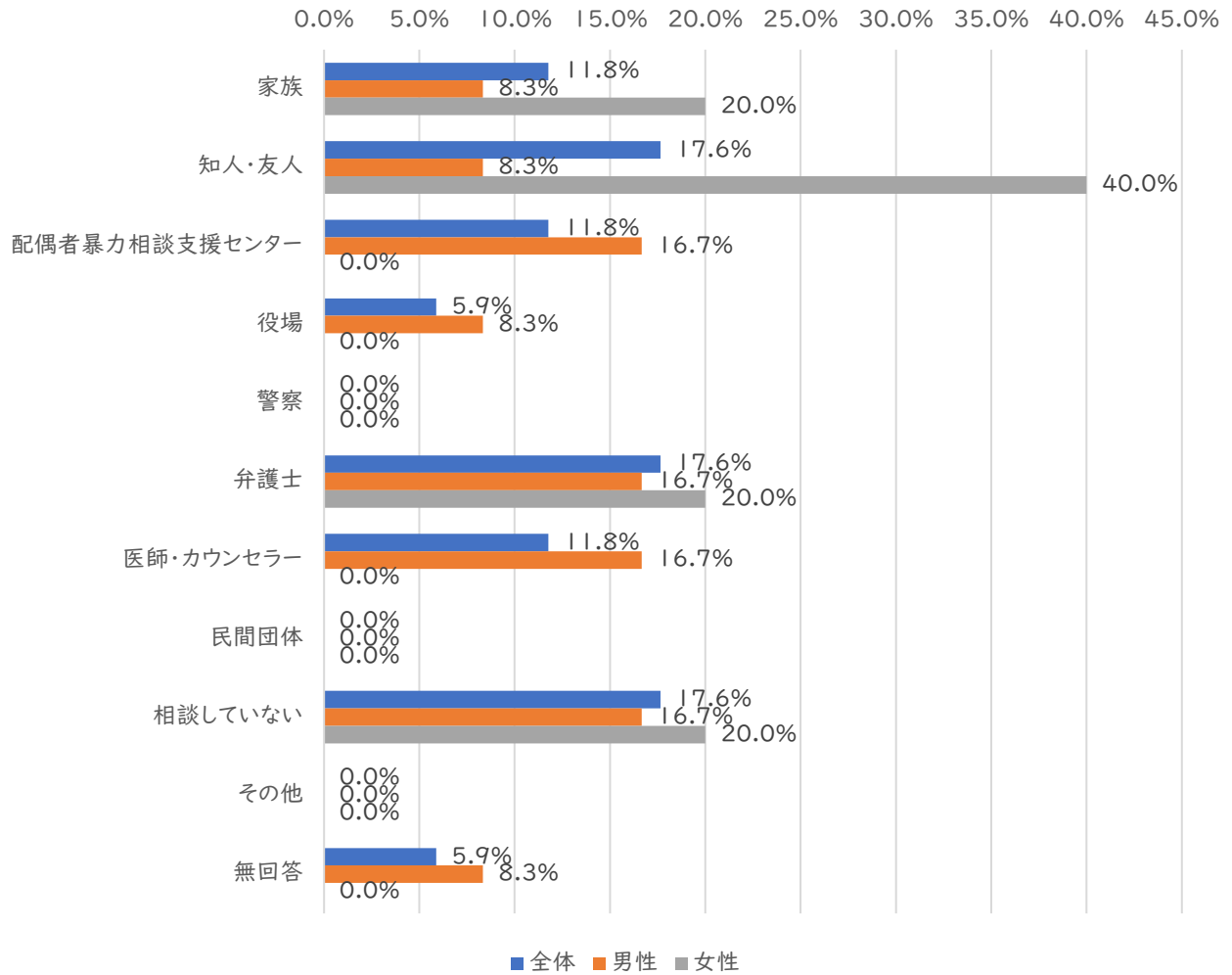


問30 問29のいずれかで「1 受けたことがある・相談した」と回答した方に伺います。
誰に相談しましたか。(該当するものすべてに○)

【回答結果】

男性は「弁護士」と「相談していない」が最も高く、女性は、「知人・友人」が最も高い。

【全体集計：SA/N=113】



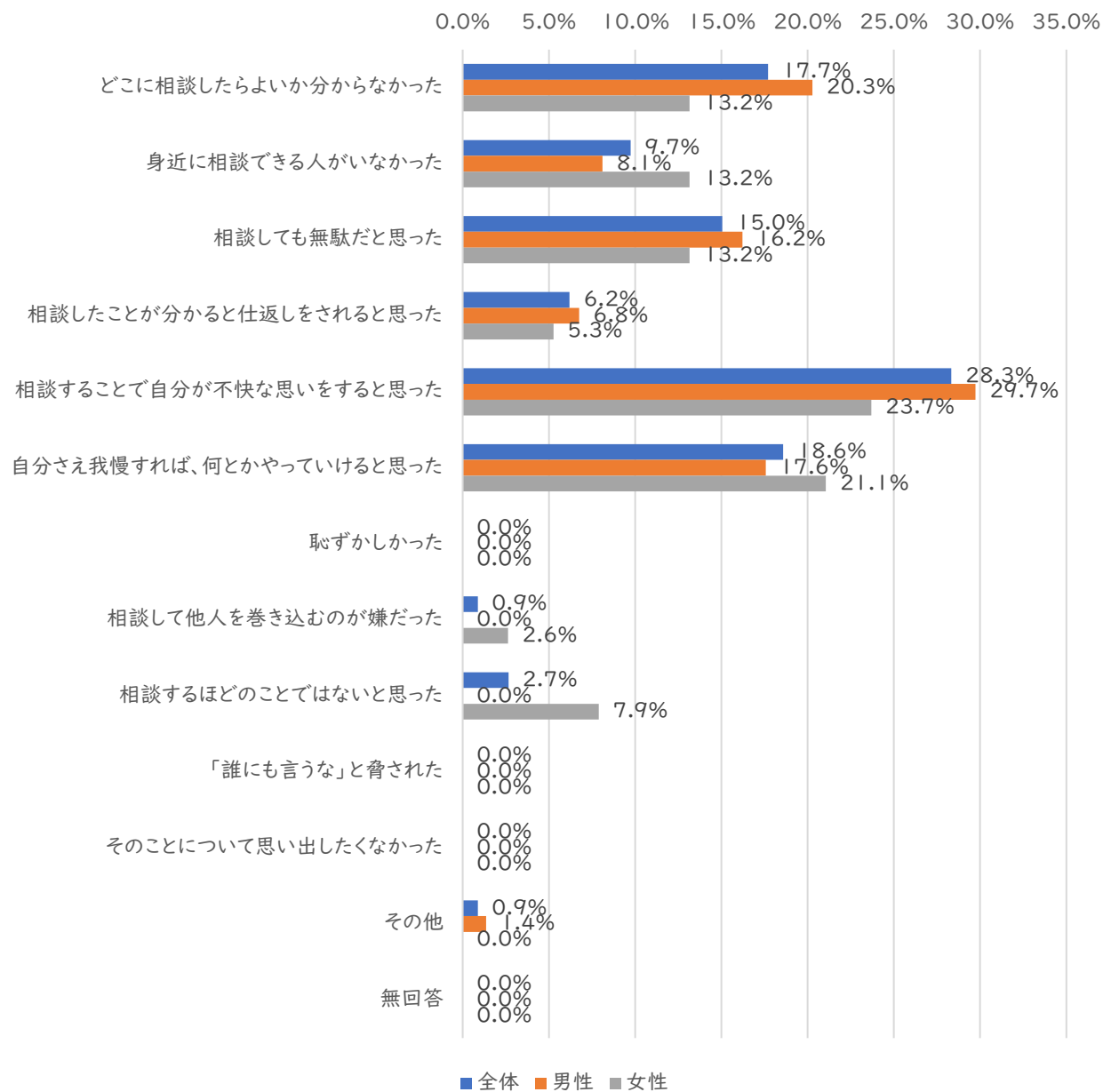
問3 | 問29のいずれかで「2 受けたことがある・相談しなかった」と回答した方に伺います。

相談していない理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

【回答結果：男女別】

男女ともに「相談することで自分が不快な思いをすと思った」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】

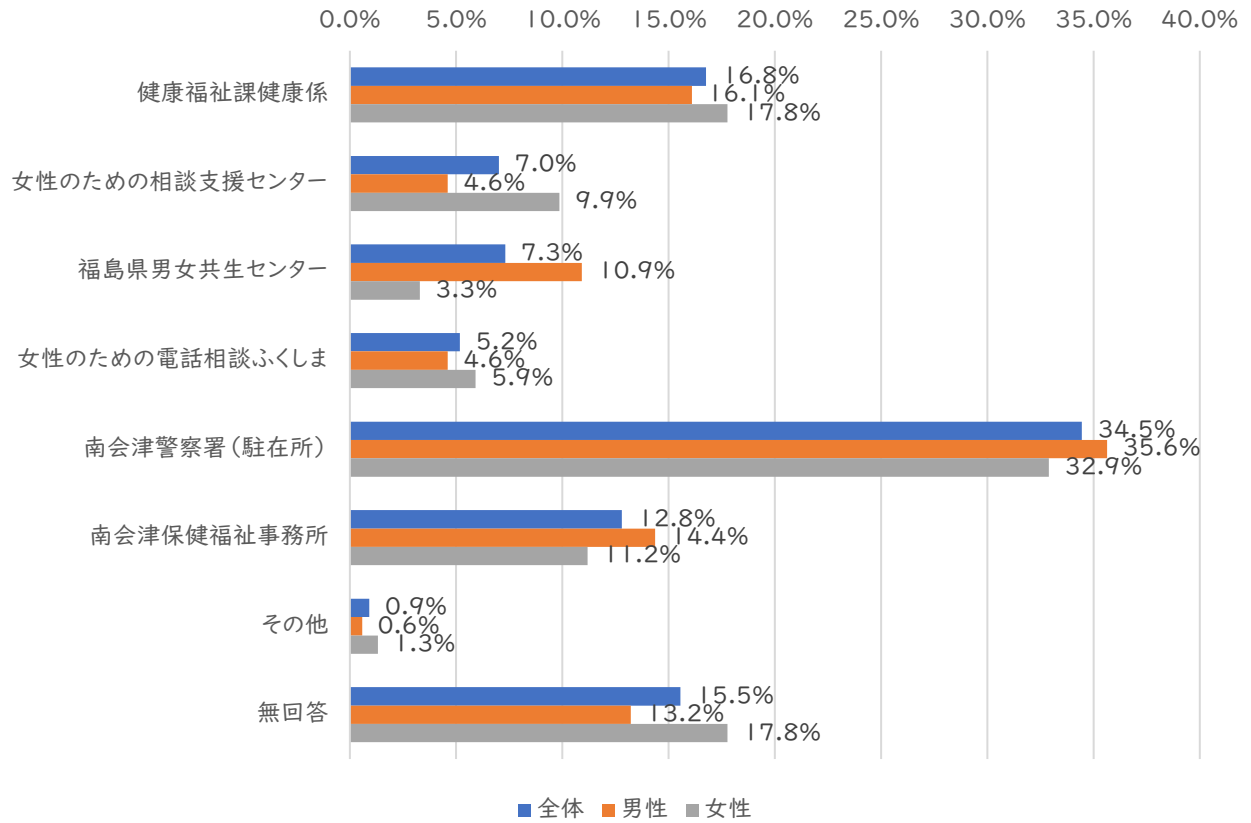


問32 以下は配偶者やパートナーから暴力を受けた場合に相談できる機関です。
知っている機関をお答えください。（該当するものすべてに○）

【回答結果：男女別】

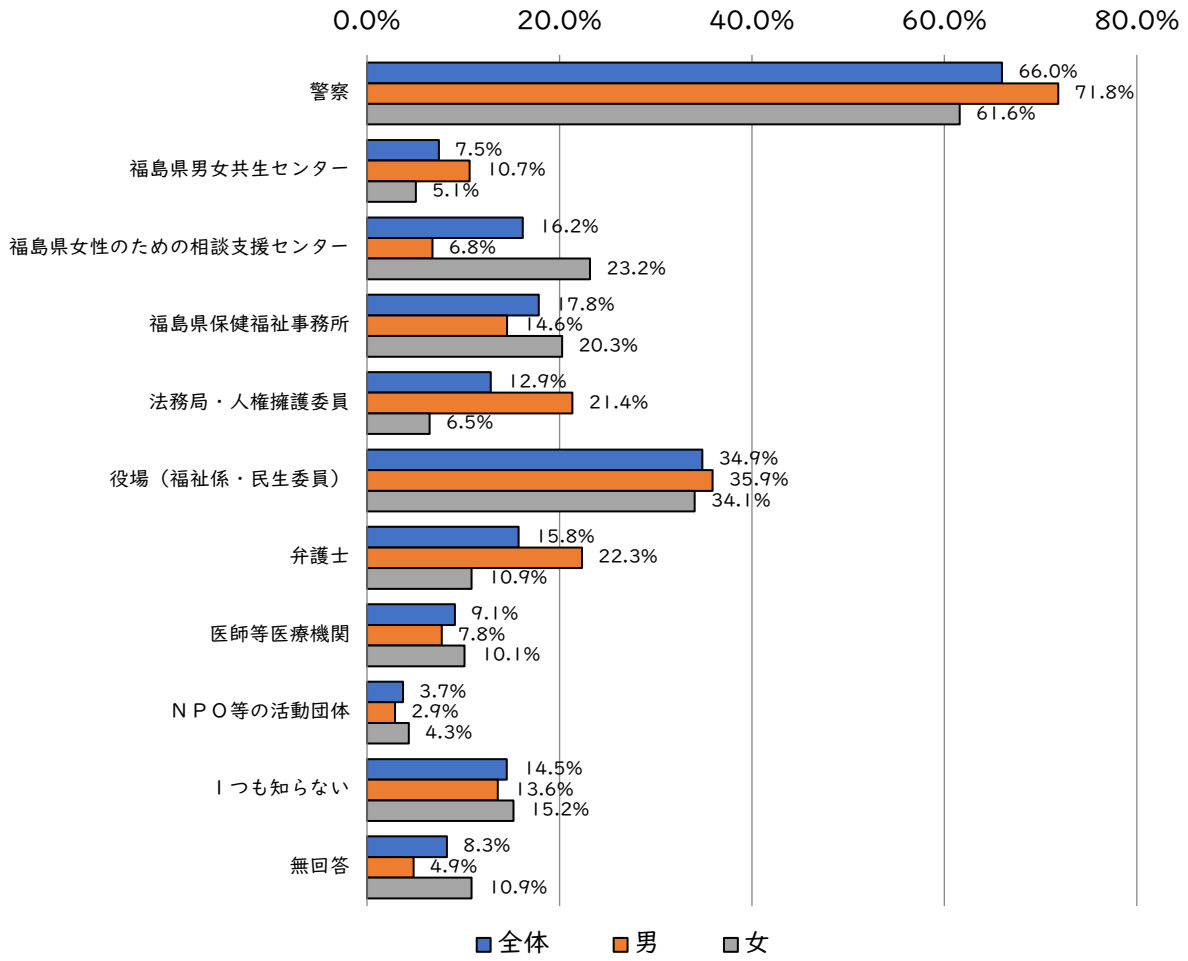
男女ともに「南会津警察署（駐在所）」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

相談窓口の認知度



(12) LGBTQIA等の性的マイノリティ(性的少数者)

問33 あなたは、次の言葉を知っていますか。(各項目1つに○)

1) LGBTQIA

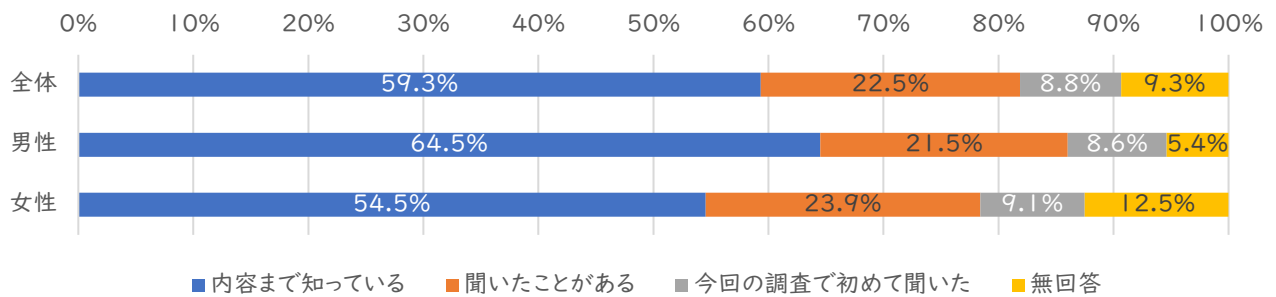
【回答結果：男女別】

男女ともに、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーは「内容まで知っている」が最も高くなっている。

クエスチョニング・インターセクシャル・バイセクシャルは、男性が「聞いたことがある」が最も高く、女性が「今回の調査で初めて聞いた」が最も高くなっている。

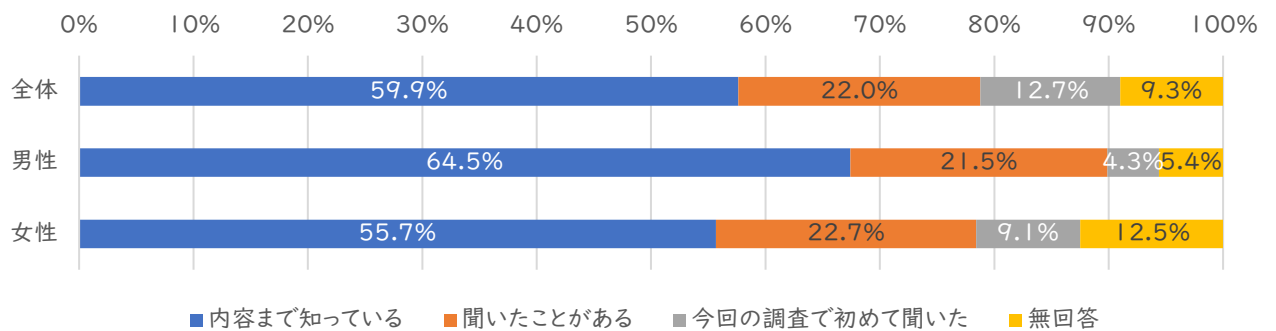
ア レズビアン

【全体集計：SA/N=182】



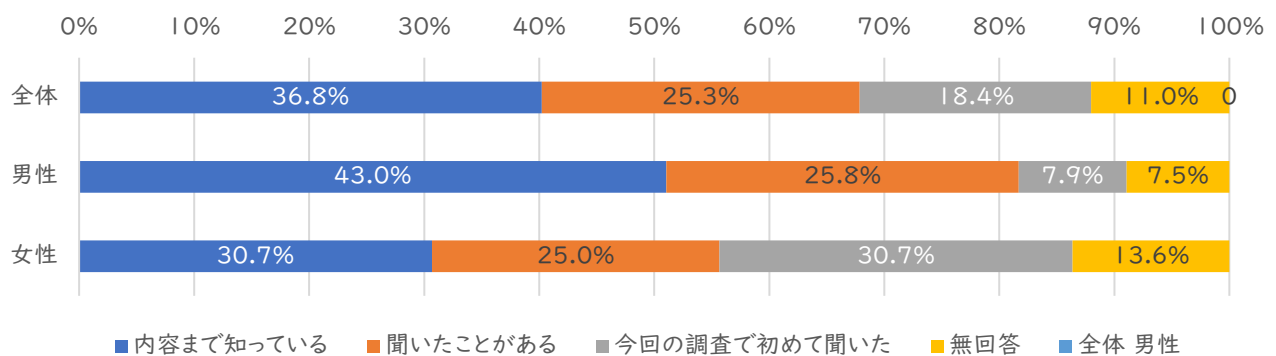
イ ゲイ

【全体集計：SA/N=182】

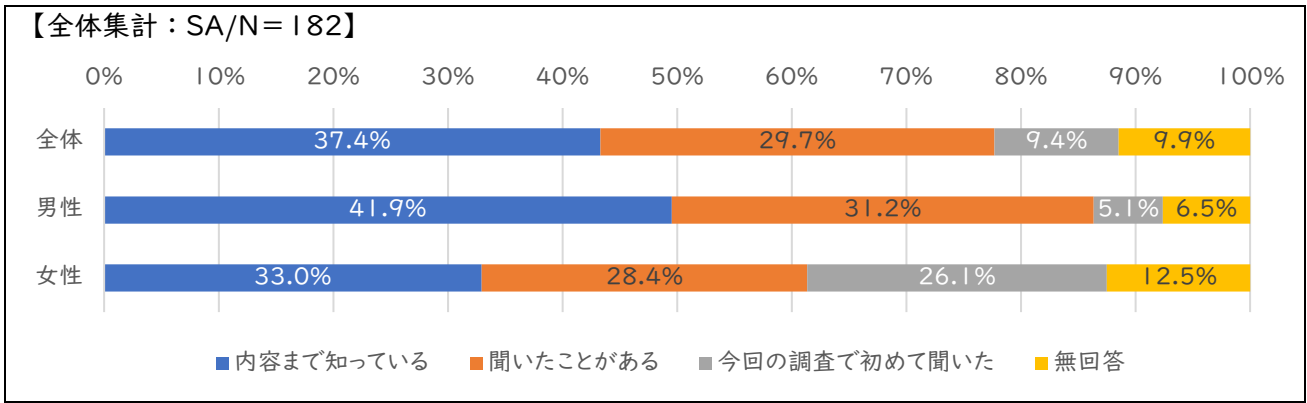


ウ バイセクシャル

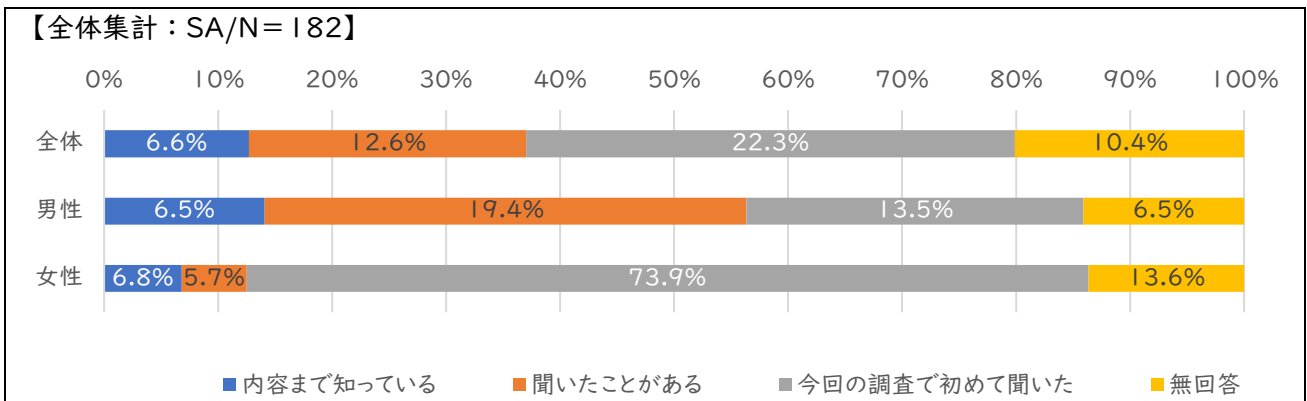
【全体集計：SA/N=182】



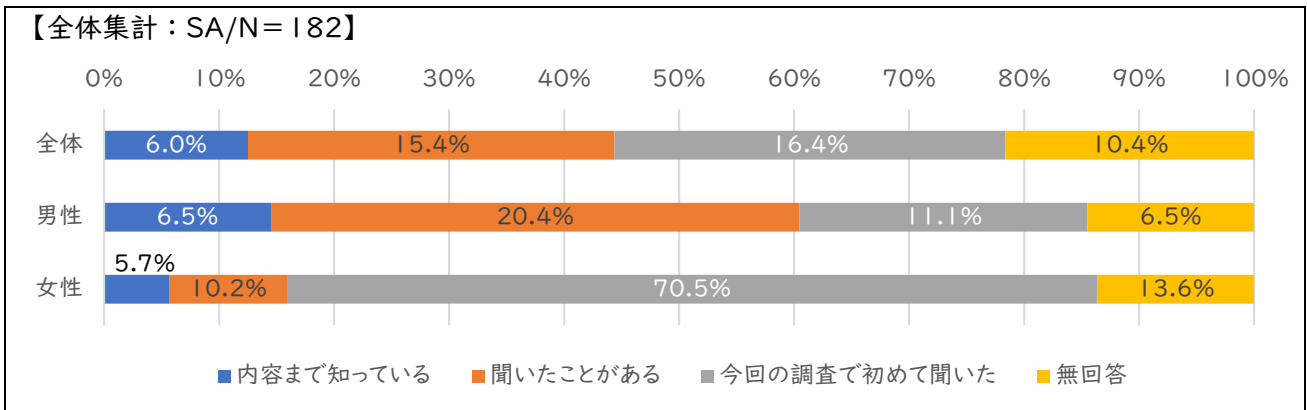
エ トランスジェンダー



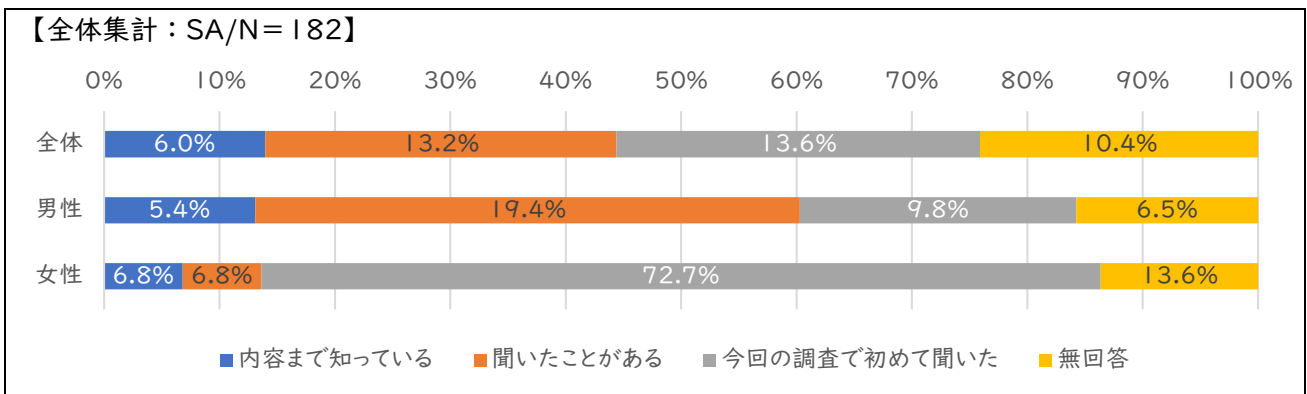
オ クェスチョニング



カ インターセクシャル



キ アセクシャル

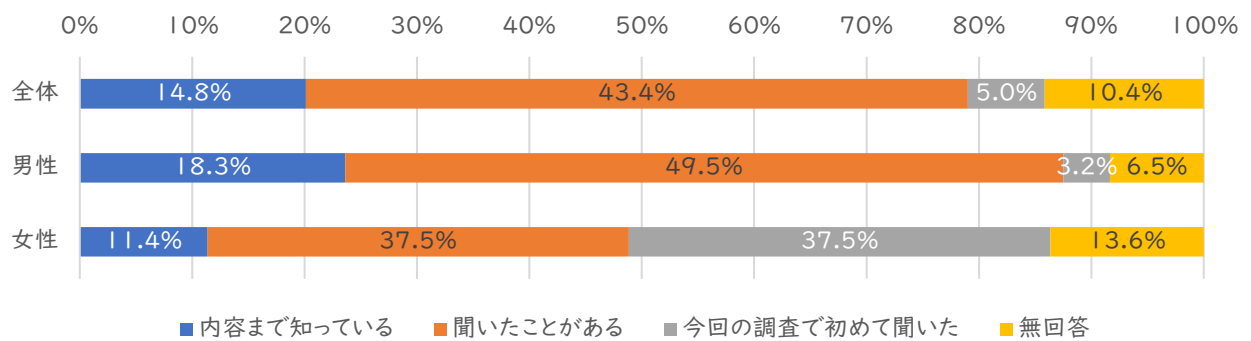


2) 性的マイノリティ

【回答結果】

男女ともに「聞いたことがある」が最も高く、女性は「今回の調査で初めて聞いた」も高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】

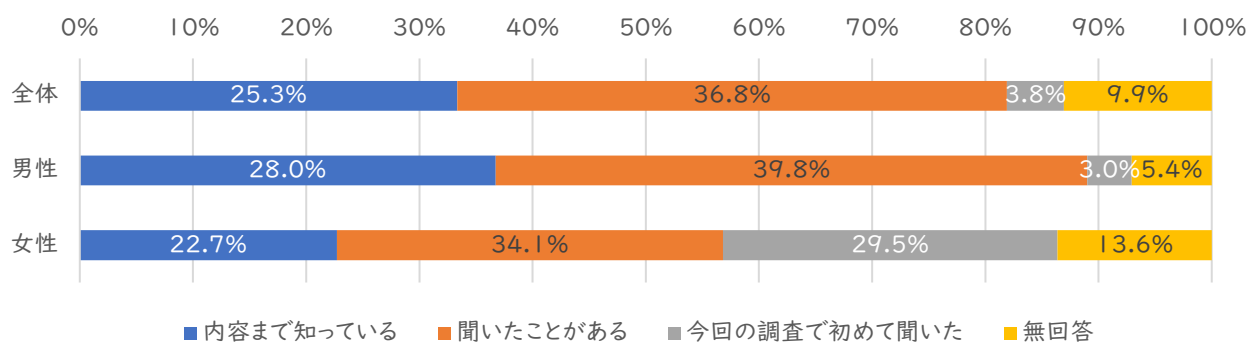


3) 社会的性別（ジェンダー）

【回答結果】

男女ともに「今回の調査で初めて聞いた」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=182】

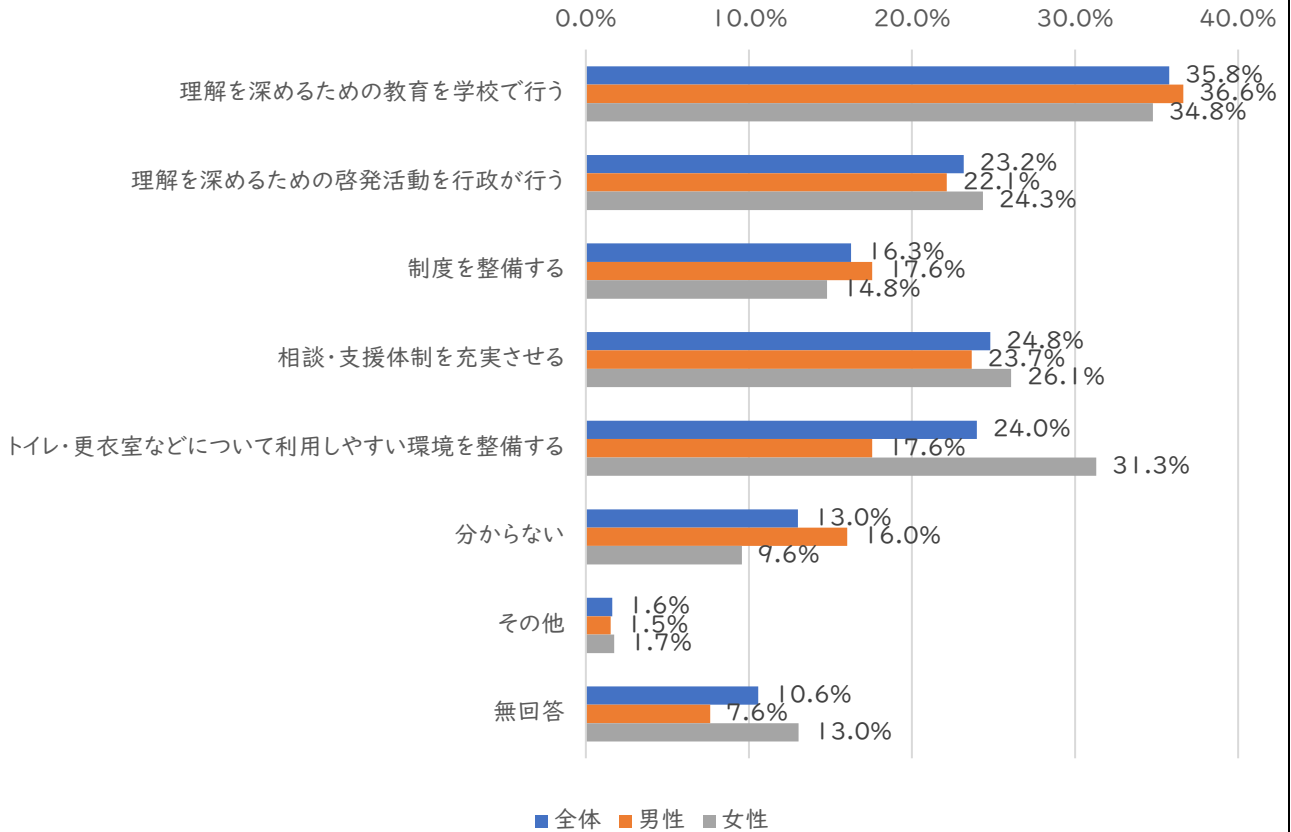


問34 あなたは、性的マイノリティの方が安心して過ごせるようになるには、どのような取組みが有効だと思いますか。（主なもの3つまで○）

【回答結果】

男女ともに「理解を深めるための教育を学校で行う」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=367】



(13) 男女共同参画

問35 男女共同参画に関する次の言葉について、どの程度知っていますか。(各項目1つに○)

【回答結果：男女別】

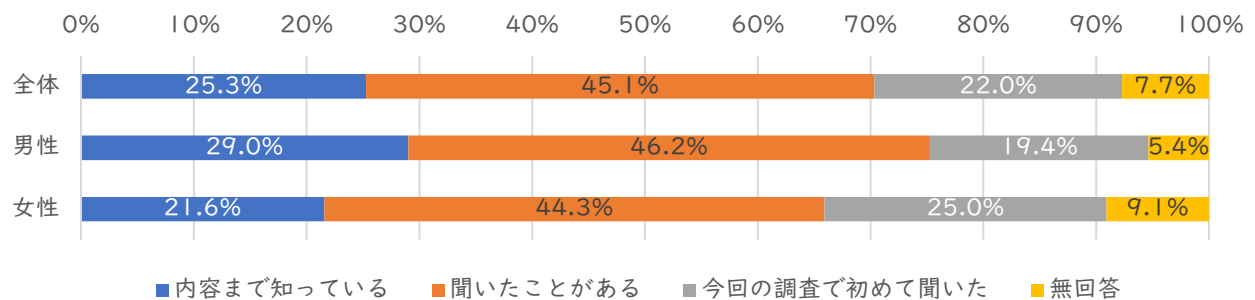
男女ともに、男女共同参画社会や法律については「聞いたことがある」が最も高くなっている。

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）は、男性が「聞いたことがある」が最も高く、女性が「今回の調査で初めて聞いた」が最も高くなっている。

エンパワーメント（力をつけること）・ダイバーシティ（多様性）・下郷町第2次男女共同参画プランは、男女ともに「今回の調査で初めて聞いた」が最も高くなっている。

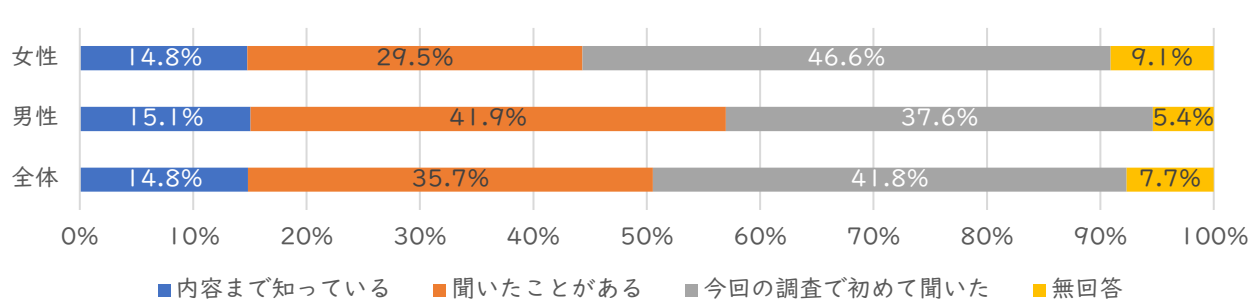
1) 男女共同参画社会

【全体集計：SA/N=182】



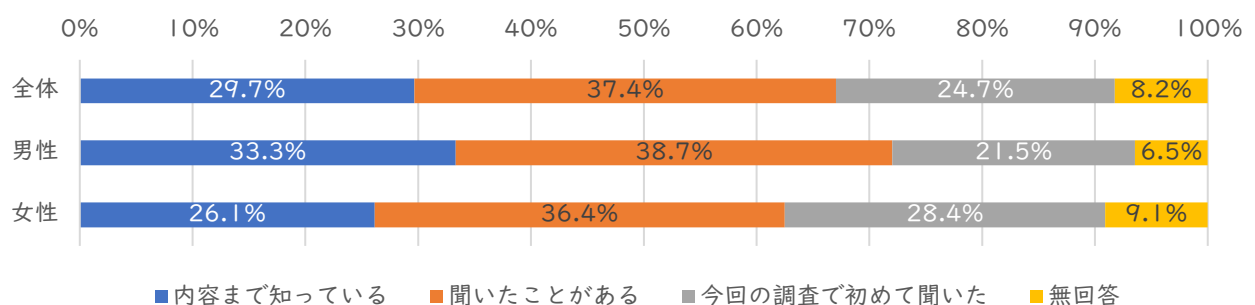
2) 男女共同参画社会基本法

【全体集計：SA/N=182】



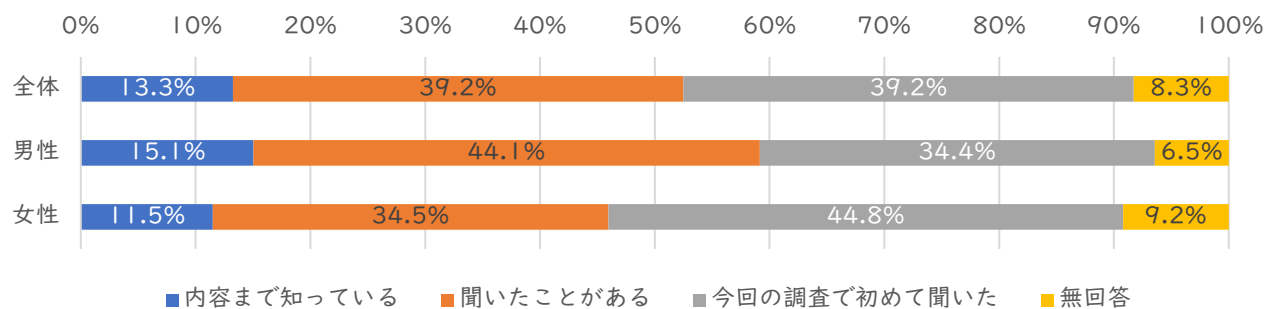
3) 男女雇用機会均等法

【全体集計：SA/N=182】



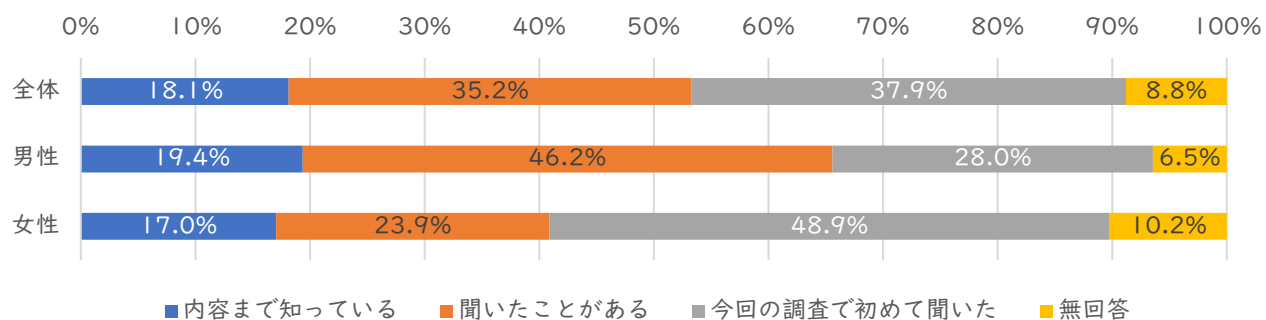
4) 女性活躍推進法

【全体集計：SA/N=182】



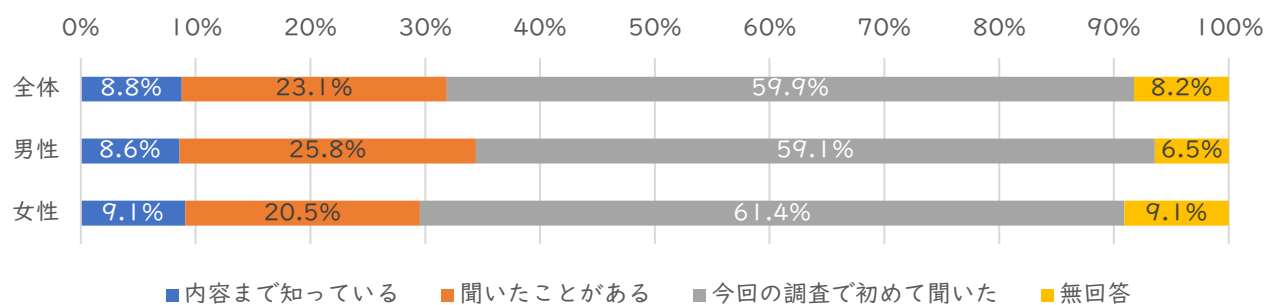
5) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

【全体集計：SA/N=182】



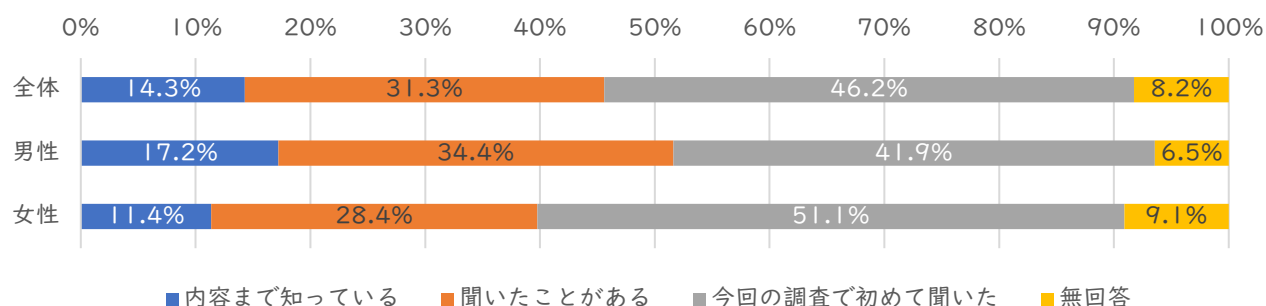
6) エンパワーメント（力をつけること）

【全体集計：SA/N=182】



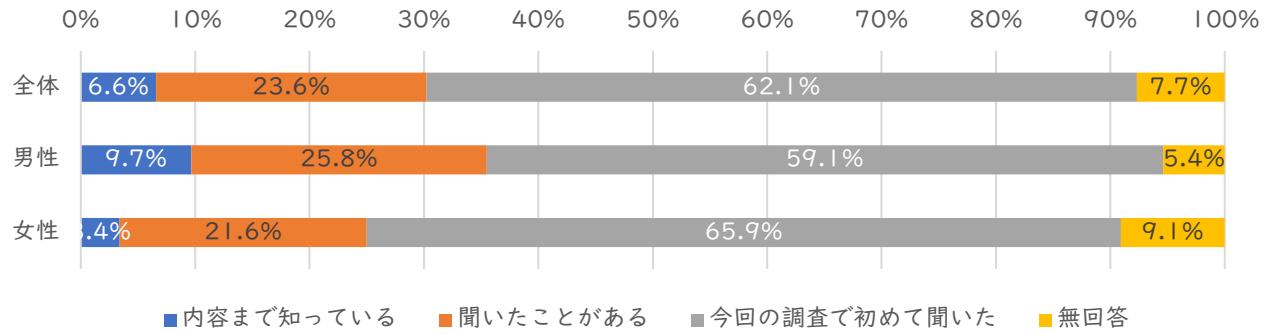
7) ダイバーシティ（多様性）

【全体集計：SA/N=182】

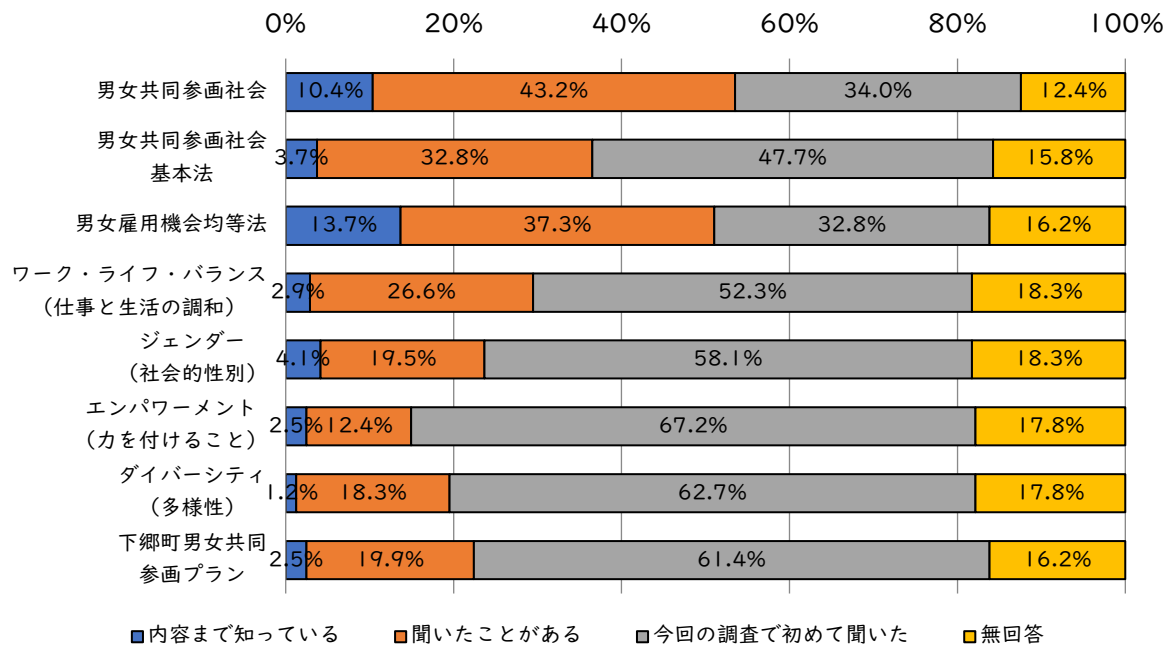


8) 下郷町第2次男女共同参画プラン

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

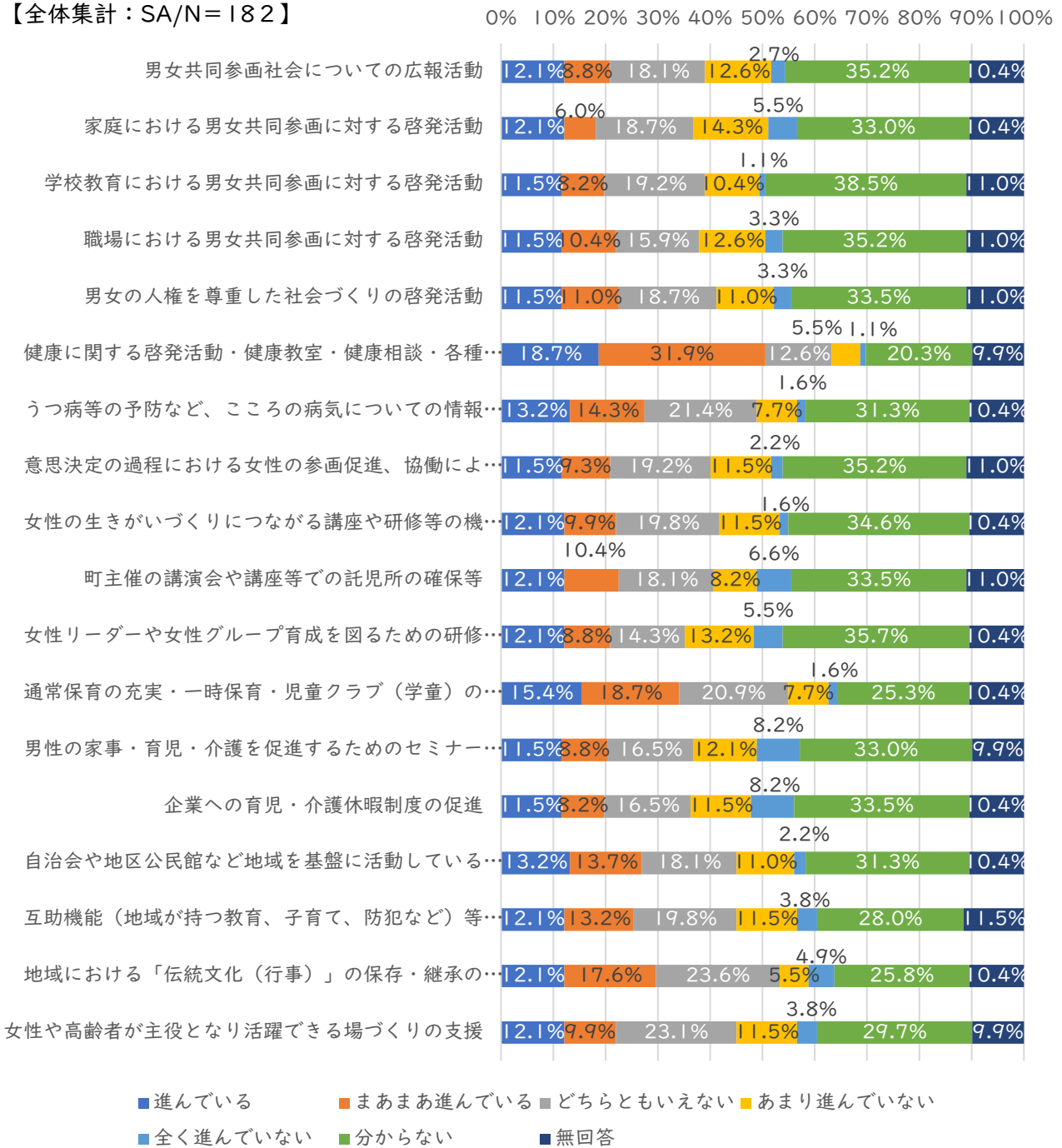


問36 下郷町の男女共同参画の施策はどの程度進んでいると思いますか。（各項目1つに○）

【回答結果】

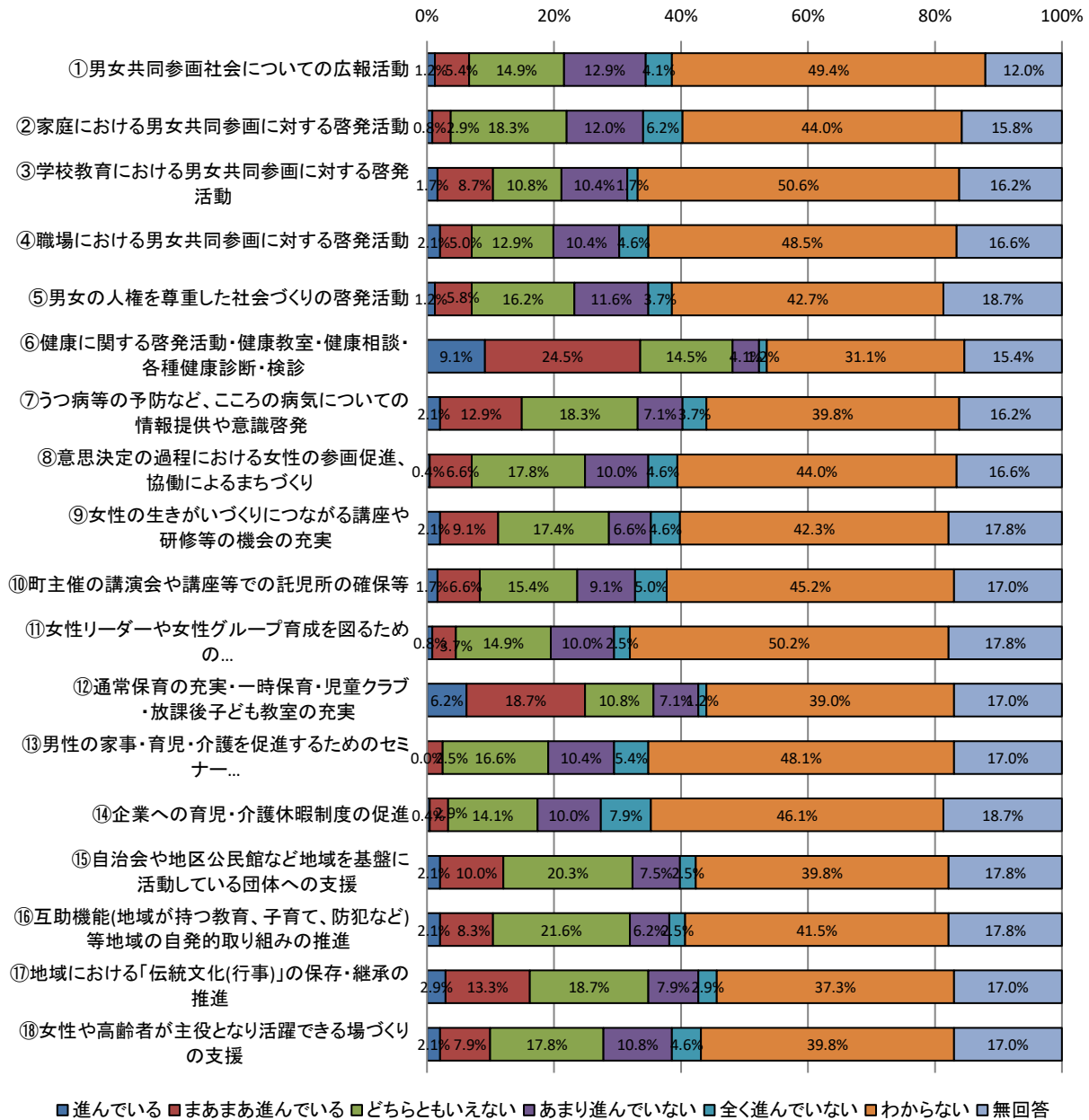
どの項目も「分からない」が最も高くなっている。健康・保育に関わるものは「まあまあ進んでいる」が次いで多くなっている。

【全体集計：SA/N=182】



【前回調査】

町の男女共同参画の施策の進捗度

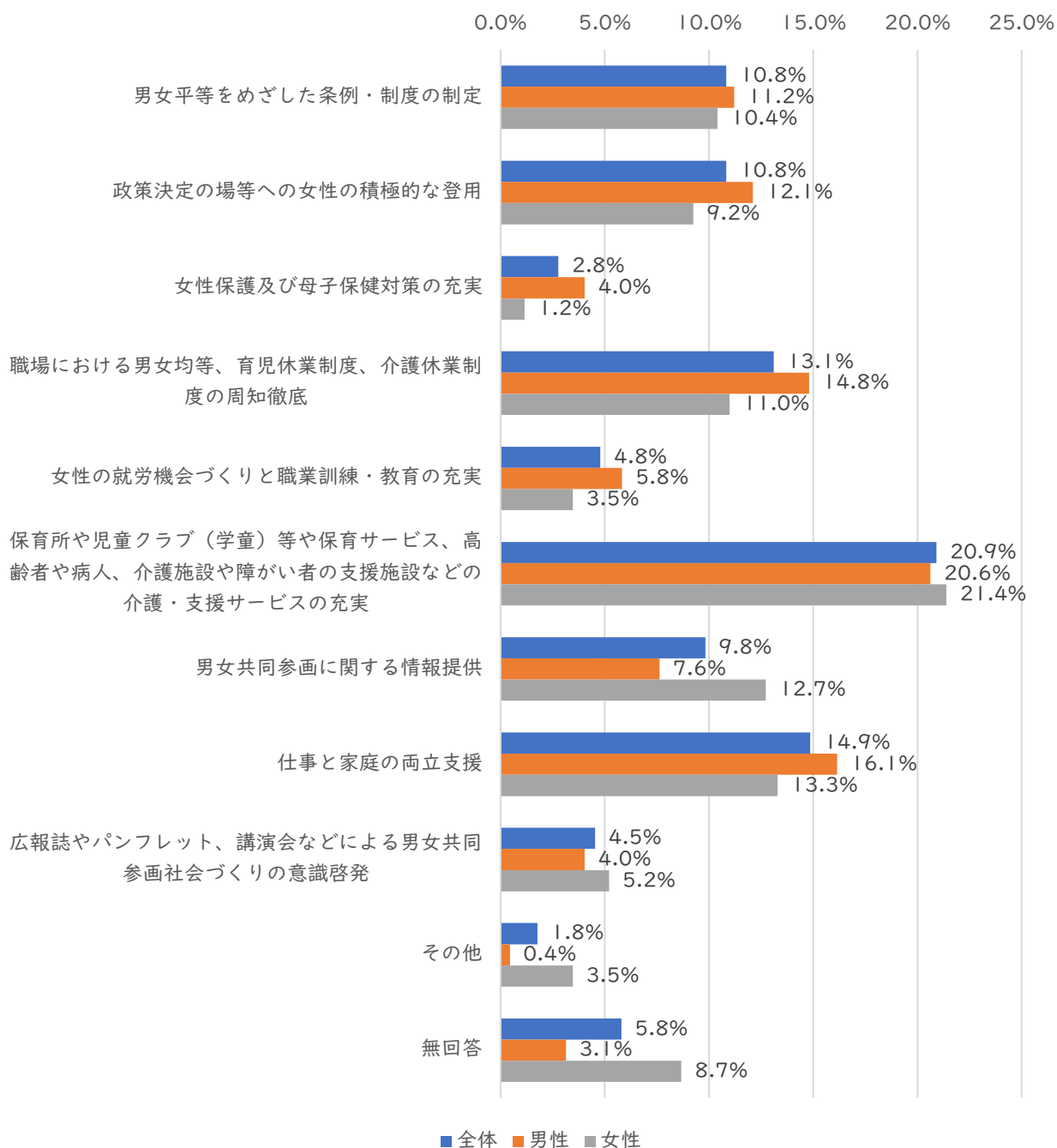


問37 男女共同参画社会づくりに向けて、下郷町の施策に取り入れてほしいことはどんなことですか。（主なもの3つまで○）

【回答結果】

男女ともに「保育所や児童クラブ（学童）等や保育サービス、高齢者や病人、介護施設や障がい者の支援施設などの介護・支援サービスの充実」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=397】

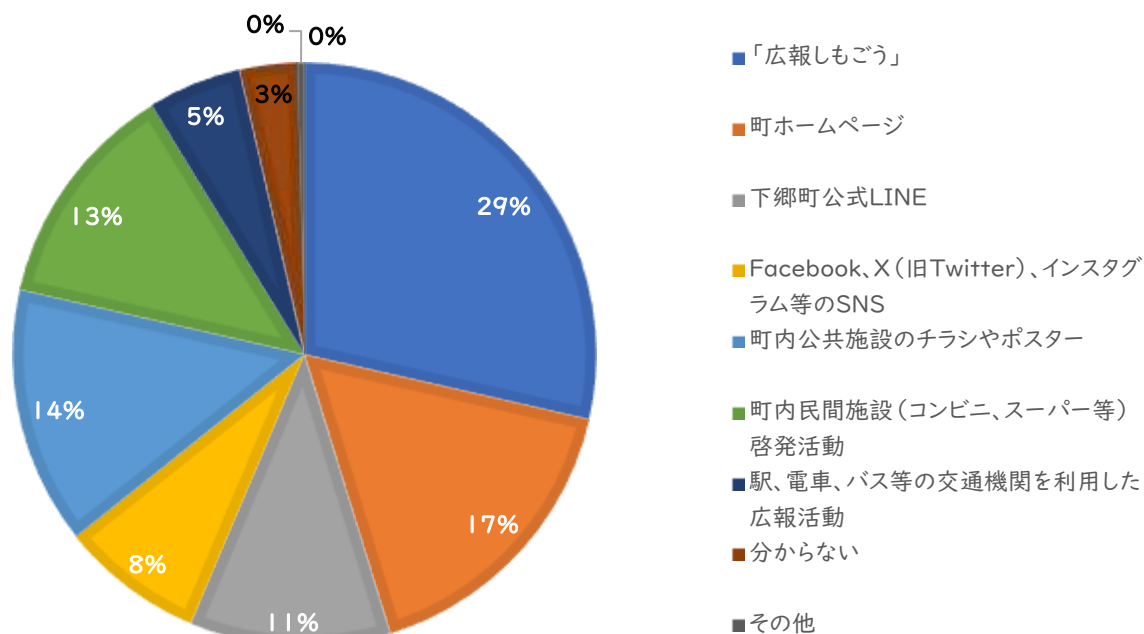


問38 下郷町における男女共同参画施策の推進のための取組みを広く周知するため、どのような手段が有効だと思いますか。（該当するものすべてに○）

【回答結果】

「広報しもごう」が最も高くなっている。
次いで、町ホームページが高くなっている。

【全体集計：MA/N=252】



◇ 男女共同参画についてのご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

2. 企業向けアンケート

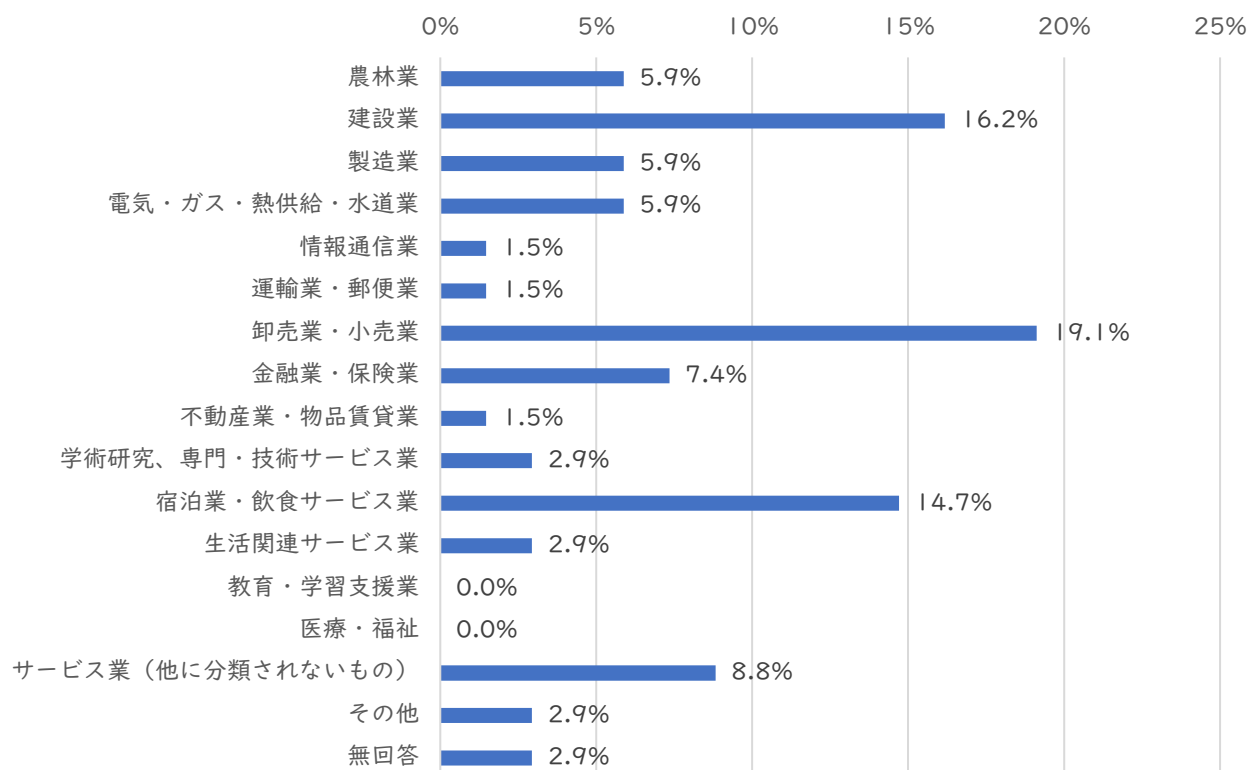
(1) 回答属性

問1 貴社の主な職種をお答えください。(1つだけに○)

【回答結果】

「卸売業・小売業」が最も高く、次いで建設業が高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

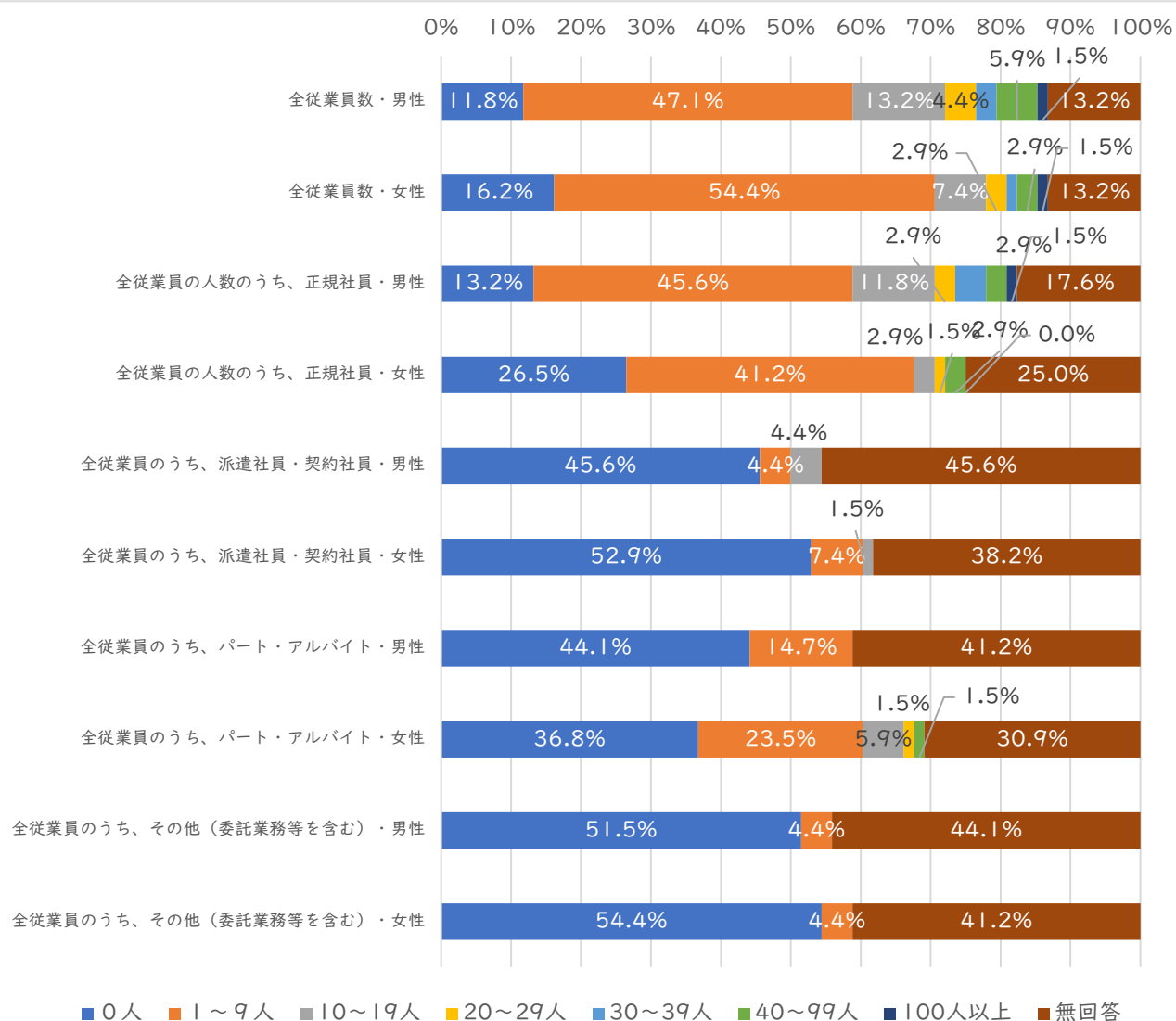


問2 貴社（該当する支社・支所）の従業員数をお答えください。（各項目1つに○）

【回答結果】

男女別の従業員数等は以下のとおりです。

【全体集計：SA/N=68】

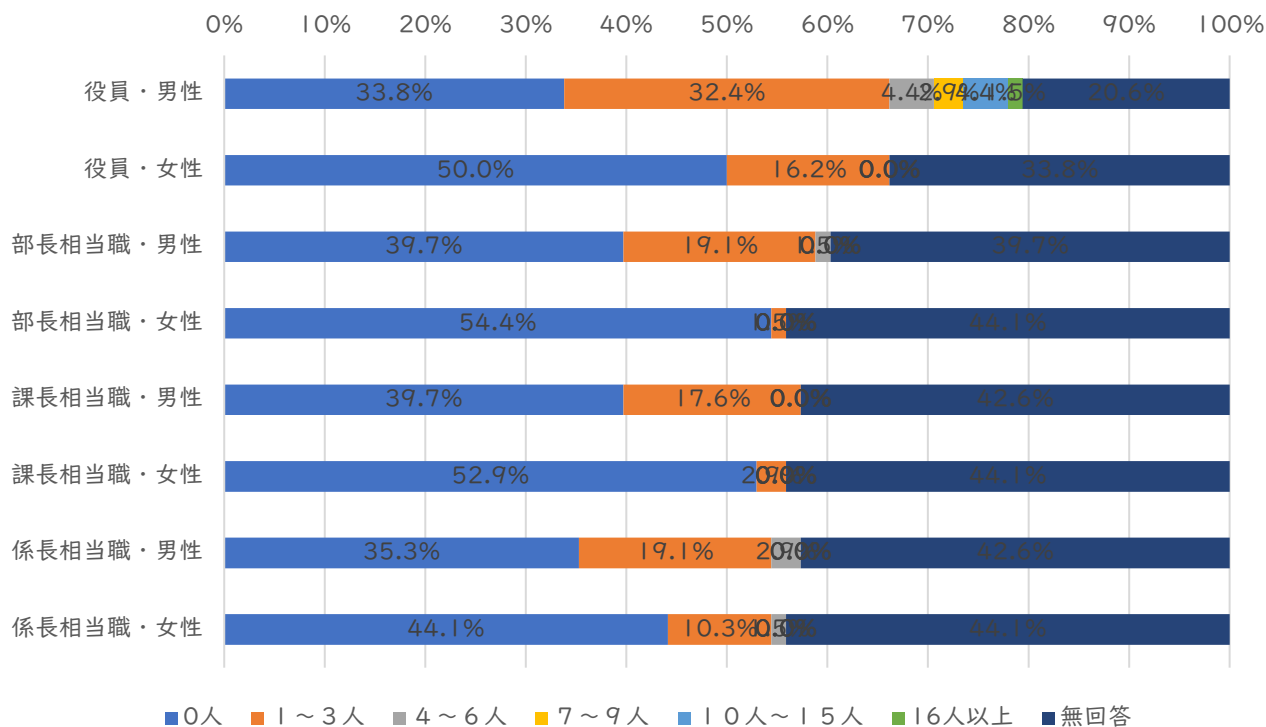


問3 貴社（該当する支社・支所）の役員人数を教えてください。（各項目1つに○）

【回答結果】

男女別の役員人数は以下のとおりです。

【全体集計：SA/N=68】

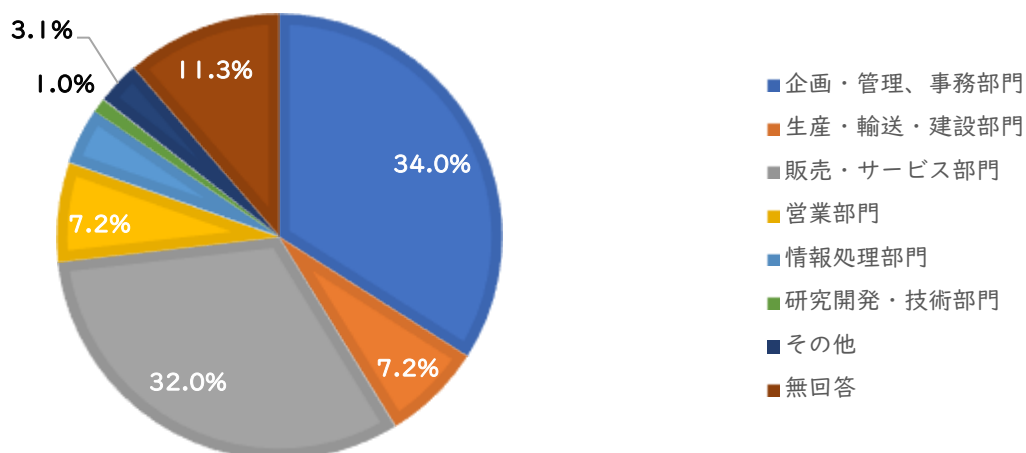


問4 女性従業員が働いている部門をお答えください。（該当するものすべてに○）

【回答結果】

「企画・管理、事務部門」が最も高く、次いで「販売・サービス部門」が高くなっている。

【全体集計：MA/N=97】



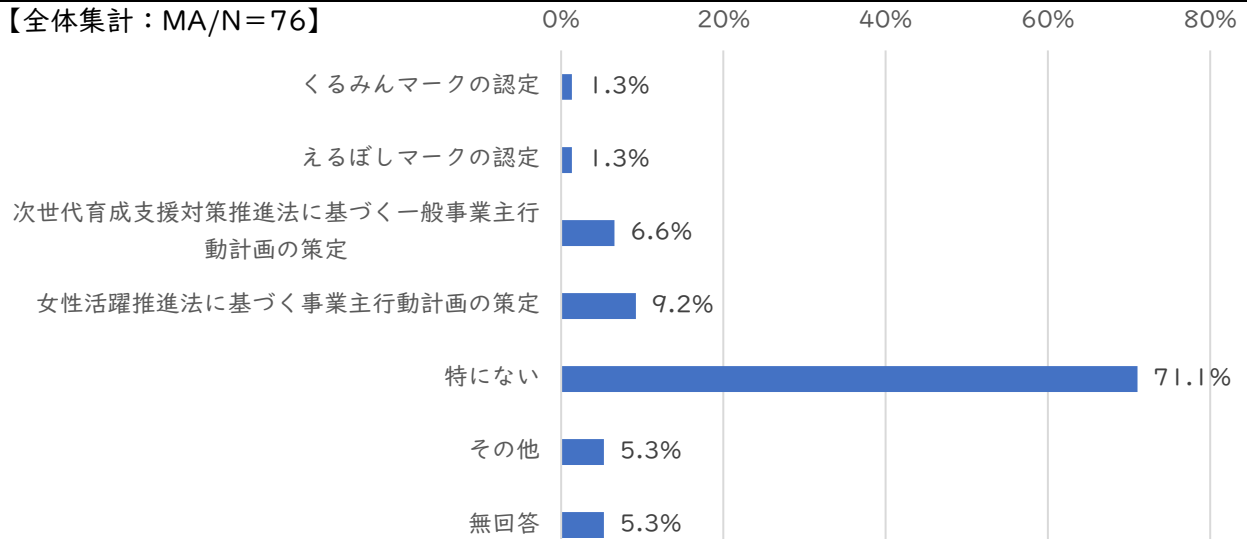
(2) ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組について

問5 ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組についてどのような取組を行っていますか。
(該当するものすべてに○)

【回答結果】

「特にない」が最も高く、次いで「女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定」が高くなっている。

【全体集計：MA/N=76】

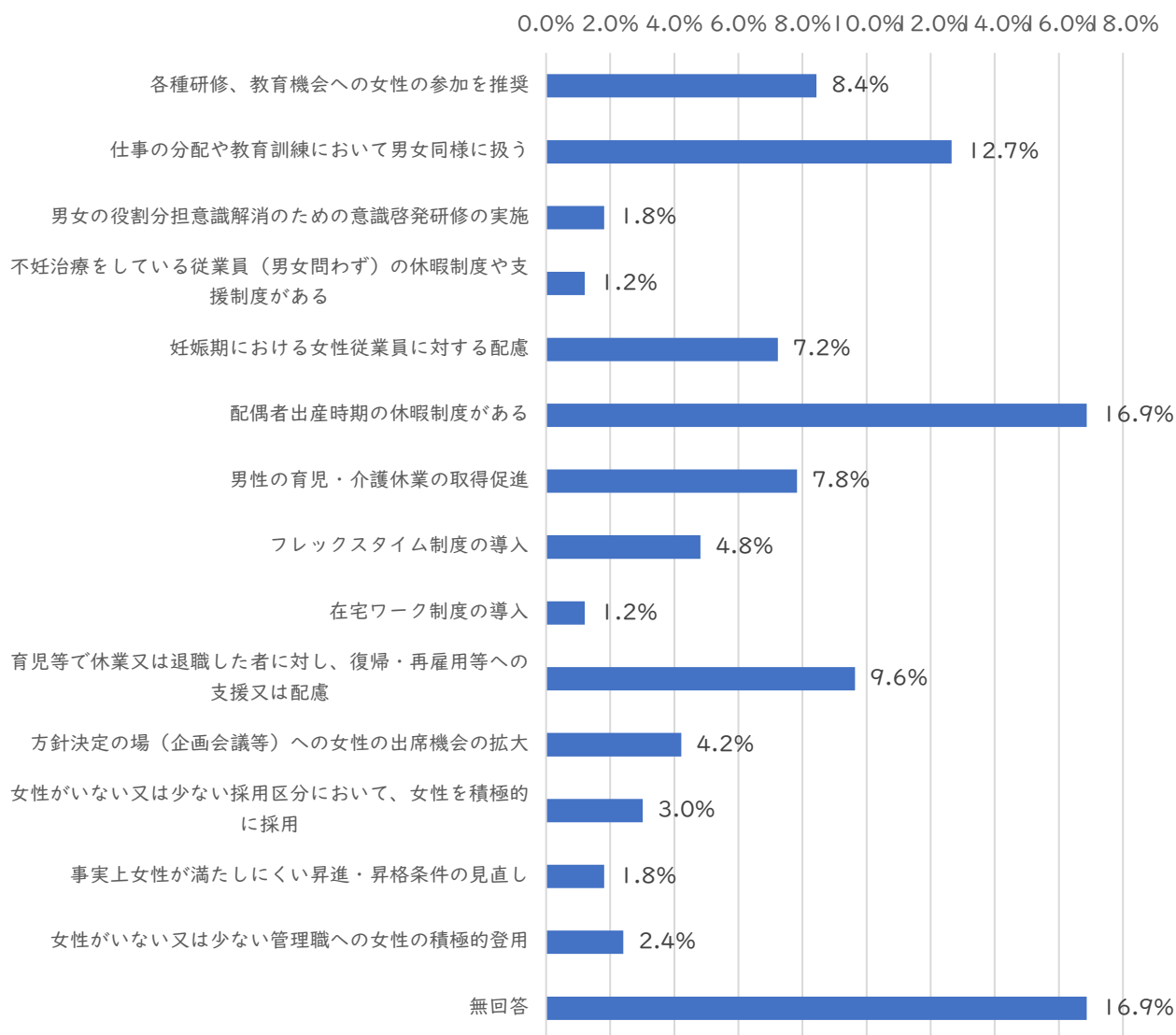


問6 あなたの事業所では、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の能力を活用するにあたってどのような取組を行っていますか。（該当するものすべてに○）

【回答結果】

「配偶者出産時期の休暇制度がある」が最も高く、次いで「仕事の分配や教育訓練において男女同様に扱う」が高くなっている。

【全体集計：MA/N=166】



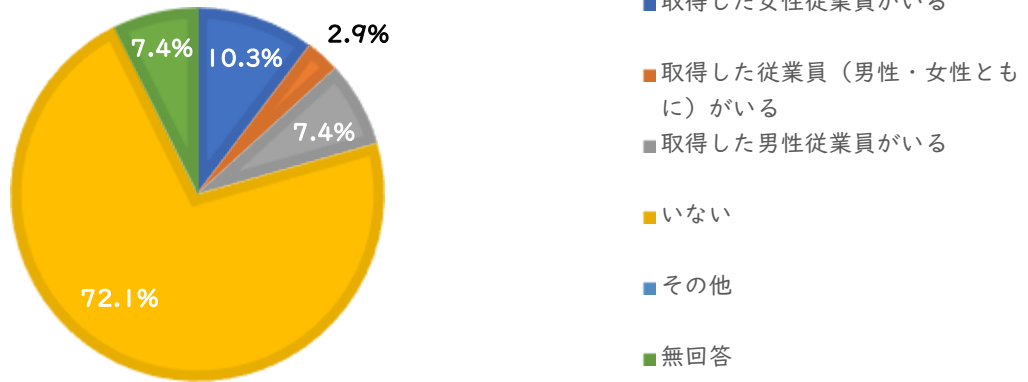
(3) 育児や介護に関する制度について

問7 貴社では、過去5年間で育児休業制度を利用した従業員はいましたか。
(該当するもの1つに○)

【回答結果】

「いない」が最も高く、次いで「取得した女性従業員がいる」が高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

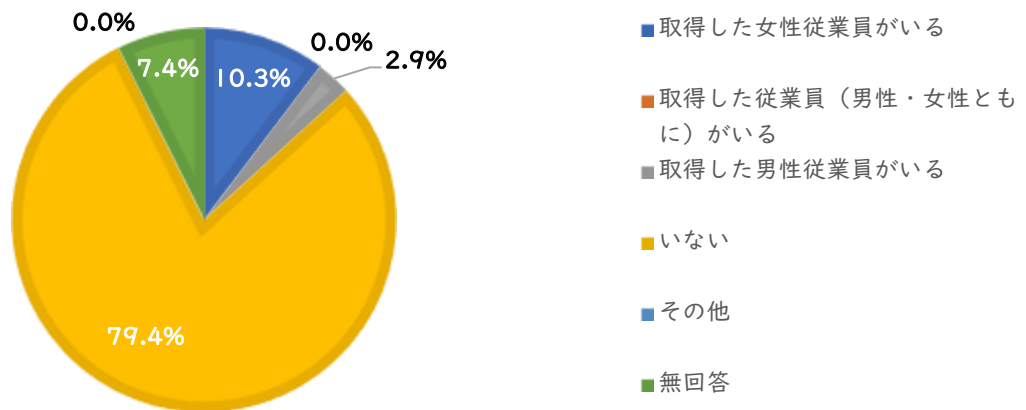


問8 貴社では、過去5年間で介護休業制度を利用した従業員はいましたか。
(該当するもの1つに○)

【回答結果】

「いない」が最も高く、次いで「取得した女性従業員がいる。」が高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

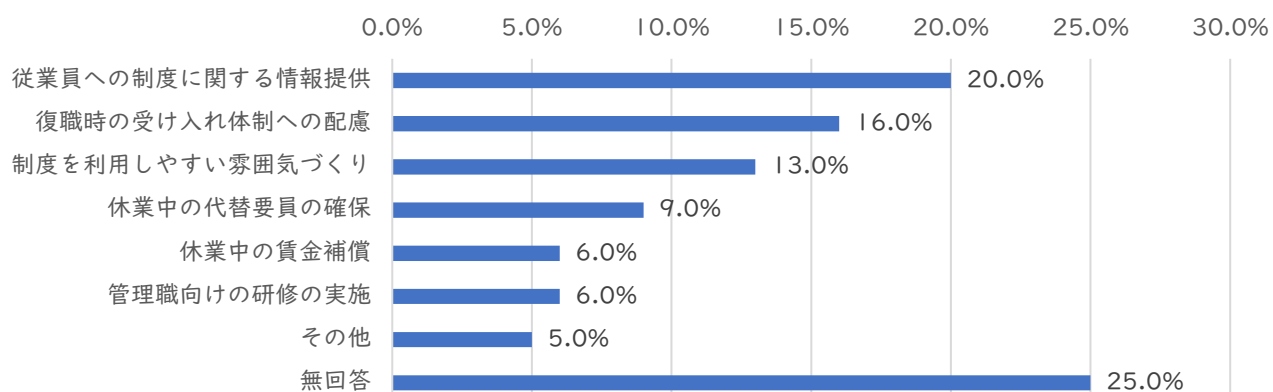


問9 貴社で育児・介護休業制度を定着させるために行っていることは何ですか。
(該当するものすべてに○)

【回答結果】

「従業員への制度に関する情報提供」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=100】

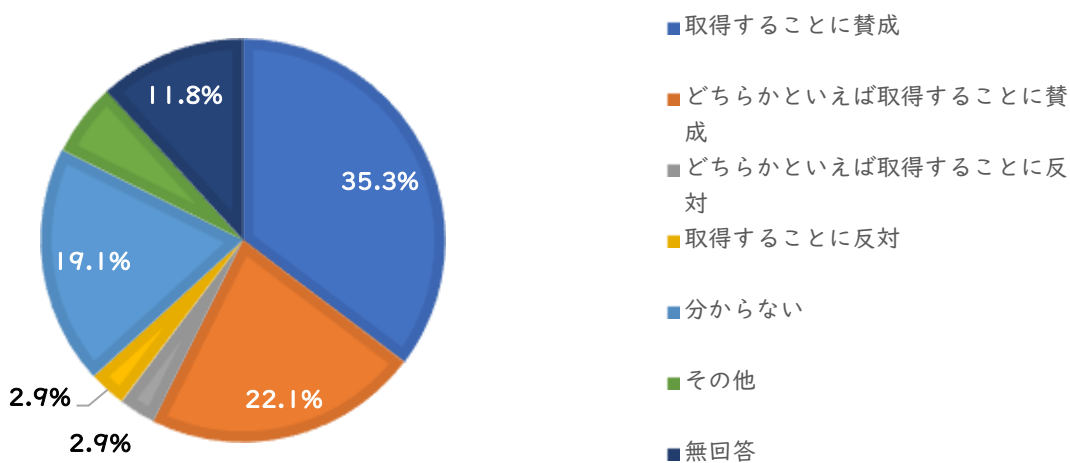


問10 男性が育児休業や介護休業を取得することについての貴社の考えに最も近いものはどれですか。(1つだけに○)

【回答結果】

「取得することに賛成」が最も高い。

【全体集計：SA/N=68】

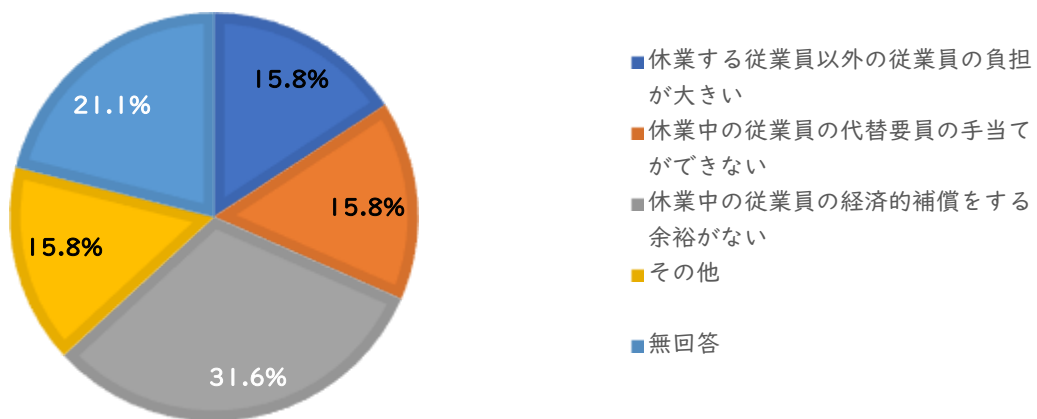


問11 問10で3又は4と答えた企業に伺います。
男性が育児休業や介護休業等を取得することに反対の理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

【回答結果】

「休業中の従業員の経済的補償をする余裕がない」が最も高い。

【全体集計：MA/N=69】



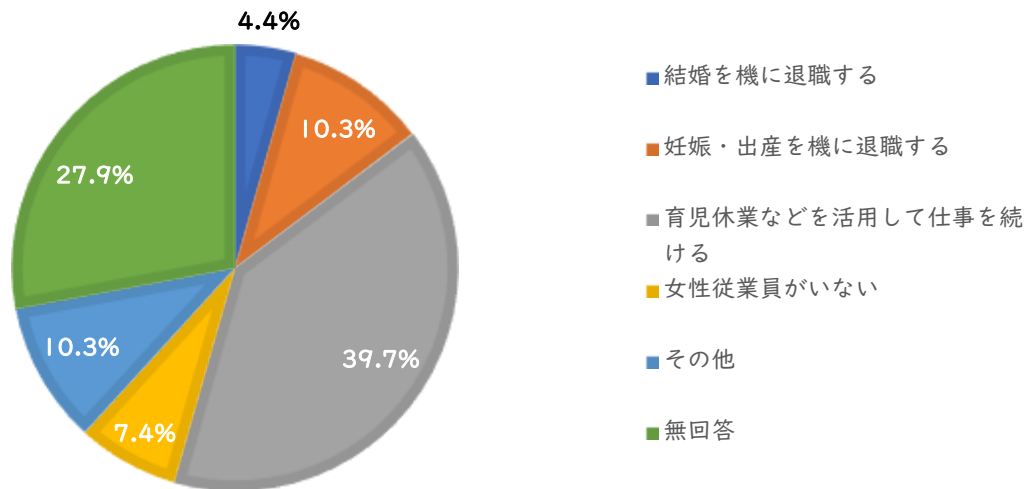
(4) 企業における女性活躍について

問12 貴社の女性従業員の働き方として、どのような形が多いですか。(1つだけに○)

【回答結果】

「育児休業などを活用して仕事を続ける」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

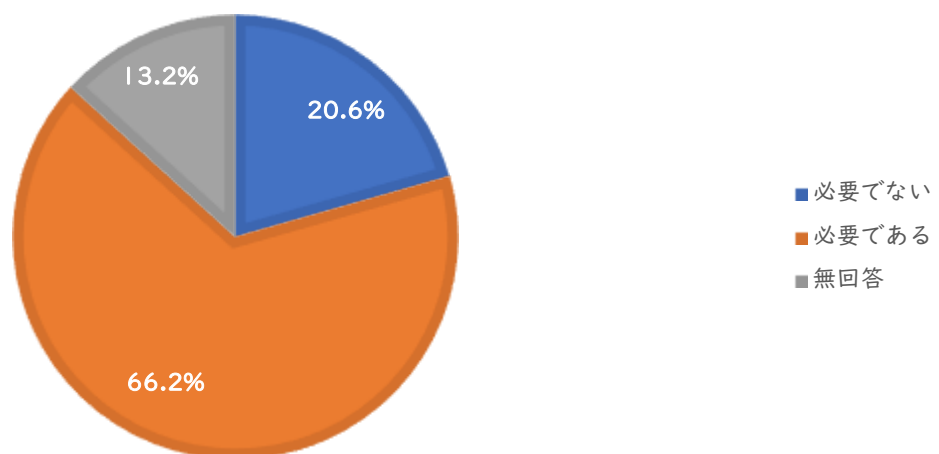


問13 貴社において、女性が今よりも多様な職域において活躍することや働き続けることは必要と感じますか。(1つだけに○)

【回答結果】

「必要である」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

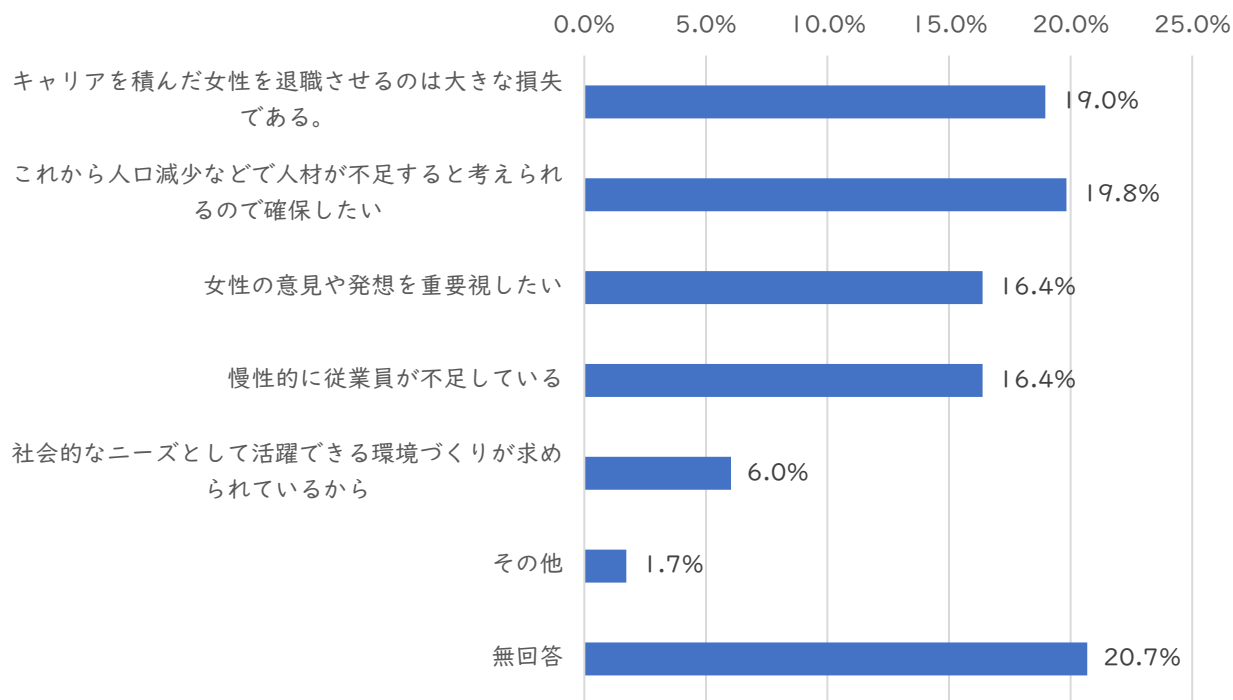


問14 問13で「2 必要である」と回答した企業にお伺いします。
必要とする理由は次のうちどれですか。（該当するものすべてに○）

【回答結果】

「これから人口減少などで人材不足と考えられるので確保したい」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=116】

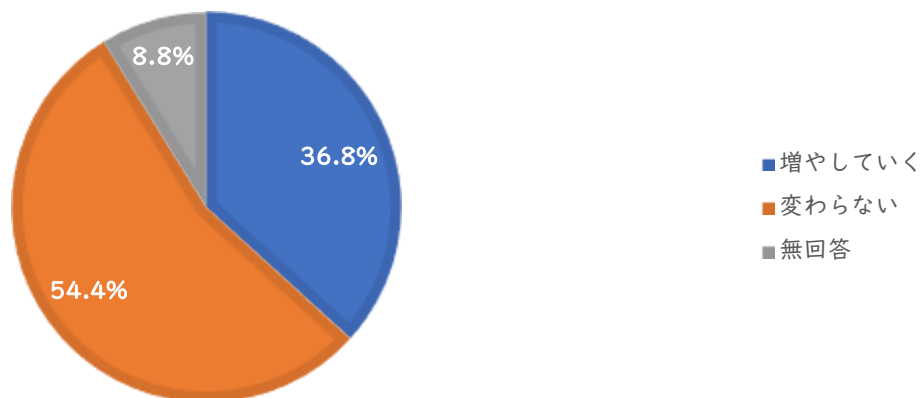


問15 女性従業員の数現在と比べて増やしていく考えはありますか。（1つだけに○）

【回答結果】

「変わらない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

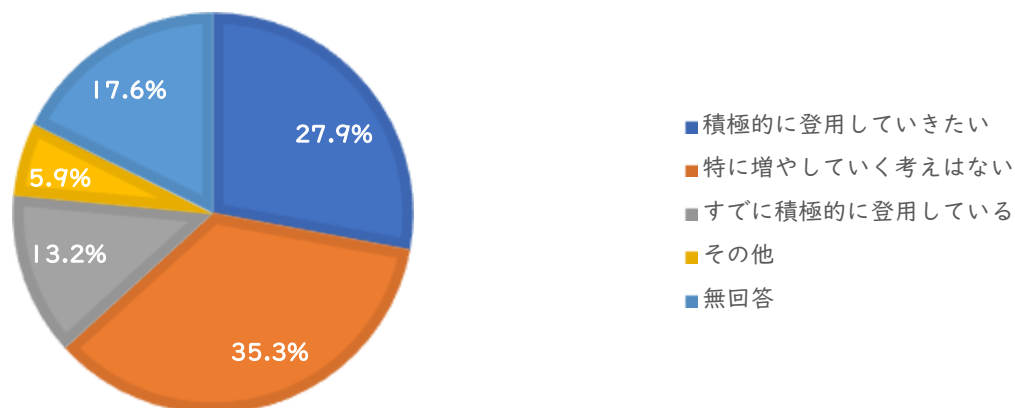


問16 今後管理職の登用にあって、女性を積極的に登用しようと考えていますか。
 (1つだけに○)

【回答結果】

「特に増やしていく考えはない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

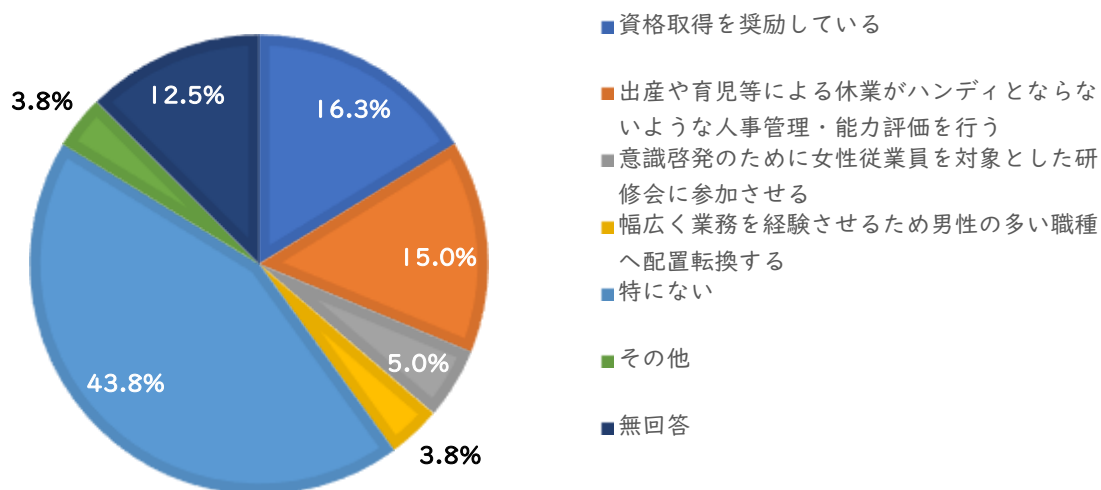


問17 女性の管理職の登用を促進するために取り組んでいることはありますか。
 (該当するものすべてに○)

【回答結果】

「特にない」が最も高く、次いで「資格取得を奨励している」が高くなっている。

【全体集計：MA/N=80】

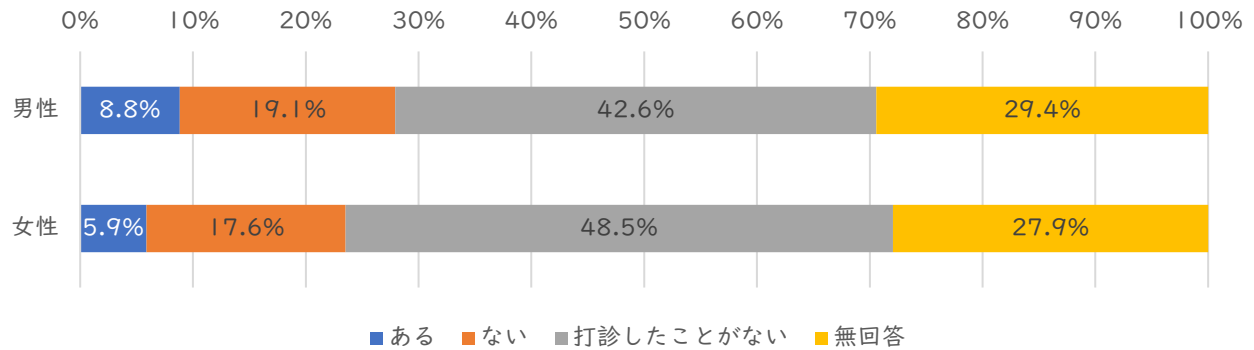


問18 管理職の登用にあたり、従業員に打診し断られたことがありますか。（各項目1つに○）

【回答結果】

男女ともに「打診したことがない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】

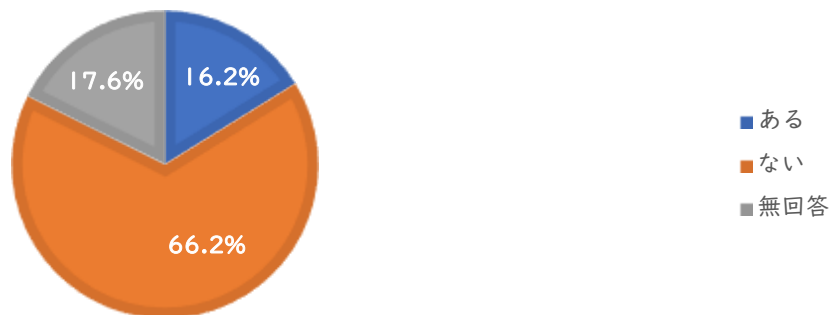


問19 今まで女性が少なかった職務に女性を配置したことがありますか。（1つだけに○）

【回答結果】

「ない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】



(5) ハラスメント対策等について

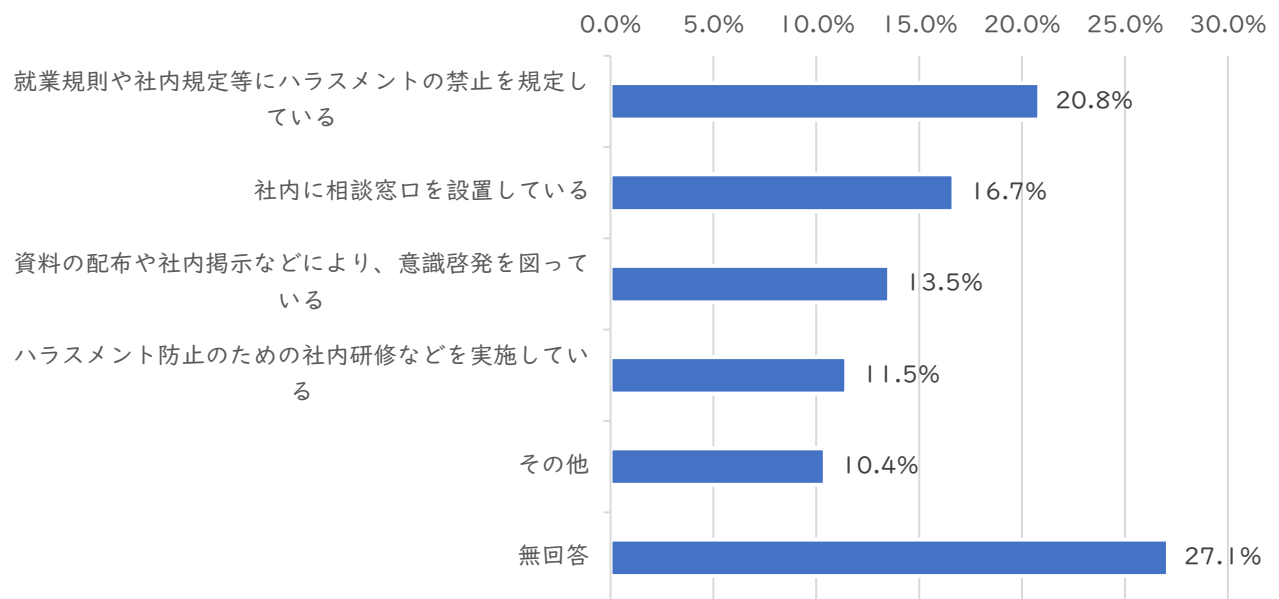
問20 セクシャル・ハラスメントなどのハラスメント対策として実施しているものはありますか。

(該当するものすべてに○)

【回答結果】

「就業規則や社内規定等にハラスメントの禁止を規定している」が、最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=68】

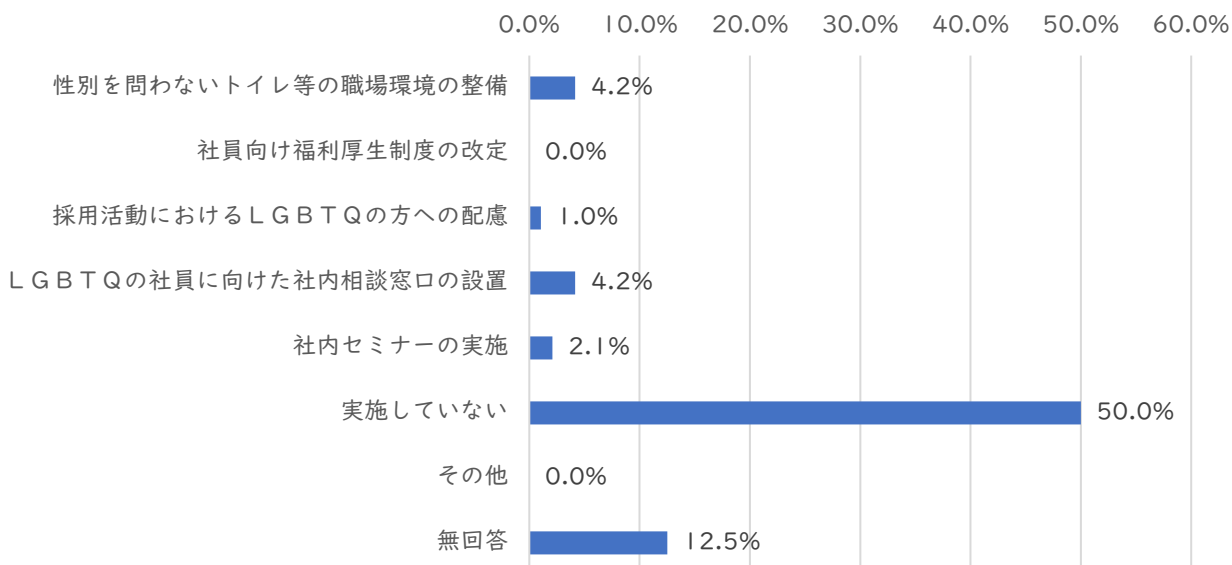


問21 LGBTQの方へ配慮として実施しているものはありますか。(該当するものすべてに○)

【回答結果】

「実施していない」が最も高く、半数となっている。

【全体集計：MA/N=71】

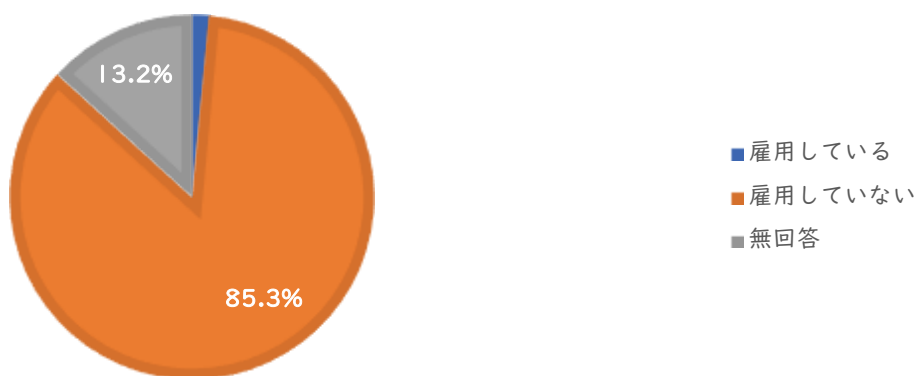


問22 貴社は外国人を雇用していますか。(1つだけに○)

【回答結果】

「雇用していない」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】



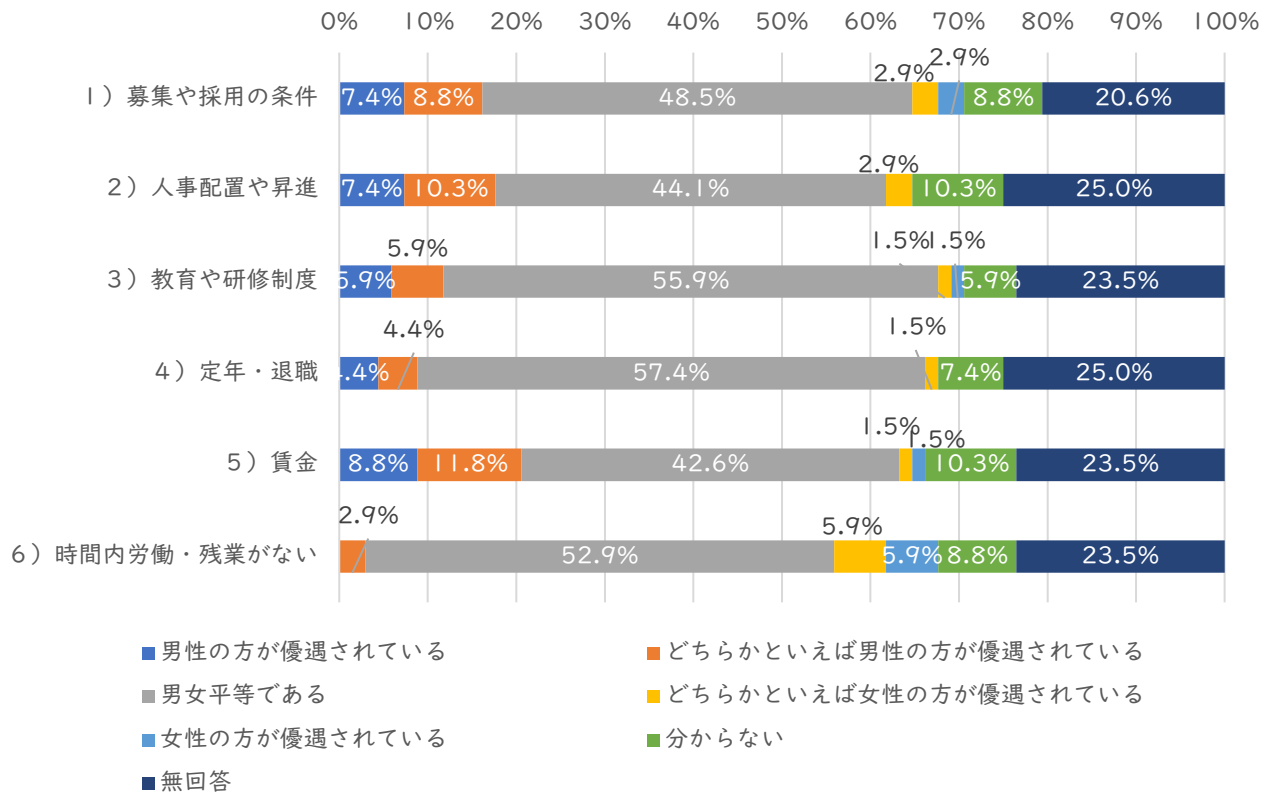
(6) 男女共同参画全般について

問23 貴社では、次の項目の男女別の状況はどの程度だと思われますか。(各項目1つに○)

【回答結果】

どの項目も「男女平等である」が最も高くなっている。

【全体集計：SA/N=68】



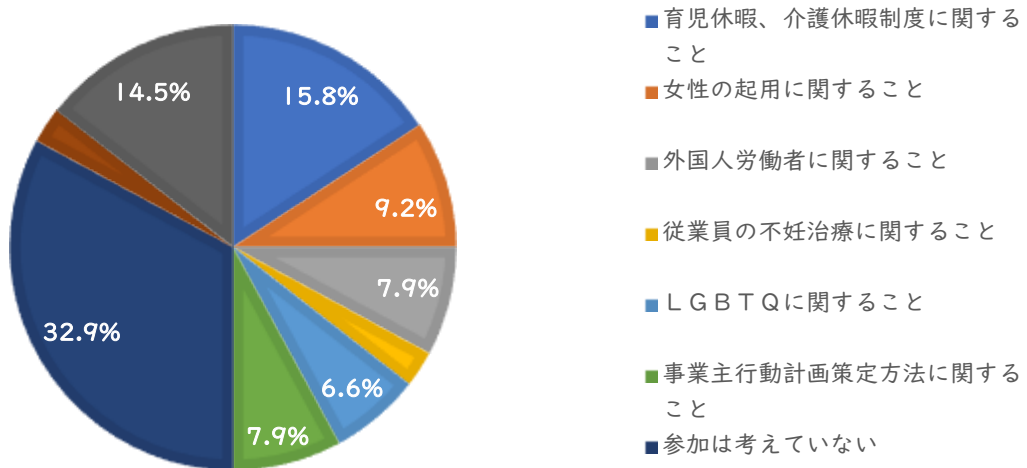
(7) 男女共同参画に関する取組の導入について

問24 今後、企業向けの男女共同参画に関する研修会があった場合、どのような内容の研修会があると良いと思いますか。(該当するものすべてに○)

【回答結果】

「参加は考えていない」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=68】



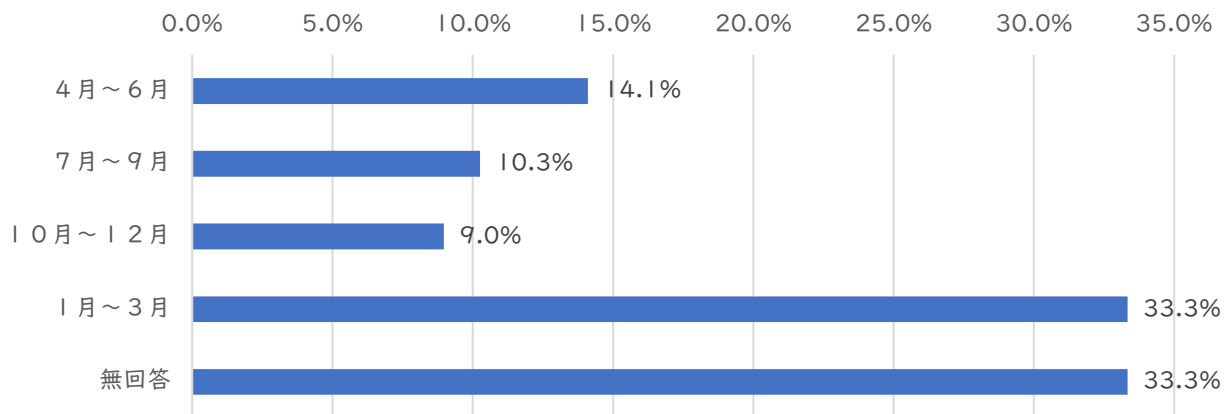
問25 研修会の時期や曜日・時間帯

1) 時期 (該当するものすべてに○)

【回答結果】

「1～3月」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=98】

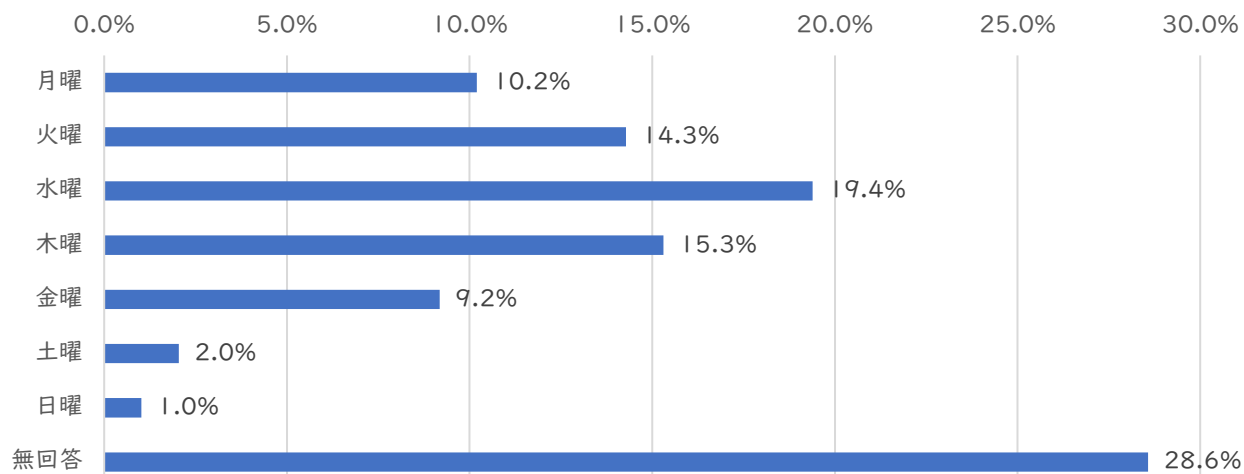


2) 曜日 (該当するものすべてに○)

【回答結果】

「水曜」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=126】

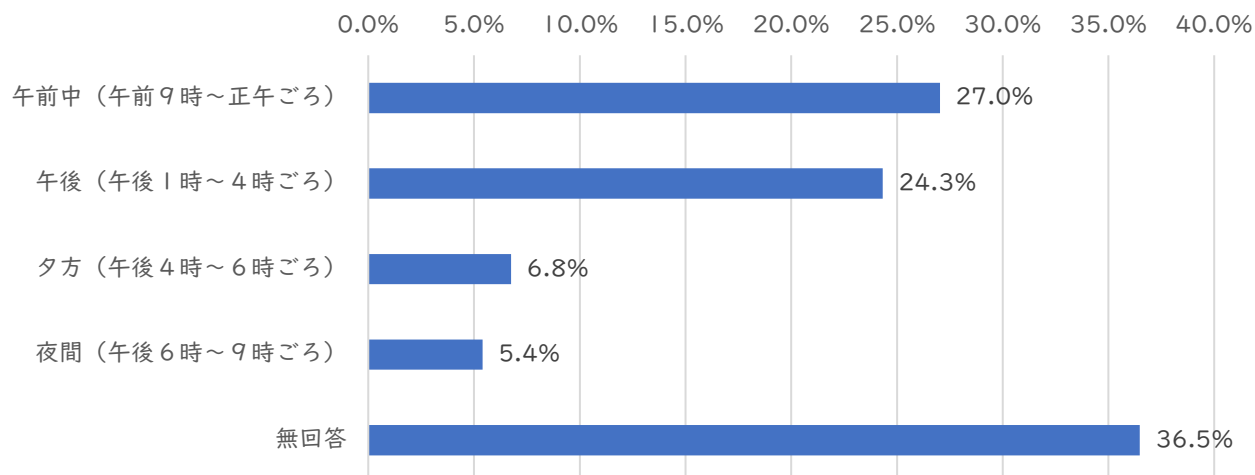


3) 時間帯 (該当するものすべてに○)

【回答結果】

「午前中 (午前9時～正午ごろ)」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=102】



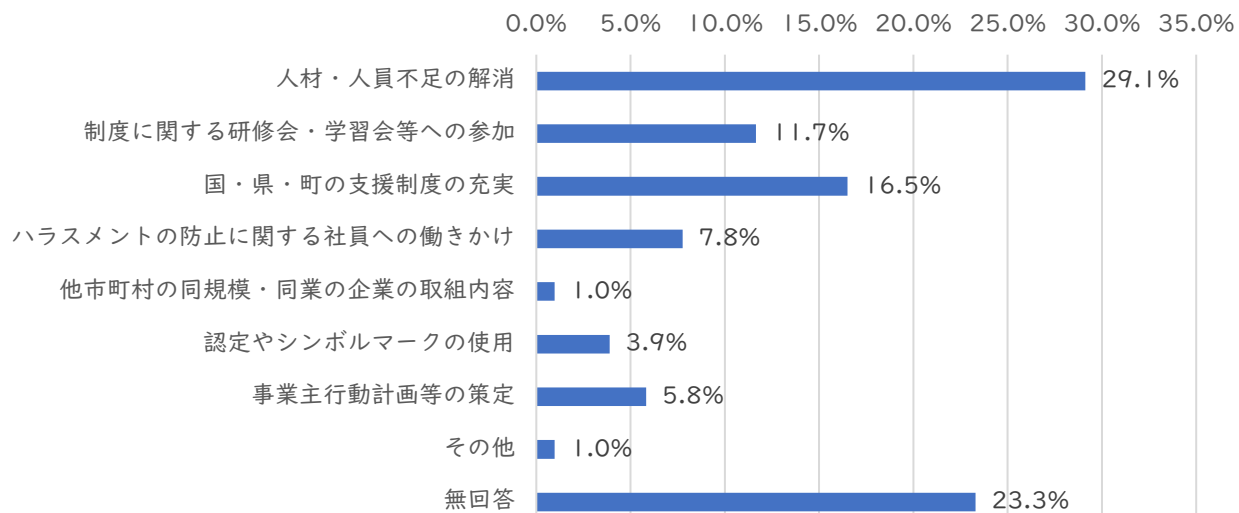
問26 男女共同参画に関する取組を貴社でさらに充実させるためには、何が必要だと考えますか。

(該当するものすべてに○)

【回答結果】

「人材・人員不足の解消」が最も高くなっている。

【全体集計：MA/N=127】



問27 男女共同参画に関する取組についてご意見をお願いします。

(自由記述)

【回答結果】

【全体集計：SA/N=68】

Ⅲ 考察

1. 町民向けアンケート

(1) 家庭生活について

■ 家庭内での役割の今の現状は男女共同参画が進んでいないが、考え方は浸透している状況である。

現状仕事（収入）は、「夫婦・両親」が30.9%、「主に夫・父」が17.7%であり、男性が担っている傾向があります。

その他の項目では、「主に妻・母」が最も高く（掃除：30.4%、洗濯：36.5%、買い物：30.4%、家計の管理：30.4%、地域活動に関すること：27.1%）、女性への負担が大きいことが分かります。

また、理想は全ての項目で、「夫婦・両親」が最も高く（仕事（収入）：34.3%、掃除：38.1%、洗濯：36.5%、買い物：40.3%、家計の管理：40.3%、地域活動に関すること：35.9%）、夫婦で協力したいと考えている人が多いです。

(2) 結婚

■ 共働きの家庭が増えた。

前回の調査で「共働きをしている」が48.7%で、3.6ポイント増えました。また、今回の調査で「夫だけ働いている」が10.2%、「妻だけ働いている」が3.4%で合わせて13.6%となり、前回のから11.7ポイント減りました。

今回、夫婦とも無職は24.6%で多い理由は、70～79歳、80歳以上の回答者の割合が高いからと考えられます。

■ 結婚に関する価値観が前回調査より大きく変化している。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をまとめたものを「肯定派の意見」、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」をまとめたものを「否定派の意見」と表現します。

- 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

男女別は、男女ともに前回から「そう思う」が約10ポイント増えました。また、肯定派の意見は女性が、否定的な意見は男性が高いのは、前回とほとんど変わらないが、それぞれの差が前回より小さくなっています。

年代別で見ると、18歳～29歳、50歳～59歳、60歳～69歳、80歳以上の「そう思う」が大きく増加しました。40歳～49歳は減っているが、誤差の範囲と考えられます。

また、30～39歳と40歳～49歳の否定派の意見は0.0%でした。

- 女性は、結婚したら、自分のことよりも、夫や子どもを中心に生活したほうがよい

男女別は、男女ともに肯定派の意見が前回から10ポイント以上減少し、約半数が否定派の意見となりました。結婚後の女性に対する考え方が、「女性＝家庭のために尽くす」ではなくなっていることが分かります。

年代別では、全体で肯定派の意見は、前回より減ってはいますが、70歳～79歳、80歳以上の肯定派の意見は、他の年代より高い傾向があります。

他にも、30歳～39歳は否定派の意見は年代より少ない傾向があり、「どちらともいえない」が50.0%となっています。

- 結婚して、相手に満足できないときは離婚すればよい
前回同様、「どちらともいえない」が最も高くなったが、女性の「そう思う」が10ポイント減っている。前回と比べて否定派の意見も減っています。

年代別でも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

- 今の社会では、離婚すると女性の方が不利である
男女別では、女性が肯定派の意見が多い傾向があり、女性は不利だと思っている人が多いようです。年代別に見ると、前は「どちらともいえない」が多い傾向でしたが、肯定派も否定派もほとんど同率です。

- 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない
男女別は、肯定派も否定派もほとんど同率でした。しかし前回より男性の肯定派の意見は大きく増えています。

年代別では、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳が肯定派の意見が多くなっていますが、その他の年代は、「どちらともいえない」が高くなっています。

(3) 育児

■ 学校や保育所に関することは、夫婦（両親）ともに協力している傾向がある。

全ての項目において、「両親（夫婦）」が高くなっています。しかし、次いで、「母（妻）」が高くなっているので、女性が担っている傾向があります。

■ 男女ともに「大学」までの教育を受けさせたい人が増えている。

前回の調査で「大学」まで受けさせたいと考えている人の男の子と女の子の差は約20ポイントあったが、今回は約10ポイントまで縮まっています。また、「短期大学」まで受けさせたいと考えてる人は低くなりました。

(4) 介護

■ 介護をしている人がいる中で、在宅サービスや介護老人福祉施設等を利用している人が多く、女性が対応している。

前は介護老人福祉施設等を利用している人が多く、次いで自分で自宅にて介護をしている人が多かったが、今回は、在宅サービスを利用しながら自宅で介護をしている人が多く、次いで介護老人福祉施設等を利用している人が多くなっています。

また、対応者は、男性が「自分の配偶者」、女性が「自分」と回答しているため、女性が対応していることが考えられます。

■ 将来、介護をすることになったら、在宅サービスを利用しながら自宅で介護をしたいと考えている人が増えた。

男女ともに、前回より在宅サービスを利用しながら自宅で介護をしたいと考えている人が大きく増えました。

■ 自身に介護が必要になったら、介護老人福祉施設で利用したいと考えている人が多く、配偶者に対応してもらいたいと考えている。

男女ともに介護老人福祉施設等で介護を受けたいと考えている人が多く前回より20ポイント以上大きく増えました。また、配偶者に対応してもらいたいと考えている人は、約4割占めています。

(5) 仕事と職場

■ 働いている理由は、生計を維持するためが大き理由。

働いている人の中で、働いている理由は「生計を維持するため」が最も高くなっています。他にも貯蓄や自由になる収入が欲しいなどのお金に関する理由が大きく占めています。

男性は「働くのが当たり前だと思うから」という理由が2番目に高い理由となっています。

■ 職場での待遇面は、男女で意識が異なる。

特でない以外の回答で、男性は「昇進に男女差がある」と「育児休業が取得できない・取りにくい」が最も高くなっています。男性の中には育児休業を取りたいが取りにくいと考えている人もいることがうかがえます。女性は「正社員と同じような仕事をしているのにパート等の待遇が劣っている。」が多くなっています。女性の職業でパート・アルバイトと選択した人が多いため、回答が多かったと考えられます。

(6) 女性の社会進出

■ 女性が働き続けるために必要なことが前回と異なる結果になった。

前回の調査で、「育児・介護休業の取得等の職場環境の整備」が最も高くなっていたが、今回は「労働時間の短縮や就業時間等、柔軟な勤務形態の導入」が最も高くなっています。

男女ともに育児・介護休業の制度が整ってきているため、「育児・介護休業の取得等の職場環境の整備」が減ってきたと考えられます。

(7) ワーク・ライフ・バランス

■ 現実では「仕事」の比重が高く、理想は「家庭生活」を大切にしたい傾向がある。

現実では、「仕事と家庭生活」、「仕事」の順で高くなっていますが、理想では「仕事と家庭生活」、「家庭生活」の順で高くなっています。現実では「仕事」の比重が高いが、理想では「家庭生活」に重点を置きたい人が多いと考えられます。

(8) 地域活動

■ 男性は地域活動に参加している人が多く、女性は参加していない人が多い。

「特に参加している活動はない」と回答した人が、男性が16.4%、女性が47.7%となっています。男性で「地区の活動」や「趣味・サークル・スポーツ活動」が高くなっています。

女性の半数以上が地域活動に参加していないと回答しているが、「家事・育児で忙しい」や「家族に病人や高齢者がいる」との回答は少ないため、家庭での事情が影響しているとは言えません。

(9) ハラスメント

■ 被害を受けたことがある人が少し増え、相談しなかった人が多い。

セクシャル・ハラスメントもパワー・ハラスメントも「受けたことがない」と回答した人が多いが、「受けたことがある」人も前回の調査で少し増えています。また、相談しなかった人も増え、その理由が「相談しても無駄だと思った」と多くの人が回答しています。

(10) ドメスティックバイオレンス・ストーカー

■ 被害を受けている人の中で、相談した人は男女差がある。

男性は、「弁護士」、「医師・カウンセラー」等、資格を持った人に相談したことが多く、女性は「家族」や「知人・友人」の身近な人に相談したことが多く男女により相談した先が異なります。

■ 身近な公的機関の相談先が、認知度が高い。

相談先で多いのは、「健康福祉課健康係」や「南会津警察署」の回答が多く、その他の公的機関は認知度が低くなっています。

(11) LGBTQIA 等の性的マイノリティ

■ 性的マイノリティの理解を深めることが求められている。

「理解を深めるための教育を学校で行う」と「理解を深めるための啓発活動を行政が行う」の回答が合わせて約6割となっており、理解を深めることが必要と考える人が多いことが分かります。その他、女性は環境整備の取組も有効だと考えている人が多くなっています。

(12) 男女共同参画

■ 下郷町の男女共同参画の施策は「進んでいる」「まあまあ進んでいる」が増えたが、「どちらともいえない」「分からない」の回答が圧倒的に多い。

前回の調査に比べ、「進んでいる」「まあまあ進んでいる」の肯定派の意見が、どの項目も20%以上であるが、「分からない」と回答した人がどの項目も大部分を占め、「どちらともいえない」が次いで占めています。

しかし、「健康に関する啓発活動・健康教室・健康相談・各種健康診断・検診」は肯定派の意見が大部分を占めているため、この項目は最も進んでいる施策と言えます。

2. 企業向けアンケート

(1) ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組について

- **取組をやっていないと回答した企業が多く、それぞれの制度についての啓発が必要である。**

「特になし」と回答している企業が71.1%となっており、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の制度について理解を深める必要があると考えます。

- **多くの企業がワーク・ライフ・バランスや女性に活躍してもらうために様々な取組を行っている。**

問6では、様々な取組について質問していますが、多くの取組を行っていることが分かります。

(2) 育児や介護に関する制度について

- **育児・介護休業制度を利用した人は男性・女性ともに少ないが、定着させるために様々な取組をしている。**

育児休業制度を利用した人は20.6%、介護休業制度を利用した人は13.2%と少ないが、定着させるために、情報提供や復職時の受け入れ体制など多くの取組を行っています。

- **男性が育児休業・介護休業を取得することに反対の理由は現実的な課題がある。**

育児・介護休業を取得することに賛成の企業がほとんどではあるが、反対の企業が休業中の従業員の代替要員が補えないことやほかの従業員の負担を懸念する回答がありました。

(3) 企業における女性活躍について

- **育児休業などを活用して仕事を続ける人が多い。**

女性従業員の働き方は、「育児休業などを活用して仕事を続ける」が39.7%となっています。結婚や妊娠・出産を機に退職する人は約15%となっております。

(4) ハラスメント対策について

- **ハラスメント対策は、就業規則や社内規定等で規定したり、社内に相談窓口を設置している企業が多い。**

ハラスメント対策は、「就業規則や社内規定等にハラスメントの禁止を規定している」が20.8%、「社内に相談窓口を設置している」が16.7%と啓発だけではなく、体制を整えている企業が多いようです。

- **LGBTQ への配慮は、今後啓発活動が必要である。**

LGBTQ への配慮は「実施していない」と回答した企業が50.0%となっており、今後啓発活動や周知が必要であると考えられます。

(5) 男女共同参画全般について

■ 全般的に男女平等であるとなっている。

全項目で、「男女平等である」の回答が多くなっています。「男女平等である」以外の回答で、募集や採用の条件、人事配置や昇進、教育や研修制度、定年・退職、賃金は「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が多くなっているが、時間内労働・残業がないは「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の方が高くなっています。

(6) 男女共同に関する取組の導入について

■ 育児休暇、介護休暇制度に関することに関心が高い。

「参加は考えていない」と回答した企業は32.9%と最も高くなっているが、それ以外で「育児休暇、介護休暇制度に関すること」についての研修会があるといいと回答した企業が15.8%となっている。

IV 調査票

1. 町民向けアンケート

『下郷町男女共同参画に関するアンケート調査』についてのお願い

町民の皆様には、日ごろから町政運営に対しましてご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

下郷町では、「男女が個人として尊重され、地域のあらゆる分野でともに参画し、責任を担うまち」を基本理念とし、令和3年3月に「下郷町第2次男女共同参画プラン」を策定し、5か年計画でさまざまな施策に取り組んでいます。

このたび、「下郷町第2次男女共同参画プラン」の更なる推進及び今後実施する本町における男女共同参画施策を効果的に進めるための参考資料とするため、また、令和7年度に新たに「下郷町第3次男女共同参画プラン」を策定するため本調査を行います。

この調査は、下郷町に住所がある18歳以上の方から500名の方々を無作為に抽出させていただきました。調査の結果はすべて統計的に処理を行いますので、お答えいただいた方にご迷惑をお掛けすることは一切ありません。また、他の目的には使用いたしません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年10月 下郷町長 星 學

回答方法について

【郵送での回答】

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用に入れて、ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。

【インターネットでの回答】

パソコン、スマートフォンなどから、以下のURLまたはQRコードにより「下郷町男女共同参画に関する意識調査」のサイトにアクセスし、回答してください。

URL: <https://forms.gle/uJoLgEs6w5BvVcdh9>

QRコード:



識別番号：387530

(留意事項)

- ・ 郵送での回答をした方は、インターネットでの回答をしないようご注意ください。
- ・ 「識別番号」は、郵送回答とインターネット回答の重複回答を確認するものです。ランダムに付与しており、個人を特定できないようにしています。
- ・ 万が一、郵送とインターネットで重複回答している場合は、インターネット回答を使用いたします。
- ・ 送信後の再回答や回答の修正はできません。
- ・ インターネットで2回以上回答していると判明した場合、最初の回答を使用いたします。
- ・ 通信サービスの接続料金は、ご回答者の負担となります。

回答は、令和6年12月13日(金)までに投函または送信してください。

郵送での回答をする方へ

ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケートは、封筒の宛名のご本人様が記入してください。
もし、ご本人様が記入できない場合は、ご家族の方が回答を聞き取るなどして代わりに記入してください。（氏名や住所を記入する必要はありません。）
- 2 筆記用具は鉛筆、ボールペンなどわかりやすく、はっきりと記入してください。
（間違えた場合は、横線で抹消するなどして明確にしてください。）
- 3 設問に対し、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。
（設問により記入していただく箇所もあります。）

Ⅰ 回答属性

問1 あなたの性別はどれにあたりますか。（○は1つだけ）

- 1 男性 2 女性 3 その他

問2 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

- 1 18～29歳 2 30～39歳 3 40～49歳
4 50～59歳 5 60～69歳 6 70～79歳
7 80歳以上

問3 あなたが現在お住まいの地区はどこですか。（○は1つだけ）

- 1 檜原地区 2 旭田地区 3 江川地区

問4 あなたは下郷町にお住まいになって何年（通算）になりますか。（○は1つだけ）

- 1 1年未満 2 1年以上3年未満 3 3年以上5年未満
4 5年以上10年未満 5 10年以上20年未満 6 20年以上

2 家庭生活

問5 あなたの世帯構成は、次のどれに当てはまりますか。(○は1つだけ)

1 一人暮らし(単身世帯) →問8へ	2 夫婦のみ(一世代家族・事実婚も含む)
3 親と未婚の子ども(核家族)	4 親と子ども夫婦(二世代家族)
5 親と子どもと孫(三世代家族)	
6 その他 (具体的に: _____))

問6 問5で「1 一人暮らし(単身世帯)」以外と回答した方に伺います。

あなたは、家庭内での役割について今の状況についてお答えください。(各項目1つに○)

	主に夫・父 (男性)	夫婦・両親	主に妻・母 (女性)	その他の家族	該当なし
1) 仕事(収入)	1	2	3	4	5
2) 掃除	1	2	3	4	5
3) 洗濯	1	2	3	4	5
4) 買い物	1	2	3	4	5
5) 家計の管理	1	2	3	4	5
6) 地域活動に関する事	1	2	3	4	5

問7 問5で「1 一人暮らし(単身世帯)」以外と回答した方に伺います。

あなたは、家庭内での役割について理想についてお答えください。(各項目1つに○)

	主に夫・父 (男性)	夫婦・両親	主に妻・母 (女性)	その他の家族	該当なし
1) 仕事(収入)	1	2	3	4	5
2) 掃除	1	2	3	4	5
3) 洗濯	1	2	3	4	5
4) 買い物	1	2	3	4	5
5) 家計の管理	1	2	3	4	5
6) 地域活動に関する事	1	2	3	4	5

3 結婚

問8 あなたは、結婚していますか。(○は1つだけ)

1	結婚している(事実婚も含む)
2	結婚していないが、パートナーと暮らしている
3	結婚していない →問10へ
4	離別(離婚)した →問10へ
5	死別した →問10へ

問9 問8で「1 結婚している(事実婚も含む)」・「2 結婚していないが、パートナーと暮らしている」と回答した方にお伺いします。

共働きですか。(○は1つだけ)

1	共働きをしている(常勤、パート等問わず)
2	夫(男性パートナー)だけ働いている
3	妻(女性パートナー)だけ働いている
4	夫婦とも無職
5	その他

問10 次にあげる結婚の考えについて、どのように思いますか。(各項目1つに○)

	そう思う	どちらかと言え そう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え そうおもわない	そう思わない	分からない
1) 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5	6
2) 女性は、結婚したら、自分のことよりも、夫や子どもを中心に生活したほうがよい	1	2	3	4	5	6
3) 結婚して、相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5	6
4) 今の社会では、離婚すると女性の方が不利である	1	2	3	4	5	6
5) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5	6

4 育児

問11 あなたは、お子さんがいますか。(○は1つだけ)

1 いる
2 いない →問13へ

問12 問11で「1 いる」と回答した方に伺います。

子どもの学校や保育所に関すること主にしている(又はしていた)のは誰ですか。

(各項目1つに○)

	父 (夫)	母 (妻)	両親 (夫婦)	祖父	祖母	祖父母	誰も していない
1) 入学式	1	2	3	4	5	6	7
2) 授業参観	1	2	3	4	5	6	7
3) 運動会	1	2	3	4	5	6	7
4) 学習発表会	1	2	3	4	5	6	7
5) 卒業式	1	2	3	4	5	6	7
6) 通学等の送迎	1	2	3	4	5	6	7

問13 あなたは、子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。子どもがいない場合やすでに卒業した場合もいと仮定して、現在の親としての考えや希望をお答えください。

(各項目1つに○)

	中学校	高校	専門・ 専修学校	短期大学	大学	大学院	分からない
1) 男の子	1	2	3	4	5	6	7
2) 女の子	1	2	3	4	5	6	7

5 介護

問14 現在、家族の中に介護を要する人はいますか。(○は1つだけ)

- 1 いる
- 2 いない →問16へ

問15 問14で「1 いる」と回答した方にお伺いします。

1) どのように介護をしていますか。(○は1つだけ)

- 1 行政や外部サービスを頼らず自宅で介護している
- 2 訪問介護等の在宅サービスを利用しながら自宅で介護している
- 3 介護老人福祉施設等の入所施設で介護を受けている
- 4 その他
(具体的に: _____)

2) 主に誰が介護をしていますか。介護老人福祉施設等を利用している場合、施設とのやり取りや連絡があったときの対応は誰が行っていますか。(○は1つだけ)

- 1 自分
- 2 自分の配偶者
- 3 その他の家族(男性)
- 4 その他の家族(女性)
- 5 その他(_____)

問17以降をお答えください。

問16 問14で「1 いない」と回答した方にお伺いします。

1) 将来、家族が介護を要する状態となった場合についてどうなると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 行政や外部サービスを頼らず自宅で介護したい
- 2 訪問介護等の在宅サービスを利用しながら自宅で介護したい
- 3 介護老人福祉施設等の入所施設で介護を受けさせたい
- 4 分からない
- 5 その他
(具体的に: _____)

2) 主に誰が介護をすると思いますか。介護老人福祉施設等を利用したとした場合、施設とのやり取りや連絡があったときの対応は誰が行うと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 自分だと思ふ
- 2 自分の配偶者だと思ふ
- 3 その他の家族(男性)だと思ふ
- 4 その他の家族(女性)だと思ふ
- 5 分からない
- 6 その他
(_____)

問17 あなた自身が介護を要する状態となった場合についてお伺いします。

1) どのように介護してほしいですか。(○は1つだけ)

- 1 行政や外部サービスを頼らず自宅で介護してほしい
- 2 訪問介護等の在宅サービスを利用しながら自宅で介護してほしい
- 3 介護老人福祉施設等の入所施設で介護を受けたい
- 4 分からない
- 5 その他
(具体的に：)

2) 主に誰に介護をしてほしいですか。介護老人福祉施設等を利用したとした場合、施設とのやり取りや連絡があったときの対応は誰にやってほしいですか。(○は1つだけ)

- 1 配偶者
- 2 子(女性)
- 3 子(男性)
- 4 子の配偶者(女性)
- 5 子の配偶者(男性)
- 6 その他の家族や親戚(女性)
- 7 その他の家族や親戚(男性)
- 8 公的・民間のサービスを利用する
- 9 その他
(具体的に：)

6 仕事と職場

問18 あなたの職業を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------------|-------------|------------|
| 1 会社員・団体職員 | 2 会社役員・管理職 | 3 専門職・技術職 |
| 4 自由業・自営業・家業 | 5 パート・アルバイト | 6 公務員・教員 |
| 7 専業主婦・専業主夫 →問20へ | 8 学生 →問20へ | 9 無職 →問20へ |
| 10 その他 (| |) →問20へ |

問19 問18で1～6と答えた方に伺います。

1) 働いている理由は何ですか。(主なもの3つまで○)

- | |
|---------------------|
| 1 生計を維持するため |
| 2 将来に備えて貯蓄するため |
| 3 自分で自由になる収入が欲しいため |
| 4 自分の能力、技能、資格をいかすため |
| 5 働くことが好きだから |
| 6 社会的視野を広めるため |
| 7 社会や他人とのつながりをもつため |
| 8 働くのが当たり前だと思うから |
| 9 家業だから |
| 10 時間的に余裕があるから |
| 11 その他
(具体的に:) |

2) あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で次のようなことがありますか。(主なもの3つまで○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 賃金に男女差がある |
| 2 昇進に男女差がある |
| 3 募集、採用、人事配置、定年退職に男女差がある |
| 4 お茶くみや雑用は主に女性が行う |
| 5 女性は結婚や出産で退職しなければならいような雰囲気がある |
| 6 育児休業が取得できない・取りにくい |
| 7 介護休業が取得できない・取りにくい |
| 8 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある |
| 9 正社員と同じような仕事をしているのにパート等の待遇が劣っている |
| 10 特にない |

7 女性の社会進出

問20 女性が仕事をするについて、どのように思いますか。(1つだけ○)

- 1 女性は仕事をしない方がよい
- 2 生涯にわたり、仕事をするのがよい
- 3 結婚するまでは、仕事をするのがよい
- 4 子どもができるまでは、仕事をするのがよい
- 5 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするのがよい
- 6 子育てや介護等で必要な時だけ、仕事をするのがよい
- 7 分からない
- 8 その他
(具体的に：)

問21 今後、女性と男性がともに働き続けるために必要なことは何だと思いませんか。

(主なもの3つまで○)

- 1 職場において昇進や賃金等、労働条件面での男女差をなくす
- 2 労働時間の短縮や就業時間等、柔軟な勤務形態の導入
- 3 育児・介護休業の取得等の職場環境の整備
- 4 退職後の再雇用制度の充実
- 5 保育施設や児童クラブ(学童保育)等、保育サービスの充実
- 6 介護施設や訪問介護・通所介護等、介護サービスの充実
- 7 女性自身の働き続けることに対する意識や意欲の向上
- 8 技能研修や職業訓練の機会の充実
- 9 家庭での役割分担・家族の理解
- 10 従来为社会意識を改める
- 11 特に必要なことはない
- 12 分からない
- 13 その他
(具体的に)

問22 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような効果と影響があると思いますか。（主なもの3つまで○）

- 1 多様な視点が加わるにより新たな価値や商品・サービスが増える
- 2 人材の労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる
- 3 女性の声が反映されやすくなる
- 4 国際社会から好印象を得ることができる
- 5 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
- 6 男女問わず仕事と家庭を両立しやすい社会になる
- 7 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
- 8 男性の家事・育児などへの参加が増える
- 9 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障をきたすことが高くなる
- 10 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
- 11 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する
- 12 分からない
- 13 その他（）

9 地域活動

問25 現在、職業以外であなたが参加している活動はありますか。（該当するものすべてに○）

- 1 ボランティアやNPOの活動
- 2 子ども会・青少年活動・スポーツの指導員などの活動
- 3 消防団の活動
- 4 趣味・サークル・スポーツ活動
- 5 環境美化・自然保護活動
- 6 地区の活動
- 7 PTA活動
- 8 各種女性団体の活動
- 9 政治活動や労働組合活動
- 10 国際交流活動
- 11 特に参加している活動はない
- 12 その他（)

問26 「11 特に参加している活動はない」を回答した方にお伺いします。

活動に参加していない理由は何ですか。（主なもの3つまで○）

- 1 仕事が忙しい
- 2 家事・育児で忙しい
- 3 家族に病人や高齢者がいる
- 4 家族の理解・協力が得られない
- 5 自分に合った活動がない
- 6 健康や体力に自信がない
- 7 転勤や転居があるから
- 8 人間関係がわずらわしい
- 9 一緒に参加する仲間がいない
- 10 活動の場が近くにない
- 11 経済的な余裕がない
- 12 時間的に余裕がない
- 13 あまり関心がない
- 14 面倒くさい
- 15 活動についての情報がない
- 16 どのように参加してよいのかわからない
- 17 特に理由はない
- 18 その他（)

10 ハラスメント

問27 あなたはこれまでに次のような被害を受けたことがありますか。（各項目1つに○）

	受けたことがある		受けたことはない	分からない
	相談した	相談しなかった		
1) セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4
2) パワー・ハラスメント	1	2	3	4

問28 問27のいずれかで「2 受けたことがある・相談しなかった」と回答した方に伺います。

相談しなかった理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

1	どこに相談したらよいか分からなかった
2	身近に相談できる人がいなかった
3	相談しても無駄だと思った
4	相談したことが分かると仕返しをされると思った
5	相談することで自分が不快な思いをすと思った
6	自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思った
7	恥ずかしかった
8	相談して他人を巻き込むのが嫌だった
9	相談するほどのことではないと思った
10	その他 （具体的に： _____)

11 ドメスティックバイオレンス・ストーカー

問29 あなたはこれまで配偶者やパートナーから次のような被害を受けたことがありますか。

(各項目1つに○)

	受けたことがある		受けたことはない	分からない
	相談した	相談しなかった		
1) DV (ドメスティック・バイオレンス)				
ア 暴力や叱責	1	2	3	4
イ 外出などの制限	1	2	3	4
ウ 交友関係や電話・メール・LINE 等を 細かく監視する。	1	2	3	4
エ 何を言っても無視する	1	2	3	4
オ 生活費を十分に渡さない	1	2	3	4
カ 「誰のおかげで生活できているんだ」 などと侮辱的なことを言われた	1	2	3	4
2) ストーカー	1	2	3	4

問30 問29のいずれかで「1 受けたことがある・相談した」と回答した方に伺います。

誰に相談しましたか。(該当するものすべてに○)

1 家族	2 知人・友人
3 配偶者暴力相談支援センター	4 役場
5 警察	6 弁護士
7 医師・カウンセラー	8 民間団体
9 相談していない	10 その他 ()

問3 1 問2 9のいずれかで「2 受けたことがある・相談しなかった」と回答した方に伺います。

相談していない理由は何ですか。（該当するものすべてに○）

- 1 どこに相談したらよいか分からなかった
- 2 身近に相談できる人がいなかった
- 3 相談しても無駄だと思った
- 4 相談したことが分かると仕返しをされると思った
- 5 相談することで自分が不快な思いをすと思った
- 6 自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思った
- 7 恥ずかしかった
- 8 相談して他人を巻き込むのが嫌だった
- 9 相談するほどのことではないと思った
- 10 「誰にも言うな」と脅された
- 11 そのことについて思い出したくなかった
- 12 その他
（具体的に： _____）

問3 2 以下は配偶者やパートナーから暴力を受けた場合に相談できる機関です。
知っている機関をお答えください。（該当するものすべてに○）

- 1 健康福祉課健康係
- 2 女性のための相談支援センター
- 3 福島県男女共生センター
- 4 女性のための電話相談ふくしま
- 5 南会津警察署（駐在所）
- 6 南会津保健福祉事務所
- 7 その他【知っているの機関があれば記入してください】
（ _____）

12 LGBTQIA等の性的マイノリティ（性的少数者）

問33 あなたは、次の言葉を知っていますか。（各項目1つに○）

	内容まで 知っている	聞いたこと がある	今回の調査で 初めて聞いた
1) LGBTQIA			
ア レズビアン	1	2	3
イ ゲイ	1	2	3
ウ バイセクシャル	1	2	3
エ トランスジェンダー	1	2	3
オ クェスチョニング	1	2	3
カ インターセクシャル	1	2	3
キ アセクシャル	1	2	3
2) 性的マイノリティ	1	2	3
3) 社会的性別（ジェンダー）	1	2	3

問34 あなたは、性的マイノリティの方が安心して過ごせるようになるには、どのような取組みが有効だと思いますか。（主なもの3つまで○）

1 理解を深めるための教育を学校で行う 2 理解を深めるための啓発活動を行政が行う 3 制度を整備する 4 相談・支援体制を充実させる 5 トイレ・更衣室などについて利用しやすい環境を整備する 6 分からない 7 その他 （具体的に：)
--	---

13 男女共同参画

問35 男女共同参画に関する次の言葉について、どの程度知っていますか。（各項目1つに○）

	内容まで 知っている	聞いたこと がある	今回の調査で 初めて聞いた
1) 男女共同参画社会	1	2	3
2) 男女共同参画社会基本法	1	2	3
3) 男女雇用機会均等法	1	2	3
4) 女性活躍推進法	1	2	3
5) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3
6) エンパワーメント (力をつけること)	1	2	3
7) ダイバーシティ (多様性)	1	2	3
8) 下郷町第2次男女共同参画プラン	1	2	3

問36 下郷町の男女共同参画の施策はどの程度進んでいると思いますか。（各項目1つに○）

	進んでいる	まあまあ進んでいる	どちらともいえない	あまり進んでいない	全く進んでいない	分からない
1) 男女共同参画社会についての広報活動	1	2	3	4	5	6
2) 家庭における男女共同参画に対する啓発活動	1	2	3	4	5	6
3) 学校教育における男女共同参画に対する啓発活動	1	2	3	4	5	6
4) 職場における男女共同参画に対する啓発活動	1	2	3	4	5	6
5) 男女の人権を尊重した社会づくりの啓発活動	1	2	3	4	5	6
6) 健康に関する啓発活動・健康教室・健康相談・各種健康診断・検診	1	2	3	4	5	6
7) うつ病等の予防など、こころの病気についての情報提供や意識啓発	1	2	3	4	5	6
8) 意思決定の過程における女性の参画促進、協働によるまちづくり	1	2	3	4	5	6
9) 女性の生きがいづくりにつながる講座や研修等の機会の充実	1	2	3	4	5	6
10) 町主催の講演会や講座等での託児所の確保等	1	2	3	4	5	6
11) 女性リーダーや女性グループ育成を図るための研修会の支援	1	2	3	4	5	6
12) 通常保育の充実・一時保育・児童クラブ（学童）の充実	1	2	3	4	5	6
13) 男性の家事・育児・介護を促進するためのセミナー等の開催	1	2	3	4	5	6
14) 企業への育児・介護休暇制度の促進	1	2	3	4	5	6
15) 自治会や地区公民館など地域を基盤に活動している団体への支援	1	2	3	4	5	6
16) 互助機能（地域が持つ教育、子育て、防犯など）等地域の自発的取組みの推進	1	2	3	4	5	6
17) 地域における「伝統文化（行事）」の保存・継承の推進	1	2	3	4	5	6
18) 女性や高齢者が主役となり活躍できる場づくりの支援	1	2	3	4	5	6

2. 企業向けアンケート

『下郷町男女共同参画に関する企業アンケート調査』についてのお願い

企業の皆様には、日ごろから町政運営に対しましてご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

下郷町では、「男女が個人として尊重され、地域のあらゆる分野でともに参画し、責任を担うまち」を基本理念とし、令和3年3月に「下郷町第2次男女共同参画プラン」を策定し、5か年計画でさまざまな施策に取り組んでいます。

このたび、「下郷町第2次男女共同参画プラン」の更なる推進及び今後実施する本町における男女共同参画施策を効果的に進めるための参考資料とするため、また、令和7年度に新たに「下郷町第3次男女共同参画プラン」を作成するため本調査を行います。

この調査は、下郷町商工会様、下郷町観光協会様、南会津建設業協会様にご協力いただき、町内の企業の皆様にアンケート調査を行っています。調査の結果はすべて統計的に処理を行いますので、お答えいただいた企業の名前を公表する等は一切ありません。また、他の目的には使用いたしません。

家族だけで経営されている方は、回答しなくても構いません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年10月

下郷町長 星 學

回答方法について

【郵送での回答】

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用に入れて、ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。

【インターネットでの回答】

パソコン、スマートフォンなどから、以下のURLまたはQRコードにより「下郷町男女共同参画に関する意識調査」のサイトにアクセスし、回答してください。

URL: <https://forms.gle/hfhC9QtHoJQbHxUU6>

QRコード



識別番号：4551

(留意事項)

- ・郵送での回答をした方は、インターネットでの回答をしないようにご注意ください。
- ・「ログインID」は、郵送回答とインターネット回答の重複回答を確認するものです。ランダムに付与しており、企業を特定できないようにしています。
- ・万が一、郵送とインターネットで重複回答している場合は、インターネット回答を使用いたします。
- ・送信後の再回答や回答の修正はできません。
- ・インターネットで2回以上回答していると判明した場合、最初の回答を使用いたします。
- ・通信サービスの接続料金は、ご回答者の負担となります。

回答は、令和6年12月13日（金）までに投函または送信してください。

郵送での回答をする方へ

ご記入にあたってのお願い

- 1 筆記用具は鉛筆、ボールペンなどわかりやすく、はっきりと記入してください。(間違えた場合は、横線で抹消するなどして明確にしてください。)
- 2 設問に対し、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。
(設問により記入していただく箇所もあります。)

I 回答属性

問1 貴社の主な職種をお答えください。(1つだけに○)

- | | | |
|----------------------|----------------|--------------|
| 1 農林業 | 2 建設業 | 3 製造業 |
| 4 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5 情報通信業 | 6 運輸業・郵便業 |
| 7 卸売業・小売業 | 8 金融業・保険業 | 9 不動産業・物品賃貸業 |
| 10 学術研究、専門・技術サービス業 | 11 宿泊業・飲食サービス業 | |
| 12 生活関連サービス業 | 13 教育・学習支援業 | 14 医療・福祉 |
| 15 サービス業(他に分類されないもの) | | |
| 16 その他() | | |

問2 貴社（該当する支社・支所）の従業員数をお答えください。（各項目1つに○）

	0 人	1 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 29 人	30 ～ 39 人	40 ～ 99 人	100 人 以上
1) 全従業員数							
ア 男性	1	2	3	4	5	6	7
イ 女性	1	2	3	4	5	6	7
3) 全従業員の人数のうち、正規社員							
ア 男性	1	2	3	4	5	6	7
イ 女性	1	2	3	4	5	6	7
4) 全従業員のうち、派遣社員・契約社員							
ア 男性	1	2	3	4	5	6	7
イ 女性	1	2	3	4	5	6	7
5) 全従業員のうち、パート・アルバイト							
ア 男性	1	2	3	4	5	6	7
イ 女性	1	2	3	4	5	6	7
6) 全従業員のうち、その他（委託業務等を含む）							
ア 男性	1	2	3	4	5	6	7
イ 女性	1	2	3	4	5	6	7

問3 貴社（該当する支社・支所）の役員人数を教えてください。（各項目1つに○）

	0人	1～3人	4～6人	7～9人	10人～15人	16人以上
1) 役員						
ア 男性	1	2	3	4	5	6
イ 女性	1	2	3	4	5	6
2) 部長相当職						
ア 男性	1	2	3	4	5	6
イ 女性	1	2	3	4	5	6
3) 課長相当職						
ア 男性	1	2	3	4	5	6
イ 女性	1	2	3	4	5	6
4) 係長相当職						
ア 男性	1	2	3	4	5	6
イ 女性	1	2	3	4	5	6

問4 女性従業員が働いている部門をお答えください。（該当するものすべてに○）

1 企画・管理、事務部門	2 生産・輸送・建設部門
3 販売・サービス部門	4 営業部門
5 情報処理部門	6 研究開発・技術部門
7 その他	

2 ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組について

問5 ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組についてどのような取組を行っていますか。
(該当するものすべてに○)

- | | | |
|---|------------------------------|--|
| 1 | くるみんマークの認定 | |
| 2 | えるぼしマークの認定 | |
| 3 | 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定 | |
| 4 | 女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定 | |
| 5 | 特にない | |
| 6 | その他 () | |

問6 あなたの事業所では、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の能力を活用するにあたってどのような取組を行っていますか。(該当するものすべてに○)

- | | | |
|----|----------------------------------|--|
| 1 | 各種研修、教育機会への女性の参加を推奨 | |
| 2 | 仕事の分配や教育訓練において男女同様に扱う | |
| 3 | 男女の役割分担意識解消のための意識啓発研修の実施 | |
| 4 | 不妊治療をしている従業員（男女問わず）の休暇制度や支援制度がある | |
| 5 | 妊娠期における女性従業員に対する配慮 | |
| 6 | 配偶者出産時期の休暇制度がある | |
| 7 | 男性の育児・介護休業の取得促進 | |
| 8 | フレックスタイム制度の導入 | |
| 9 | 在宅ワーク制度の導入 | |
| 10 | 育児等で休業又は退職した者に対し、復帰・再雇用等への支援又は配慮 | |
| 11 | 方針決定の場（企画会議等）への女性の出席機会の拡大 | |
| 12 | 女性がいない又は少ない採用区分において、女性を積極的に採用 | |
| 13 | 事実上女性が満たしにくい昇進・昇格条件の見直し | |
| 14 | 女性がいない又は少ない管理職への女性の積極的登用 | |

3 育児や介護に関する制度について

問7 貴社では、過去5年間で育児休業制度を利用した従業員はいましたか。

(該当するもの1つに○)

- | | |
|------------------------|---|
| 1 取得した女性従業員がいる | |
| 2 取得した従業員（男性・女性ともに）がいる | |
| 3 取得した男性従業員がいる | |
| 4 いない | |
| 5 その他（ | ） |

問8 貴社では、過去5年間で介護休業制度を利用した従業員はいましたか。

(該当するもの1つに○)

- | | |
|------------------------|---|
| 1 取得した女性従業員がいる | |
| 2 取得した従業員（男性・女性ともに）がいる | |
| 3 取得した男性従業員がいる | |
| 4 いない | |
| 5 その他（ | ） |

問9 貴社で育児・介護休業制度を定着させるために行っていることは何ですか。

(該当するものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---|
| 1 従業員への制度に関する情報提供 | |
| 2 復職時の受け入れ体制への配慮 | |
| 3 制度を利用しやすい雰囲気づくり | |
| 4 休業中の代替要員の確保 | |
| 5 休業中の賃金補償 | |
| 6 管理職向けの研修の実施 | |
| 7 その他（ | ） |

問10 男性が育児休業や介護休業を取得することについての貴社の考えに最も近いものはどれですか。(1つだけに○)

- 1 取得することに賛成 →問12へ
- 2 どちらかといえば取得することに賛成 →問12へ
- 3 どちらかといえば取得することに反対
- 4 取得することに反対
- 5 分からない →問12へ
- 6 その他() →問12へ

問11 問10で3又は4と答えた企業に伺います。

男性が育児休業や介護休業等を取得することに反対の理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

- 1 休業する従業員以外の従業員の負担が大きい
- 2 休業中の従業員の代替要員の手当てができない
- 3 休業中の従業員の経済的補償をする余裕がない
- 4 その他()

4 企業における女性活躍について

問12 貴社の女性従業員の働き方として、どのような形が多いですか。(1つだけに○)

- | |
|---------------------|
| 1 結婚を機に退職する |
| 2 妊娠・出産を機に退職する |
| 3 育児休業などを活用して仕事を続ける |
| 4 女性従業員がいない |
| 5 その他() |

問13 貴社において、女性が今よりも多様な職域において活躍することや働き続けることは必要と感じますか。(1つだけに○)

- | | |
|--------------|---------|
| 1 必要ない →問15へ | 2 必要である |
|--------------|---------|

問14 問13で「2 必要である」と回答した企業にお伺いします。

必要とする理由は次のうちどれですか。(該当するものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 キャリアを積んだ女性を退職させるのは大きな損失である。 |
| 2 これから人口減少などで人材が不足すると考えられるので確保したい |
| 3 女性の意見や発想を重要視したい |
| 4 慢性的に従業員が不足している |
| 5 社会的なニーズとして活躍できる環境づくりが求められているから |
| 6 その他
(具体的に:) |

問15 女性従業員の数を現在と比べて増やしていく考えはありますか。(1つだけに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1 増やしていく | 2 変わらない |
|----------|---------|

問16 今後管理職の登用にあたって、女性を積極的に登用しようと考えていますか。

(1つだけに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 積極的に登用していきたい | 2 特に増やしていく考えはない |
| 3 すでに積極的に登用している | 4 その他() |

問17 女性の管理職の登用を促進するために取り組んでいることはありますか。

(該当するものすべてに○)

1 資格取得を奨励している
2 出産や育児等による休業がハンディとならないような人事管理・能力評価を行う
3 意識啓発のために女性従業員を対象とした研修会に参加させる
4 幅広く業務を経験させるため男性の多い職種へ配置転換する
5 特にない
6 その他 (具体的に：)

問18 管理職の登用にあたり、従業員に打診し断られたことがありますか。(各項目1つに○)

	ある	ない	打診したことがない
1) 男性	1	2	3
2) 女性	1	2	3

問19 今まで女性が少なかった職務に女性を配置したことがありますか。(1つだけに○)

1 ある	2 ない
------	------

5 ハラスメント対策等について

問20 セクシャル・ハラスメントなどのハラスメント対策として実施しているものはありますか。
(該当するものすべてに○)

1 就業規則や社内規定等にハラスメントの禁止を規定している
2 社内に相談窓口を設置している
3 資料の配布や社内掲示などにより、意識啓発を図っている
4 ハラスメント防止のための社内研修などを実施している
5 その他()

問21 L G B T Qの方へ配慮として実施しているものはありますか。(該当するものすべてに○)

1 性別を問わないトイレ等の職場環境の整備
2 社員向け福利厚生制度の改定
3 採用活動におけるL G B T Qの方への配慮
4 L G B T Qの社員に向けた社内相談窓口の設置
5 社内セミナーの実施
6 実施していない
7 その他()

問22 貴社は外国人を雇用していますか。(1つだけに○)

1 雇用している	2 雇用していない
----------	-----------

6 男女共同参画全般について

問23 貴社では、次の項目の男女別の状況はどの程度だと思われますか。(各項目1つに○)

	男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている どちらかといえば	男女平等である	女性の方が優遇されている どちらかといえば	女性の方が優遇されている	分からない
1) 募集や採用の条件	1	2	3	4	5	6
2) 人事配置や昇進	1	2	3	4	5	6
3) 教育や研修制度	1	2	3	4	5	6
4) 定年・退職	1	2	3	4	5	6
5) 賃金	1	2	3	4	5	6
6) 時間内労働・残業がない	1	2	3	4	5	6

7 男女共同参画に関する取組の導入について

問24 今後、企業向けの男女共同参画に関する研修会があった場合、どのような内容の研修会があると良いと思いますか。(該当するものすべてに○)

1 育児休暇、介護休暇制度に関すること	2 女性の起用に関すること
3 外国人労働者に関すること	4 従業員の不妊治療に関すること
5 LGBTQに関すること	6 事業主行動計画策定方法に関すること
7 参加は考えていない	
8 その他(具体的に：)	

